

第 2 学 年

シ ラ バ ス

2022

Syllabus

日本歯科大学新潟生命歯学部

# 基 本 理 念

本学は、高等の教育機関として、広く知識を授けると共に、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする（学則第1条）。

## 教 育 の 目 標

- 1) 幅広い教養と倫理観を持った医療人を育成する。
- 2) 問題を発見し解決する能力を持った医療人を育成する。
- 3) コミュニケーション能力のすぐれた医療人を育成する。
- 4) 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人を育成する。
- 5) 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成する。
- 6) 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人を育成する。
- 7) 高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人を育成する。
- 8) 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人を育成する。
- 9) 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人を育成する。
- 10) 世界をリードする国際性を有する医療人を育成する。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修業年限以上在籍し，所定の単位数を修得するとともに，以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- ・生命体との関連性に幅広い知識を有し，必要に応じて応用できる能力
- ・幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナリズムを備えた医療人として行動できる能力
- ・根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け，患者の問題を発見し解決する能力
- ・高いコミュニケーション能力を身につけ，患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- ・専門に偏らない幅広い知識を身につけ，その基本的技能を実践する能力
- ・超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- ・医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- ・生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

建学の精神である「自主独立」のもと，ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために，以下の通りカリキュラムを編成している。

- ・ディプロマ・ポリシー達成のため，シラバスに全授業科目の到達目標，学習方略，評価方法を明記し，学習計画を提示します。
- ・歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
- ・初期教育として歯科医学生に必要な自然科学，人文・社会科学，語学教育，情報科学教育を行うとともに，医療人の基礎となるコミュニケーション能力，倫理観，プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- ・医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により，医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- ・PBLテュートリアルにより，論理的思考に基づく問題解決能力，科学的探究心を養成します。
- ・歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学，臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに，臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。

- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習（シミュレーション実習）による技能・態度の習得を目指した教育，ならびに医療スタッフの一員として参加するに必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し，その一員として診療業務を分担しながら，歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して，訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において，シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

# シラバス

## 1. シラバスとは

履修する上での必要な要件を詳細に示した授業計画をいう。

## 2. シラバスの役割

- 1) 授業科目についての詳細な内容と計画が示されている。
- 2) 学生の教室外における予習復習の指針となる。
- 3) 試験に際しては、試験範囲等勉強の指針となる。
- 4) 学生に履修科目選択のための情報を提供する。

## 3. シラバスの構成

- 1) 一般目標 (GIO)  
学習により期待される成果を示す。
- 2) 行動目標 (SBOs)  
学習者の到達すべき行動目標を示す。
- 3) 学習方略  
目標に到達するために必要な学習方法を示す。
- 4) 評価方法  
目標まで達成されたかどうかを判定するための評価方法を示す。
- 5) 授業内容  
授業によって学生が何を学習できるかを示す。
- 6) 準備学習  
受講における予習・復習の具体的な内容を示す。
- 7) オフィスアワー  
質問や相談に応じるために設定した曜日・時間・場所等を示す。

# 授業科目一覧表

| No.     | 科 目                 | 前 期   | 後 期   |
|---------|---------------------|-------|-------|
| 1       | 臨 床 心 理 学           | ※ ※ ※ |       |
| 2       | 原 子 核 と 放 射 線       | ※ ※ ※ |       |
| 3       | 物 質 の 構 造 と 反 応     | ※ ※ ※ |       |
| 4       | 生 命 の 連 続 性 と 遺 伝 子 | ※ ※ ※ |       |
| 5       | 実 用 医 学 英 語 II      | ※ ※ ※ |       |
| 6       | 英 語 会 話             | ※ ※ ※ | ※ ※ ※ |
| 7       | 社 会 歯 科 入 門         |       | ※ ※ ※ |
| 8       | 基 礎 口 腔 保 健 学       |       | ※ ※ ※ |
| 9       | 生 化 学               | ※ ※ ※ |       |
| 10      | 口 腔 生 化 学           |       | ※ ※ ※ |
| 11      | 解 剖 学               | ※ ※ ※ | ※ ※ ※ |
| 12      | 解 剖 学 実 習           |       | ※ ※ ※ |
| 13      | 口 腔 解 剖 学           | ※ ※ ※ |       |
| 14      | 口 腔 解 剖 学 実 習       | ※ ※ ※ |       |
| 15      | 発 生 学               | ※ ※ ※ |       |
| 16      | 組 織 学               | ※ ※ ※ |       |
| 17      | 口 腔 組 織 学           |       | ※ ※ ※ |
| 18      | 生 理 学               | ※ ※ ※ | ※ ※ ※ |
| 19      | 感 染 微 生 物 学         | ※ ※ ※ | ※ ※ ※ |
| 20      | 病 理 学               |       | ※ ※ ※ |
| 21      | 薬 物 療 法 学           | ※ ※ ※ |       |
| 22      | 歯 科 薬 物 療 法 学       |       | ※ ※ ※ |
| 23      | 歯 科 理 工 学           | ※ ※ ※ | ※ ※ ※ |
| 24      | 歯 科 理 工 学 実 習       |       | ※ ※ ※ |
| 25      | 専 門 歯 科 治 療 概 論     |       | ※ ※ ※ |
| 26      | 医 療 統 計 学           | ※ ※ ※ |       |
| 27      | 生 体 機 能 調 節 学       | ※ ※ ※ |       |
| 28      | 顎 口 腔 運 動 制 御 学     |       | ※ ※ ※ |
| 29      | 唾 液 と 唾 液 腺         |       | ※ ※ ※ |
| 30      | 健 康 科 学 II          |       | ※ ※ ※ |
| 31      | 基 礎 医 学 演 習         | ※ ※ ※ | ※ ※ ※ |
| 科 目 総 数 |                     | 19    | 18    |

## 新潟生命歯学部 of 授業科目等

| 授 業 料 目         | 単位数       | 計    |
|-----------------|-----------|------|
| 医学概論・歯科医学史      | 1.5       | 1.5  |
| 早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ       | 1.0       | 1.0  |
| 臨床から振り返る基礎学     | 1.5       | 1.5  |
| 初 年 次 セ ミ ナ ー   | 1.5       | 1.5  |
| プ ロ フ ェ ッ シ ョ ン | 2.0       | 2.0  |
| 社 会 学           | 1.5       | 1.5  |
| 自由<br>科目        | 経 済 学     | 3    |
|                 | ドイツの生活と情報 |      |
| 青 年 心 理 学       | 1.5       | 2.25 |
| 臨 床 心 理 学       | 0.75      |      |
| 原 子 核 と 放 射 線   | 1.5       | 4.5  |
| 物質の構造と反応        | 1.5       |      |
| 生命の連続性と遺伝子      | 1.5       |      |
| 熱と物質の物理         | 3         | 3    |
| 生体物質の化学         | 3         | 3    |
| 細胞の生物学          | 3         | 3    |
| 自然現象の数学         | 3         | 3    |
| 環境学の基礎          | 1.5       | 1.5  |
| 歯学入門演習          | 2         | 2    |
| 国語表現法           | 3         | 3    |
| 総合英語            | 1.5       | 5.25 |
| 実用医学英語Ⅰ・Ⅱ       | 2.25      |      |
| 英語会話            | 1.5       |      |
| 基礎独語            | 1.5       | 1.5  |
| 情報科学の実習         | 1         | 1    |

| 授 業 料 目          | 単位数  | 計    |
|------------------|------|------|
| 医 療 倫 理          | 0.75 | 0.75 |
| 医 療 法 律 学        | 1.5  | 1.5  |
| 社 会 歯 科 入 門      | 0.75 | 0.75 |
| 歯科医療コミュニケーション実習  | 0.8  | 0.8  |
| ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ | 0.75 | 0.75 |
| 健 康 科 学 Ⅰ        | 1.5  | 1.5  |
| 健 康 科 学 Ⅱ        | 0.75 | 0.75 |
| 歯 科 法 医 学        | 0.75 | 0.75 |
| 医療情報・医療管理学       | 0.75 | 0.75 |
| 基礎口腔保健学          | 1.5  | 3.5  |
| 地域口腔保健学          | 1.5  |      |
| 口腔保健学実習          | 0.5  |      |
| 生 化 学            | 1.5  | 3.5  |
| 口 腔 生 化 学        | 1.5  |      |
| 分子生命科学実習         | 0.5  |      |
| 解 剖 学            | 3    | 9.75 |
| 解 剖 学 実 習        | 2    |      |
| 口 腔 解 剖 学        | 1.5  |      |
| 口 腔 解 剖 学 実 習    | 1    |      |
| 発 生 学            | 0.75 |      |
| 人 類 学            | 1.5  | 4    |
| 組 織 学            | 1.5  |      |
| 口 腔 組 織 学        | 1.5  |      |
| 組織・口腔組織学実習       | 1    | 4    |
| 生 理 学            | 3    |      |
| 生 理 学 実 習        | 1    |      |
| 感 染 微 生 物 学      | 3    | 5.5  |
| 生 体 防 御 学        | 1.5  |      |
| 感染微生物学・生体防御学実習   | 1    |      |
| 病 理 学            | 1.5  | 4    |
| 口 腔 病 理 学        | 1.5  |      |
| 病 理 診 断 学 実 習    | 1    |      |
| 薬 物 療 法 学        | 1.5  | 4    |
| 歯科薬物療法学          | 1.5  |      |
| 歯科薬物療法学実習        | 1    |      |
| 歯 科 薬 剤 学        | 1.5  | 1.5  |
| 歯 科 理 工 学        | 4.5  | 5.5  |
| 歯 科 理 工 学 実 習    | 1    |      |

| 授 業 料 目       | 単位数  | 計    |
|---------------|------|------|
| 歯 科 放 射 線 学   | 3    | 3    |
| 歯科麻酔と救急処置     | 3    | 3    |
| 口腔顎顔面外科手術学    | 1.5  | 3.1  |
| 口腔外科学・全身管理学実習 | 1.6  |      |
| 保 存 修 復 学     | 3    | 4.6  |
| 保存修復学実習       | 1.6  |      |
| 歯 内 療 法 学     | 3    | 4.6  |
| 歯内療法学実習       | 1.6  |      |
| 歯周疾患治療学       | 3    | 4    |
| 歯周疾患治療学実習     | 1    |      |
| 顎口腔機能診断学      | 3    | 4    |
| 顎口腔機能診断学実習    | 1    |      |
| 歯 科 矯 正 学     | 3    | 4    |
| 歯科矯正学実習       | 1    |      |
| 小 児 歯 科 学     | 3    | 4    |
| 小児歯科学実習       | 1    |      |
| 部分床義歯補綴学      | 3    | 4.6  |
| 部分床義歯補綴学実習    | 1.6  |      |
| 全部床義歯補綴学      | 1.5  | 3.1  |
| 全部床義歯補綴学実習    | 1.6  |      |
| 歯冠補綴架工義歯学     | 3.0  | 6.2  |
| 歯冠補綴架工義歯学実習   | 3.2  |      |
| 口腔顎顔面外科学      | 4.5  | 6    |
| 口腔顎顔面外科診断治療学  | 1.5  |      |
| 高 齢 者 歯 科 学   | 1.5  | 1.5  |
| 障 害 者 歯 科 学   | 0.75 | 0.75 |
| 歯 科 心 身 医 学   | 0.75 | 0.75 |

| 授 業 料 目         | 単位数    | 計    |
|-----------------|--------|------|
| 専門歯科治療概論        | 1.5    | 1.5  |
| 医 療 統 計 学       | 0.75   | 0.75 |
| 生 体 機 能 調 節 学   | 1.5    | 1.5  |
| ヒ ト の 一 生       | 1.5    | 1.5  |
| 材 料 科 学         | 1.5    | 1.5  |
| 顎口腔運動制御学        | 0.75   | 0.75 |
| 唾 液 と 唾 液 腺     | 0.75   | 0.75 |
| 臨 床 診 査 ・ 検 査 学 | 1.5    | 1.5  |
| 口 腔 腫 瘍 学       | 1.5    | 1.5  |
| 歯 性 感 染 症       | 0.75   | 0.75 |
| 顎咬合診断・口腔インプラント学 | 1.5    | 2.3  |
| 口腔インプラント実習      | 0.8    |      |
| 歯科医学入門演習        | 2      | 4    |
| 歯 科 症 候 学 演 習   | 2      |      |
| 歯科医のための内科学      | 3      | 3    |
| 外 科 学           | 1.5    | 1.5  |
| 耳 鼻 咽 喉 科 学     | 1.5    | 1.5  |
| 臨 床（病 院）実 習     | 10     | 10   |
| 基 礎 医 学 演 習     | 1      | 3    |
| 総合基礎医学演習        | 1      |      |
| 臨 床 歯 学 探 究     | 1      |      |
| 総 合 科 目 ① ② ③   | 6      | 6    |
| 包 括 歯 科 医 学     | 2      | 2    |
| 合 計             | 199.55 |      |





## 第2学年 授業科目 目次

### － 前 期 －

|                 |    |
|-----------------|----|
| 臨 床 心 理 学       | 12 |
| 医 療 統 計 学       | 14 |
| 原 子 核 と 放 射 線   | 16 |
| 物 質 の 構 造 と 反 応 | 18 |
| 生命の連続性と遺伝子      | 20 |
| 英 語 会 話         | 22 |
| 実 用 医 学 英 語 II  | 24 |
| 生 化 学           | 26 |
| 解 剖 学           | 28 |
| 口 腔 解 剖 学       | 30 |
| 口 腔 解 剖 学 実 習   | 32 |
| 組 織 学           | 34 |
| 生 理 学           | 36 |
| 感 染 微 生 物 学     | 38 |
| 薬 物 療 法 学       | 40 |
| 歯 科 理 工 学       | 42 |
| 生 体 機 能 調 節 学   | 44 |
| 発 生 学           | 46 |
| 基 礎 医 学 演 習     | 48 |

### － 後 期 －

|                 |    |
|-----------------|----|
| 健 康 科 学 II      | 54 |
| 英 語 会 話         | 56 |
| 社 会 歯 科 入 門     | 58 |
| 基 礎 口 腔 保 健 学   | 60 |
| 口 腔 生 化 学       | 62 |
| 解 剖 学           | 64 |
| 解 剖 学 実 習       | 66 |
| 口 腔 組 織 学       | 70 |
| 生 理 学           | 72 |
| 感 染 微 生 物 学     | 74 |
| 病 理 学           | 76 |
| 歯 科 薬 物 療 法 学   | 80 |
| 歯 科 理 工 学       | 82 |
| 歯 科 理 工 学 実 習   | 86 |
| 専 門 歯 科 治 療 概 論 | 88 |
| 顎 口 腔 運 動 制 御 学 | 90 |
| 唾 液 と 唾 液 腺     | 92 |
| 基 礎 医 学 演 習     | 94 |



## 第2学年 前期授業科目 目次

|                 |    |
|-----------------|----|
| 臨 床 心 理 学       | 12 |
| 医 療 統 計 学       | 14 |
| 原 子 核 と 放 射 線   | 16 |
| 物 質 の 構 造 と 反 応 | 18 |
| 生命の連続性と遺伝子      | 20 |
| 英 語 会 話         | 22 |
| 実 用 医 学 英 語 II  | 24 |
| 生 化 学           | 26 |
| 解 剖 学           | 28 |
| 口 腔 解 剖 学       | 30 |
| 口 腔 解 剖 学 実 習   | 32 |
| 組 織 学           | 34 |
| 生 理 学           | 36 |
| 感 染 微 生 物 学     | 38 |
| 薬 物 療 法 学       | 40 |
| 歯 科 理 工 学       | 42 |
| 生 体 機 能 調 節 学   | 44 |
| 発 生 学           | 46 |
| 基 礎 医 学 演 習     | 48 |

# 臨床心理学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 成田 恭代 | 2  | 前期 | 金曜日 | 16:30～18:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

人が不適応を起こす際の心の在り様を理解し、自他のメンタルヘルスを良好に保つために、臨床心理学の基礎的な考え方や心に関する知識を習得する。

|     | 著者・編者             | 書名      | 版   | 出版社       |
|-----|-------------------|---------|-----|-----------|
| 教科書 | 馬場禮子              | 臨床心理学概説 | 改訂版 | 放送大学教育振興会 |
| 参考書 | 小松崎明・藤井一維<br>浅沼直樹 | 健康科学    | 第一版 | 一世出版      |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（60％）    ☐ 論述試験（ ％）    ☐ 口頭試験（ ％）    ☒ レポート（20％）  
☐ 実地試験（ ％）    ☐ ポートフォリオ（ ％）    ☐ シュミレーションテスト（ ％）  
☐ 観察記録（ ％）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（20％）

## 成績評価方法

授業内で取り扱った内容に関する多肢選択式筆記試験（60％）と、授業に対する意欲感心・出欠状況・参加度（20％）、および毎回の授業終了時にリアクションペーパー内で課す小レポート（20％）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

非常勤のため、教務部に問い合わせる。

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                    | 行動目標（SBOs）                                  |
|-------|-------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|
| 4月8日  | 成田 恭代 | 臨床心理学とは                                 | 臨床心理学の歴史と精神医学との関係、および現在の心理臨床に関する状況を把握する。    |
|       | 準備学習  | 教科書第1～3章を読み、要点を把握する。                    |                                             |
| 4月15日 | 成田 恭代 | こころの構造と働き                               | 精神分析理論を軸にこころの仕組みと働きを理解する。                   |
|       | 準備学習  | 教科書第4・8・9章を読み、要点を把握する。                  |                                             |
| 4月22日 | 成田 恭代 | 臨床心理の見立て                                | 心理臨床におけるアセスメントについて理解する。（インテーク面接および心理査定について） |
|       | 準備学習  | 教科書第5～7章を読み、要点を把握する。                    |                                             |
| 5月13日 | 成田 恭代 | 心理療法                                    | 心理臨床における基本的な治療態度と姿勢について学ぶ。                  |
|       | 準備学習  | 自分が悩みを相談するならば、どのような相手ならば話しやすいか考えて書きだす。  |                                             |
| 5月20日 | 成田 恭代 | こころの健康対策                                | 心身の不調をテーマに、自他の健康について意識を高める。                 |
|       | 準備学習  | 自分の最近の心身の調子を振り返り、どんな時に不調になりやすいか考えて書きだす。 |                                             |

| 授業日                      | 担当者   | 授業内容                                   | 行動目標（SBOs）                  |
|--------------------------|-------|----------------------------------------|-----------------------------|
| 5<br>月<br>24<br>日<br>(火) | 講義なし  |                                        |                             |
|                          | 準備学習  |                                        |                             |
| 5<br>月<br>27<br>日        | 成田 恭代 | ストレスへの対応                               | ストレス反応について知り，それへの対処法を身につける。 |
|                          | 準備学習  | 自分がストレスを感じる事や，自分なりのストレス対処についてノートに書きだす。 |                             |
| 6<br>月<br>3<br>日         | 成田 恭代 | 人間の心の発達と課題                             | ライフサイクルの視点で人生の各段階における課題を知る。 |
|                          | 準備学習  | 自分の幼少期からこれまでを振り返り，困った事や考えた事をノートに書きだす。  |                             |

# 医療統計学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 石井 瑞樹 | 2  | 前期 | 火曜日 | 14:45～16:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

保健・医療分野における予防の基礎と応用を身につけるために、広く保健・医療を学ぶうえで必要となる統計学の基礎および疫学調査の基礎を学び、データの種類や特徴、統計学的解釈について習得するとともに、人間集団における疾病分布と発生要因との関連を研究する「疫学」について理解する。

| 著者・編者        | 書名            | 版     | 出版社 |
|--------------|---------------|-------|-----|
| 教科書 日本疫学会 監修 | はじめて学ぶ やさしい疫学 | 改訂第3版 | 南江堂 |
| 参考書          |               |       |     |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBLを含む）    ☐ 実習  
☒ その他（演習レポート）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（85%）    ☐ 論述試験（ % ）    ☐ 口頭試験（ % ）    ☒ レポート（10%）  
☐ 実地試験（ % ）    ☐ ポートフォリオ（ % ）    ☐ シミュレーションテスト（ % ）  
☐ 観察記録（ % ）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（5%）

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（85%）と、演習レポートの内容および提出に関する評価（10%）と、講義への出席および態度（5%）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：16:00～17:00 場所：院務部内（新潟病院1階 総合受付内）  
事前にメールで要予約

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                              | 行動目標（SBOs）                                                                                                                        |
|-------|-------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月14日 | 石井 瑞樹 | 調査方法、全数調査と標本調査                                    | 1) 保健分野に関連する調査方法を説明する。(B-4-2-④)<br>2) 質問紙調査の特徴を列挙する。(B-4-2-④)<br>3) 標本抽出方法の種類と特徴を説明する。(B-4-2-④)<br>4) 全数調査と標本調査の違いを説明する。(B-4-2-④) |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント、教科書 p30-32 (B および C), p101～(12章)を事前に読む。  |                                                                                                                                   |
| 6月21日 | 石井 瑞樹 | 記述統計(1)                                           | 1) 変数および尺度の種類と性質を説明する。(B-4-2-④)<br>2) データの視覚化の方法を列挙する。(B-4-2-④)<br>3) 度数分布表を説明する。(B-4-2-④)<br>4) ヒストグラムを説明する。(B-4-2-④)            |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント、教科書 p111 (疫学データの性質), p122-124 (E)を事前に読む。 |                                                                                                                                   |
| 6月28日 | 石井 瑞樹 | 記述統計(2)                                           | 1) データの集計方法を列挙する。(B-4-2-④)<br>2) 代表値を列挙し特徴を説明する。(B-4-2-④)<br>3) 散布度を列挙し特徴を説明する。(B-4-2-④)<br>4) 正規分布の特徴を列挙する。(B-4-2-④)             |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント、教科書 p112-114 (データの要約)を事前に読む。             |                                                                                                                                   |
| 7月5日  | 石井 瑞樹 | 記述統計のまとめ（演習）                                      | 1) 度数分布表を作成する。(B-4-2-④)<br>2) ヒストグラムを作成する。(B-4-2-④)<br>3) 代表値および散布度を算出する。(B-4-2-④)                                                |
|       | 準備学習  | 前回の講義の復習をして、演習に臨むように各自準備する。                       |                                                                                                                                   |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                               | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                              |
|-------|-------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月12日 | 石井 瑞樹 | 相関関係, 推測統計                                         | 1) 変数間の相関関係を説明する。(B-4-2)-①, ④<br>2) 複数の変数を用いた統計学的分析方法を分類し説明する。(B-4-2)-①, ④<br>3) 主な有意差検定の方法を分類し説明する。(B-4-2)-①, ④<br>4) 有意差検定で得られた結果の意義を説明する。(B-4-2)-①, ④ |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント, 教科書 p115-121 (推定と検定, 2種類のデータの関連) を事前に読む。 |                                                                                                                                                          |
| 7月19日 | 石井 瑞樹 | 疫学指標とスクリーニング                                       | 1) 疫学調査の手順を記述する。(B-4-1)-①<br>2) 疫学で用いられる基本指標を説明する。(B-4-1)-①<br>3) 有病率と罹患率を説明する。(B-4-2)-③<br>4) スクリーニング検査と指標を説明する。(B-4-1)-②                               |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント, 教科書 p13-17 (A), p95 ~ (11 章) を事前に読む。     |                                                                                                                                                          |
| 8月23日 | 石井 瑞樹 | 疫学研究方法(1)                                          | 1) 記述疫学と分析疫学の特徴を説明する。(B-4-1)-①<br>2) 患者対照研究とコホート研究とを比較する。(B-4-1)-①<br>3) 疫学研究方法ごとの利点・欠点を説明する。(B-4-1)-①<br>4) 疾病異常に関連する疫学諸要因を分類する。(B-4-1)-①               |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント, 教科書 p34-38 (F), p48-49 の表を事前に確認する。       |                                                                                                                                                          |
| 8月30日 | 石井 瑞樹 | 疫学研究方法(2)                                          | 1) 介入研究の特徴を説明する。(B-4-1)-①<br>2) 疫学研究より得られる諸指標を説明し計算する。(B-4-1)-①<br>3) 疫学研究により生じるバイアスを列挙する。(B-4-1)-①<br>4) 根拠に基づいた医療< EBM >を説明する。(B-4-1)-①, ④             |
|       | 準備学習  | 事前配布プリント, 教科書 p10 ~ 12 (臨床疫学, 治験) を事前に読む。          |                                                                                                                                                          |



# 原子核と放射線

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間            | 場所      |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 小野 裕明 | 2  | 前期 | 金曜日 | 14:45 ~ 16:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医療に必要な放射線診断や先進医療機器の原理と放射線の人体への影響を理解するために必要な、原子核の構造や放射線の発生過程など物理学的な知識を習得する。

|     | 著者・編者  | 書名       | 版 | 出版社   |
|-----|--------|----------|---|-------|
| 教科書 | 村田浩 他著 | 医歯系の物理学  | 2 | 東京教学社 |
| 参考書 | 西臺武弘   | 放射線医学物理学 | 3 | 文光堂   |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☒ その他 (問題演習)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)
- ☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての筆記試験(90%)と、毎回の演習問題を含めた授業に対する関心・意欲・態度(10%)により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：金曜 時間：講義後 16:30-17:00 場所：物理学研究室 (2号館2階) 事前にメールで連絡すること

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                        | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                      |
|-------|-------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月8日  | 小野 裕明 | 電磁気現象と電磁波                   | 1) 電場と磁場の関係を説明する。(C-1-2)-③<br>2) 電子加速と制御の原理を説明する。(C-1-2)-③<br>3) 電磁波と放射線の関係を説明する。(C-1-2)-②, ③<br>4) 電磁気学の医学への応用を説明する。(C-1-2)-③   |
|       | 準備学習  | 1年生で学習した電磁気学の講義資料やノートを確認する。 |                                                                                                                                  |
| 4月15日 | 小野 裕明 | 原子構造と同位体                    | 1) 原子構造を説明する。(C-1-1)-①, ②<br>2) 放射性同位体について説明する。(C-1-1)-①, ②<br>3) 元素記号表と原子構造の関係を説明する。(C-1-1)-①, ②<br>4) 電子の特徴を説明する。              |
|       | 準備学習  | 教科書 p273, 282-283 を確認する。    |                                                                                                                                  |
| 4月22日 | 小野 裕明 | 光電効果と光量子仮説                  | 1) 光の粒子性を説明する。(C-1-2)-②<br>2) 光電効果を説明する。(C-1-2)-②, ③<br>3) 光子のエネルギーを記述する。(C-1-2)-②<br>4) コンプトン散乱を説明する。(C-1-2)-②, ③               |
|       | 準備学習  | 教科書 p255-259 を確認する。         |                                                                                                                                  |
| 5月13日 | 小野 裕明 | 電子軌道と原子スペクトル                | 1) 原子の電子軌道の特徴を説明する。(C-1-2)-③<br>2) 電子軌道の量子化について説明する。(C-1-2)-③<br>3) 原子スペクトルと電子軌道の関係を説明する。(C-1-2)-②, ③<br>4) ボーア半径を計算する。(C-1-2)-③ |
|       | 準備学習  | 教科書 p260-263 を確認する。         |                                                                                                                                  |
| 5月20日 | 小野 裕明 | 電子の波動性                      | 1) 電子の波動性を説明する。(C-1-2)-②, ③<br>2) 電子のド・ブロイ波長を計算する。(C-1-2)-②, ③<br>3) 電子顕微鏡の原理を説明する。(C-1-2)-②, ③                                  |
|       | 準備学習  | 教科書 p266-267 を確認する。         |                                                                                                                                  |

| 授業日          | 担当者           | 授業内容                     | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                               |
|--------------|---------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月24日<br>(火) | 小野 裕明<br>金曜授業 | 原子核の構造と核反応               | 1) 原子核の構造を説明する。<br>2) 原子核の結合エネルギーと核反応の関係を説明する。(C-1-1)-③)<br>3) 核分裂で放出されるエネルギーを計算する。(C-1-1)-③)<br>4) 核融合反応を説明する。                                           |
|              | 準備学習          | 教科書 p273-278 を確認する。      |                                                                                                                                                           |
| 5月27日        | 小野 裕明         | 磁気モーメントと核磁気共鳴            | 1) 原子・電子・原子核の磁気モーメントを分類する。(C-1-2)-③)<br>2) 電子スピン共鳴現象を説明する。(C-1-2)-③)<br>3) 磁気共鳴現象を説明する。(C-1-2)-③) (E-1-2)-⑨)<br>4) MRI の原理を説明する。(E-1-2)-⑨)                |
|              | 準備学習          | 教科書 p278-281 を確認する。      |                                                                                                                                                           |
| 6月3日         | 小野 裕明         | X線の発生原理                  | 1) X線の発生機構を説明する。(E-1-2)-⑤)<br>2) X線管の原理を説明する。(E-1-2)-⑤)<br>3) 固有X線と制動X線の違いを説明する。(E-1-2)-⑤)<br>4) X線スペクトルを説明する。(E-1-2)-⑤)                                  |
|              | 準備学習          | 教科書 p286-289 を確認する。      |                                                                                                                                                           |
| 6月10日        | 小野 裕明         | X線と物質との相互作用              | 1) X線と物質との相互作用を記述する。(E-1-2)-④, ⑤)<br>2) 電子対生成を説明する。(E-1-2)-④, ⑤)<br>3) X線の減衰と放射線防護の関係を説明する。(E-1-2)-③)                                                     |
|              | 準備学習          | 教科書 p289-292 を確認する。      |                                                                                                                                                           |
| 6月17日        | 小野 裕明         | 放射線量と単位                  | 1) 放射線の種類を分類する。(E-1-2)-①)<br>2) 放射線の線量を説明する。(E-1-2)-①)<br>3) 半減期を使って線量を計算する。(E-1-2)-①)<br>4) 放射能や放射線量の単位を説明する。(E-1-2)-①)                                  |
|              | 準備学習          | 教科書 p296-303 を確認する。      |                                                                                                                                                           |
| 6月24日        | 小野 裕明         | 放射線の発見・歴史と素粒子物理学の最前線     | 1) 放射線の発見・歴史を説明する。(E-1-2)-①)<br>2) 放射線の種類, 単位を説明する。(E-1-2)-①)<br>3) 放射線と素粒子物理学の関係を述べる。                                                                    |
|              | 準備学習          | 教科書 p282-283 を確認する。      |                                                                                                                                                           |
| 7月1日         | 小野 裕明         | 放射線・核エネルギーの応用利用と核安全保障    | 1) 放射線の生活・産業への応用利用を説明する。<br>2) 原子力発電の原理について説明する。(C-1-1)-③)<br>3) 核安全保障について説明する。(C-1-1)-③)                                                                 |
|              | 準備学習          | 原子核と核反応の講義内容を再度確認する。     |                                                                                                                                                           |
| 7月8日         | 小野 裕明         | 放射線の医学応用 1               | 1) 放射線の人体への影響と防護について説明する。(E-1-2)-②, ③)<br>2) X線画像診断装置の原理を説明する。(E-1-2)-④, ⑤)<br>3) 歯科用X線画像診断装置の原理を説明する。(E-1-2)-④, ⑤, ⑨)<br>4) CT と MRI の違いを説明する。(E-1-2)-⑨) |
|              | 準備学習          | X線の発生原理, NMR の原理を再度確認する。 |                                                                                                                                                           |
| 7月15日        | 小野 裕明         | 放射線の医学応用 2               | 1) 核医学検査の手法を分類する。(E-1-2)-⑨)<br>2) PET と SPECT の違いを説明する。(E-1-2)-⑨)<br>3) 粒子線を使ったガン治療について説明する。<br>4) 高度な放射線治療機器について理解する。(A-1-9)-③) (E-1-2)-⑨)               |
|              | 準備学習          | X線の発生原理, NMR の原理を再度確認する。 |                                                                                                                                                           |
| 8月26日        | 小野 裕明         | 問題演習                     | 1) 演習問題を解く。                                                                                                                                               |
|              | 準備学習          | 演習問題を解く。                 |                                                                                                                                                           |

# 物質の構造と反応

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間            | 場所      |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 種村 潔  | 2  | 前期 | 木曜日 | 13:00 ~ 14:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医学を学ぶ上で必要な有機化学の基礎を身につけるために、有機化合物の構造と反応について理解を深める。

|     | 著者・編者               | 書名        | 版   | 出版社  |
|-----|---------------------|-----------|-----|------|
| 教科書 | 山口良平・山本行男<br>田村 類 著 | ベーシック有機化学 | 第2版 | 化学同人 |
| 参考書 |                     |           |     |      |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☒ その他 (問題演習)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (60%)    ☒ 論述試験 (20%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

多肢選択・穴埋め形式による筆記試験 (60%), 論述形式による筆記試験 (20%) と, 課題提出を含めた授業の出欠状況 (20%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 12:45 ~ 13:45 場所: 化学研究室 (2 号館 3 階) 事前にメールで予約のこと。  
メールでの質問等は随時受け付ける。

| 授業日   | 担当者  | 授業内容                        | 行動目標 (SBOs)                                                 |
|-------|------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 4月7日  | 種村 潔 | アルデヒド・ケトン(1)                | 1) アルデヒド・ケトンの命名法を説明する。(C-1-1)                               |
|       | 準備学習 | 教科書 p.135-145 を読み, 要点を確認する。 |                                                             |
| 4月14日 | 種村 潔 | アルデヒド・ケトン(2)                | 1) アルデヒド・ケトンの構造, 性質, 反応を説明する。(C-1-1)                        |
|       | 準備学習 | 教科書 p.169-174 を読み, 要点を確認する。 |                                                             |
| 4月21日 | 種村 潔 | カルボン酸とその誘導体(1)              | 1) カルボン酸の命名法を説明する。(C-1-1)<br>2) カルボン酸の性質と反応を説明する。(C-1-1)    |
|       | 準備学習 | 教科書 p.149-154 を読み, 要点を確認する。 |                                                             |
| 4月28日 | 種村 潔 | カルボン酸とその誘導体(2)              | 1) カルボン酸誘導体の命名法を説明する。(C-1-1)<br>2) カルボン酸誘導体の反応を説明する。(C-1-1) |
|       | 準備学習 | 教科書 p.155-165 を読み, 要点を確認する。 |                                                             |
| 5月12日 | 種村 潔 | アミン                         | 1) アミンの命名法を説明する。(C-1-1)<br>2) アミンの構造, 性質, 反応を説明する。(C-1-1)   |
|       | 準備学習 | 教科書 p.183-194 を読み, 要点を確認する。 |                                                             |

| 授業日   | 担当者  | 授業内容                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                             |
|-------|------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月19日 | 種村 潔 | 生体構成物質(1)<br>単糖類              | 1) 単糖類の命名法を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-②)<br>2) 単糖類の構造と性質を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-②)                                          |
|       | 準備学習 | 教科書 p197-200 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                         |
| 5月26日 | 種村 潔 | 生体構成物質(2)<br>二糖類・多糖類          | 1) 二糖類の命名法・構造・性質を説明する。<br>(C-1-1)-②, C-2-1)-②)<br>2) 多糖類の命名法・構造・性質を説明する。<br>(C-1-1)-②, C-2-1)-②)                        |
|       | 準備学習 | 教科書 p200-202 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                         |
| 6月2日  | 種村 潔 | 生体構成物質(3)<br>アミノ酸             | 1) アミノ酸の命名法・構造・性質を説明する。<br>(C-1-1)-②, C-2-1)-①)<br>2) アミノ酸の反応を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-①)                                 |
|       | 準備学習 | 教科書 p211-214 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                         |
| 6月9日  | 種村 潔 | 生体構成物質(4)<br>タンパク質            | 1) タンパク質の性質を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-①)<br>2) ペプチド結合を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-①)<br>3) タンパク質の高次構造を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-①) |
|       | 準備学習 | 教科書 p214-215 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                         |
| 6月23日 | 種村 潔 | 生体構成物質 (5)<br>脂質              | 1) 脂質の構造と性質を説明する。(C-1-1)-②, C-2-1)-③)                                                                                   |
|       | 準備学習 | 教科書 p203-204 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                         |
| 6月30日 | 種村 潔 | 芳香族化合物の反応(1)                  | 1) 芳香族化合物の命名法を説明する。(C-1-1)<br>2) 芳香族求電子置換反応を説明する。(C-1-1)                                                                |
|       | 準備学習 | 教科書 p85-89 を読み、要点を確認する。       |                                                                                                                         |
| 7月7日  | 種村 潔 | 芳香族化合物の反応(2)                  | 1) 芳香族求核置換反応を説明する。(C-1-1)                                                                                               |
|       | 準備学習 | 教科書 p89-94 を読み、要点を確認する。       |                                                                                                                         |
| 7月14日 | 種村 潔 | フェノール・キノン(1)                  | 1) フェノールの命名法を説明する。(C-1-1)<br>2) フェノールの反応を説明する。(C-1-1)                                                                   |
|       | 準備学習 | 教科書 p115-119 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                         |
| 8月25日 | 種村 潔 | フェノール・キノン(2)                  | 1) キノンの命名法と反応を説明する。(C-1-1)<br>2) 重合禁止剤を説明する。(C-1-1, D-1-②)                                                              |
|       | 準備学習 | 教科書 p.120, 124 を読み、要点を確認する。   |                                                                                                                         |
| 8月31日 | 種村 潔 | 複素環化合物                        | 1) 核酸を構成する塩基の種類を説明する。(C-1-1)-②, C-2-2)-①)<br>2) 複素環化合物の命名法と反応を説明する。(C-1-1)                                              |
|       | 準備学習 | 教科書 p85, 202-203 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                         |

# 生命の連続性と遺伝子

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 岡 俊哉  | 2  | 前期 | 月曜日 | 13:00～14:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

広い生物学的視野に立って歯学の基礎系分野を学ぶために、生命の連続性と遺伝子に関する知識を修得する。

| 著者・編者            | 書名              | 版 | 出版社      |
|------------------|-----------------|---|----------|
| 教科書 和田 勝         | 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 | 4 | 羊土社      |
| 参考書 中村圭子・松原謙一 監訳 | 細胞の分子生物学        | 6 | ニュートンプレス |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☒ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☒ その他 (課題等)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (70%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)
- ☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目について多選択肢形式の試験を実施する (70%)。毎回の講義の際のポストテスト, 課題内容, 提出状況を含めた授業に対する関心・意欲・態度の評価割合を 30% とし, 合計点を算出し成績とする。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

メールでの質問は随時。対面での質問は月, 木, 金曜日 17 時から 18 時に 2 号館 2 階生物準備室で対応する。

| 授業日      | 担当者  | 授業内容                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                          |
|----------|------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 11 日 | 岡 俊哉 | 細胞の一生                         | 1) 細胞の一生と細胞死について述べる。(C-1-3)-④<br>2) 分化, 脱分化について説明する。(C-2-2)-①<br>3) 分化能について説明する。(C-2-2)-①<br>4) 生殖の概念と類型について説明する。(C-2-3)-⑩                           |
|          | 準備学習 | 教科書 p246-264 に目を通す。           |                                                                                                                                                      |
| 4 月 18 日 | 岡 俊哉 | 細胞分裂の類型と細胞周期                  | 1) 体細胞と生殖細胞を説明する。(C-2-2)-①<br>2) 体細胞と生殖細胞の核相について述べる。(C-2-2)-①<br>3) 細胞分裂の類型を説明し, 各類型の特徴を列挙する。<br>4) 細胞周期の概念を述べ, 各時期の特徴を説明する。(C-1-3)-③                |
|          | 準備学習 | 教科書 p246-264 を通読する。           |                                                                                                                                                      |
| 4 月 25 日 | 岡 俊哉 | 分裂装置と分裂のメカニズム                 | 1) 体細胞分裂の過程を説明する。(C-1-3)-③<br>2) 分裂装置とその構成要素を図示し, 説明する。(C-1-3)-③<br>3) 後期における分裂メカニズムを説明する。(C-1-3)-③<br>4) 終期における分裂メカニズムを説明する。(C-1-3)-③               |
|          | 準備学習 | 教科書 p169-184, p185-212 を通読する。 |                                                                                                                                                      |
| 5 月 9 日  | 岡 俊哉 | DNA の半保存的複製                   | 1) DNA の分子構造の特徴を述べる。(C-1-2)-①<br>2) DNA 複製に関する 3 つの理論的可能性を列挙する。(C-1-2)-②<br>3) DNA 複製に関する実験法を列挙する。(C-1-2)-②<br>4) 実験結果から半保存的複製が正しいことを説明する。(C-1-2)-②  |
|          | 準備学習 | 教科書 p169-175 を通読する。           |                                                                                                                                                      |
| 5 月 16 日 | 岡 俊哉 | DNA の複製機構                     | 1) 原核生物における DNA 複製の特徴を列挙する。(C-3-1)-①<br>2) in vitro における DNA 複製の要件を述べる。(C-1-2)-②<br>3) 非対称的 DNA 複製を図解する。(C-1-2)-②<br>4) DNA 複製に関わる諸因子を説明する。(C-1-2)-② |
|          | 準備学習 | 教科書 p172-174 を通読する。           |                                                                                                                                                      |

| 授業日   | 担当者  | 授業内容                       | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                       |
|-------|------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月23日 | 岡 俊哉 | DNAの損傷と修復                  | 1) DNAの分子的損傷誘因を列挙する。(C-1-2)-②<br>2) 代表的な因子と分子損傷を列挙・説明する。(C-1-2)-⑤<br>3) 損傷修復のしくみを列挙・説明する。(C-1-2)-②                                                |
|       | 準備学習 | 教科書 p179-184 を通読する。        |                                                                                                                                                   |
| 5月30日 | 岡 俊哉 | DNAの損傷とがん                  | 1) DNAの損傷を列挙する。(C-1-2)-②<br>2) DNAの損傷とがん化要因を列挙する。(C-1-2)-②                                                                                        |
|       | 準備学習 | 教科書 p250-264 を通読する。        |                                                                                                                                                   |
| 6月6日  | 岡 俊哉 | 老化<br>講義前半のまとめ             | 1) 老化と遺伝子の関連を列挙する。(C-1-3)-④<br>2) 老化と遺伝子の関連を説明する。(C-1-3)-④<br>3) 学習した内容を概観し、要点を再確認する。                                                             |
|       | 準備学習 | 教科書 p250-264 を通読する。        |                                                                                                                                                   |
| 6月13日 | 岡 俊哉 | 減数分裂の特徴と遺伝的意義              | 1) 減数分裂の構成、特徴を説明する。(C-1-2)-①<br>2) 減数分裂の遺伝的意義を説明する。(C-1-2)-①<br>3) 生活史と減数分裂の関係について述べる。(C-1-3)-③<br>4) 減数分裂前期の特徴を説明する。(C-1-3)-③                    |
|       | 準備学習 | 教科書 p185-189 を通読する。        |                                                                                                                                                   |
| 6月20日 | 岡 俊哉 | 生殖細胞の特徴と受精                 | 1) 生殖子の概念を説明する。(C-2-3)-⑩<br>2) 精子と卵の細胞学的特徴を説明する。(C-2-3)-⑩<br>3) 精子形成と卵子形成の過程を説明する。(C-2-3)-⑩<br>4) 受精の生物学的意義を述べ、受精の機構を説明する。(C-2-3)-⑩               |
|       | 準備学習 | 教科書 p189-195 を通読する。        |                                                                                                                                                   |
| 6月27日 | 岡 俊哉 | 遺伝の法則と染色体                  | 1) 遺伝に関する基礎用語を整理し、その意味を確認する。(C-2-3)-⑩<br>2) メンデルの法則を減数分裂や受精と関連付けて述べる。(C-2-3)-⑩<br>3) 連鎖を減数分裂や受精と関連付けて述べる。(C-2-3)-⑩<br>4) 遺伝子組み換えの概念を述べる。(C-2-3)-⑩ |
|       | 準備学習 | 教科書 p33-38 を通読する。          |                                                                                                                                                   |
| 7月4日  | 岡 俊哉 | 染色体型と核型                    | 1) 染色体の一般的構造、染色体型を説明する。(C-1-2)-①<br>2) テロメアを説明する。(C-1-3)-④<br>3) ヒトを例にとり、核型、性染色体、常染色体を説明する。(C-1-2)-①<br>4) 分染法と分染された染色体の特徴を列挙する。(C-1-2)-①         |
|       | 準備学習 | 教科書 p63-66, 250-251 を通読する。 |                                                                                                                                                   |
| 7月11日 | 岡 俊哉 | 染色体異常とその成因                 | 1) 構造異常の類型を列挙し説明する。(C-1-2)-①<br>2) 構造異常の成因を説明する。(C-1-2)-①<br>3) 数異常の類型を示し説明する。(C-1-2)-①<br>4) 数異常の成因を説明する。(C-1-2)-①                               |
|       | 準備学習 | 教科書 p181 など関連事項を予習する。      |                                                                                                                                                   |
| 8月22日 | 岡 俊哉 | ヒトの染色体異常と疾患                | 1) ヒトの染色体構造異常を例示し、疾患と共に説明する。(C-1-2)-⑤<br>2) 性染色質の特徴を説明する。(C-1-2)-①<br>3) X染色体不活性化を説明する。(C-1-2)-⑤                                                  |
|       | 準備学習 | 前回講義内容を復習する。               |                                                                                                                                                   |
| 8月29日 | 岡 俊哉 | 総復習                        | 1) 学習した内容を概観し、要点を再確認する。<br>2) 不明な点や理解不十分な点を洗い出し、試験に向けて準備する。                                                                                       |
|       | 準備学習 | ノート・配布資料に目を通し、概要を復習する。     |                                                                                                                                                   |



# 英語会話

| 授業責任者      | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間            | 場所      |
|------------|----|----|-----|---------------|---------|
| ティモシー・フィニー | 2  | 前期 | 金曜日 | 13:00 ~ 14:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

To learn the basic knowledge, skills and attitude to communicate with patients in English. 学習者が患者と英語で円滑なコミュニケーションをとれるように、英語でのコミュニケーションに必要な基本的知識、技能、態度を身に付けることを目標とする。

|     | 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----|-------|----|---|-----|
| 教科書 |       |    |   |     |
| 参考書 |       |    |   |     |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☒ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (40%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☒ 口頭試験 (20%)    ☒ レポート (20%)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

学期に 2 回筆記試験を行う。筆記試験は多肢選択式、空所補充等の形式で実施する。学期の最後にグループで、対話の台本を作成し、パワーポイントのスライドとともにオンラインで発表するパフォーマンステストをおこなう。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

非常勤のため、教務部に問い合わせる。

| 授業日   | 担当者            | 授業内容                                                     | 行動目標 (SBOs)      |
|-------|----------------|----------------------------------------------------------|------------------|
| 4月8日  | Timothy Finney | Practicing greetings and giving personal information     | 英語でコミュニケーションする。  |
|       | 準備学習           | 自己紹介の内容を考える。                                             |                  |
| 4月15日 | Timothy Finney | Interview.                                               | 英語でコミュニケーションする。  |
|       | 準備学習           | 先週の内容を復習し、問題に答えられるようにする。                                 |                  |
| 4月22日 | Timothy Finney | Discussing Personal Interests                            | 英語でコミュニケーションする。  |
|       | 準備学習           | 事前に Web で示される問題を準備する。                                    |                  |
| 5月13日 | Timothy Finney | Listening Practice. Speaking Practice.                   | 英語でコミュニケーションする。  |
|       | 準備学習           | 事前に Web で示される問題を準備する。                                    |                  |
| 5月20日 | Timothy Finney | Reading and discussion of English-language news article. | 英語で新聞記事を読み、討議する。 |
|       | 準備学習           | 事前に Web で示される問題を準備する。                                    |                  |

| 授業日          | 担当者            | 授業内容                                                                     | 行動目標 (SBOs)                                  |
|--------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 5月24日<br>(火) | Timothy Finney | 休講                                                                       |                                              |
|              | 準備学習           |                                                                          |                                              |
| 5月27日        | Timothy Finney | Test                                                                     | テストを受ける。                                     |
|              | 準備学習           | テストに向けて準備する。                                                             |                                              |
| 6月3日         | Timothy Finney | Talking about Japanese Culture with Slideshow. Group Preparation Begins. | 日本文化について英語でプレゼンをする準備をする。                     |
|              | 準備学習           | 事前に Web で示される問題を準備する。                                                    |                                              |
| 6月10日        | Timothy Finney | Preparation continues.                                                   | 日本文化について英語でプレゼンをする準備をする。                     |
|              | 準備学習           | グループで台本とスライドを完成させる。                                                      |                                              |
| 6月17日        | Timothy Finney | Final Preparation Day.                                                   | 日本文化について英語でプレゼンをする準備の最終日。                    |
|              | 準備学習           | グループで台本とスライドを完成させる。                                                      |                                              |
| 6月24日        | Timothy Finney | Group Presentations.                                                     | 日本文化について英語でプレゼンをする。                          |
|              | 準備学習           | 発表に向けて準備する。                                                              |                                              |
| 7月1日         | Timothy Finney | Group Presentations continued.                                           | 日本文化について英語でプレゼンをする。                          |
|              | 準備学習           | 発表に向けて準備する。                                                              |                                              |
| 7月8日         | Timothy Finney | Group Presentations continued if necessary and/or speaking activity.     | 1) 日本文化について英語でプレゼンをする。<br>2) 英語でコミュニケーションする。 |
|              | 準備学習           | 発表に向けて準備する。                                                              |                                              |
| 7月15日        | Timothy Finney | Test Review.                                                             |                                              |
|              | 準備学習           | テストに向けて準備する。                                                             |                                              |
| 8月26日        | Timothy Finney | Test                                                                     |                                              |
|              | 準備学習           | テストに向けて準備する。                                                             |                                              |



# 実用医学英語Ⅱ

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 影山 幾男 | 2  | 前期 | 木曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

国際社会で活躍する歯科医師となるために、実用的に必要な医学英語を習得する。

|     | 著者・編者     | 書名           | 版   | 出版社  |
|-----|-----------|--------------|-----|------|
| 教科書 | 影山幾男・羽村 章 | 歯科学生のための医学英語 | 第1版 | 学建書院 |
| 参考書 |           |              |     |      |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（ %）    ☐ 論述試験（ %）    ☐ 口頭試験（ %）    ☐ レポート（ %）  
☐ 実地試験（ %）    ☐ ポートフォリオ（ %）    ☐ シュミレーションテスト（ %）  
☐ 観察記録（ %）    ☐ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（ %）

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択形式筆記試験（100%）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

水曜日・17:00-19:00・4号館3階・影山教授室

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                    | 行動目標（SBOs）                                                           |
|-------|-------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 4月7日  | 影山 幾男 | Toothache               | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P1～9 を読み、要点を確認する。   |                                                                      |
| 4月14日 | 影山 幾男 | Oral hygiene            | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P11～18 を読み、要点を確認する。 |                                                                      |
| 4月21日 | 影山 幾男 | Periodontal Disease     | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P19～26 を読み、要点を確認する。 |                                                                      |
| 4月28日 | 影山 幾男 | Cleft Lip               | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P27～40 を読み、要点を確認する。 |                                                                      |
| 5月12日 | 影山 幾男 | Bell's Palsy            | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P41～48 を読み、要点を確認する。 |                                                                      |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                    | 行動目標 (SBOs)                                                          |
|-------|-------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 5月19日 | 影山 幾男 | Leukoplakia                             | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P49～58 を読み、要点を確認する。                 |                                                                      |
| 5月26日 | 影山 幾男 | Herpes Simplex                          | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P59～68 を読み、要点を確認する。                 |                                                                      |
| 6月2日  | 影山 幾男 | The temporomandibular Joint             | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P69～78 を読み、要点を確認する。                 |                                                                      |
| 6月9日  | 影山 幾男 | Sialolithiasis                          | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P79～88 を読み、要点を確認する。                 |                                                                      |
| 6月16日 | 影山 幾男 | Danger triangle of the face             | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P89～96 を読み、要点を確認する。                 |                                                                      |
| 6月23日 | 影山 幾男 | Inferior Alveolar Nerve Block           | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P97～106 を読み、要点を確認する。                |                                                                      |
| 6月30日 | 影山 幾男 | Trigeminal Neuralgia                    | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P107～116 を読み、要点を確認する。               |                                                                      |
| 7月7日  | 影山 幾男 | Paranasal Sinusitis                     | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書 P117～126 を読み、要点を確認する。               |                                                                      |
| 7月14日 | 影山 幾男 | Dental topic 1                          | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 医学英語の基本用語と表現 P130～170 を読み、要点を確認する。      |                                                                      |
| 8月25日 | 影山 幾男 | Review of semester and test preparation | 1) 基本的な医学英語の単語を説明する。<br>2) 基本的な医学英語の文章を理解する。<br>3) 基本的な医学英語の文章を記述する。 |
|       | 準備学習  | 教科書全体を読み、要点を確認する。                       |                                                                      |

# 生化学

| 授業責任者  | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|--------|----|----|-----|-------------|---------|
| 今井 あかね | 2  | 前期 | 木曜日 | 14:45～16:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

基礎医学を修得するため、生体を構成する物質のうち、タンパク質、糖質および脂質について化学的・物理的性質および代謝調節機序を知り、分子レベルで生命現象を理解する。

|     | 著者・編者                         | 書名                                       | 版     | 出版社         |
|-----|-------------------------------|------------------------------------------|-------|-------------|
| 教科書 | 林 典夫・廣野治子 (監修)                | シンプル生化学                                  | 改訂第7版 | 南江堂         |
| 参考書 | 池尾 隆・加藤靖正 他<br>前野正夫・磯川桂太郎 / 著 | スタンダード 生化学・口腔生化学<br>はじめの一步の生化学・分子生物学 第3版 | 第3版   | 学建書院<br>羊土社 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☒ その他 (練習問題プリント)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (75%)    ☒ 論述試験 (15%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☒ レポート (10%)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (75%) および記述式 (15%) 筆記試験と、毎回の講義内容の練習問題プリント提出 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間: 16:30～18:00 (在室時) 場所: 短大教授室 (2号館3階) または生化学講座 (5号館3階)  
 問合せメールアドレス: ga-seika@ml.ngt.ndu.ac.jp

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                               | 行動目標 (SBOs)                                                             |
|-------|-------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 4月7日  | 今井あかね | タンパク質(1)                                           | 1) アミノ酸, ペプチド, タンパク質の化学構造を説明する。(C-1-1)-①②, C-2-1)-①)                    |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p1-18, 49-55 を読み, 要点を確認する。       |                                                                         |
| 4月14日 | 今井あかね | タンパク質(2)                                           | 1) タンパク質の構造を分類する。(C-1-1)-②)<br>2) タンパク質の立体構造と生体機能の関連性について述べる。(C-2-1)-①) |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p55-63 を読み, 要点を確認する。             |                                                                         |
| 4月21日 | 竹澤 晴香 | タンパク質(3)                                           | 1) 酵素の特性と酵素反応について説明する。(C-2-1)-⑤)<br>2) 消化酵素の働きを説明する。(C-2-1)-⑤)          |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p73-88 を読み, 要点を確認する。             |                                                                         |
| 4月28日 | 竹澤 晴香 | タンパク質(4)                                           | 1) 酵素反応の生体制御機構を説明する。(C-2-1)-⑤)                                          |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p80-88, 97-106 を読み, 要点を確認する。     |                                                                         |
| 5月12日 | 竹澤 晴香 | タンパク質(5)                                           | 1) タンパク質の消化を説明する。(C-2-1)-①)<br>2) アミノ酸の代謝と尿素回路について説明する。(C-2-1)-①)       |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p124, 125, 189-210 を読み, 要点を確認する。 |                                                                         |

| 授業日          | 担当者   | 授業内容                                                    | 行動目標 (SBOs)                                                                                                       |
|--------------|-------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月19日        | 今井あかね | 糖質(1)                                                   | 1) 単糖, 多糖類の化学構造と性質を説明する。<br>(C-1-1)-①②, C-2-1)-②)                                                                 |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p19-31 を読み, 要点を確認する。                  |                                                                                                                   |
| 5月26日        | 今井あかね | 糖質(2)                                                   | 1) 糖質の消化を説明する。(C-2-1)-①)<br>2) 解糖系とその意義について説明する。(C-2-1)-②④)                                                       |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p126, 133-143 を読み, 要点を確認する。           |                                                                                                                   |
| 6月2日         | 今井あかね | 糖質(3)                                                   | 1) クエン酸回路とその意義, および電子伝達系・ATP 生産機構について説明する。(C-1-1)-②③, C-2-1)-②④)                                                  |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p143-150, 227-253 を読み, 要点を確認する。       |                                                                                                                   |
| 6月9日         | 今井あかね | 糖質(4)                                                   | 1) 糖新生, 血糖コントロールについて説明する。(C-2-1)-②④)                                                                              |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p138-143, 260-263 を読み, 要点を確認する。       |                                                                                                                   |
| 6月23日        | 森田 貴雄 | 核 酸                                                     | 1) 核酸, 遺伝子及び染色体の構造と機能を説明する。(C-2-2)-①)                                                                             |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p65-71, 211-218 を読み, 要点を確認する。         |                                                                                                                   |
| 6月30日        | 今井あかね | 脂質(1)                                                   | 1) 脂質の化学構造と性質を説明する。(C-1-1)-①②, C-2-1)-③)<br>2) 脂質の消化を説明する。(C-2-1)-③)<br>3) 脂肪酸の動員と $\beta$ 酸化について説明する。(C-2-1)-③④) |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p33-47, 127, 128, 161-165 を読み要点を確認する。 |                                                                                                                   |
| 7月7日         | 今井あかね | 脂質(2)                                                   | 1) 脂肪酸の生合成について説明する。(C-2-1)-③④)<br>2) ステロイド化合物について説明する。(C-2-1)-③⑤)                                                 |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p165-188 を読み, 要点を確認する。                |                                                                                                                   |
| 7月14日        | 今井あかね | 代謝の相互作用                                                 | 1) タンパク質, 糖質および脂質の消化吸収とエネルギー維持のための相互関係について説明する。(C-2-1)-①②③④)                                                      |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p255-268 を読み, 要点を確認する。                |                                                                                                                   |
| 8月25日        | 今井あかね | 栄養の化学<br>メタボリック症候群                                      | 1) 各栄養素の必要量および不足や過剰時の異常について説明する。<br>(C-2-1)-④⑤)                                                                   |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p269-276, 419-430 を読み, 要点を確認する。       |                                                                                                                   |
| 8月31日<br>(水) | 竹澤 晴香 | がんの生化学                                                  | 1) 遺伝子変異とがんの関係について説明する。(C-5-6)-②)<br>2) がん遺伝子とがん抑制遺伝子について説明する。(C-2-2)-①)<br>3) がんと遺伝子修復の関係を説明する。(C-2-2)-②)        |
|              | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。教科書 p315-328 を読み, 要点を確認する。                |                                                                                                                   |

# 解剖学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|-------|----|----|-----|------------|---------|
| 影山 幾男 | 2  | 前期 | 月曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

歯科医業に必要な人体の形態と構造を理解するために、各器官系別に基本的な解剖学的知識を習得する。

|     | 著者・編者     | 書名      | 版    | 出版社   |
|-----|-----------|---------|------|-------|
| 教科書 | 影山幾男・井出吉信 | 口腔解剖学   | 第2版  | 医歯薬出版 |
| 参考書 | Platzer 他 | 解剖学アトラス | 第10版 | 文光堂   |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（ %）    ☐ 論述試験（ %）    ☐ 口頭試験（ %）    ☐ レポート（ %）  
☐ 実地試験（ %）    ☐ ポートフォリオ（ %）    ☐ シュミレーションテスト（ %）  
☐ 観察記録（ %）    ☐ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（ %）

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択形式筆記試験（100％）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

水曜日・17:00-19:00・4号館3階・影山教授室

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                          | 行動目標（SBOs）                                                                                                                   |
|-------|-------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月11日 | 影山 幾男 | 総論・身体の部位と方向用語<br>骨学(1) 頭蓋骨の概要 | 1) 身体の部位を解剖学的に区別する。(C-2-1)-①)<br>2) 身体の方向用語を正確に説明する。(C-2-1)-②)<br>3) 骨の基本構造を説明する。(C-2-3)-(2)-②)<br>4) 頭蓋骨の構成を説明する。(E-2-1)-①) |
|       | 準備学習  | 教科書 P1～6 を読み、要点を確認する。         |                                                                                                                              |
| 4月18日 | 影山 幾男 | 骨学(3) 頭蓋骨の形態                  | 1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(E-2-1)-①)                                                                                                 |
|       | 準備学習  | 教科書 P94～120 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                              |
| 4月25日 | 影山 幾男 | 骨学(5) 頭蓋骨の形態                  | 1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(E-2-1)-①)                                                                                                 |
|       | 準備学習  | 教科書 P94～120 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                              |
| 5月9日  | 影山 幾男 | 骨学(7) 上肢・下肢の骨格                | 3) 骨の基本構造を説明する。(C-2-3)-(2)-②)                                                                                                |
|       | 準備学習  | 教科書 P94～120 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                              |
| 5月16日 | 影山 幾男 | 筋学(2) 咀嚼筋                     | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。(C-2-3)-(2)-④)<br>2) 生体を構成する主な筋を列挙する。(C-2-3)-(2)-①)                                                        |
|       | 準備学習  | 教科書 P121～129 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                                              |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                           | 行動目標 (SBOs)                                                           |
|-------|-------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 5月23日 | 影山 幾男 | 筋学(4) 胸腹部の筋                    | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。(C-2-3)-(2)-④)<br>2) 生体を構成する主な筋を列挙する。(C-2-3)-(2)-①) |
|       | 準備学習  | 教科書 P19～30 を読み、要点を確認する。        |                                                                       |
| 5月30日 | 影山 幾男 | 筋学(5) 背部の筋                     | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。(C-2-3)-(2)-④)<br>2) 生体を構成する主な筋を列挙する。(C-2-3)-(2)-①) |
|       | 準備学習  | 教科書 P19～30 を読み、要点を確認する。        |                                                                       |
| 6月6日  | 影山 幾男 | 筋学(6) 上下肢の筋                    | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。(C-2-3)-(2)-④)<br>2) 生体を構成する主な筋を列挙する。(C-2-3)-(2)-①) |
|       | 準備学習  | 教科書 P19～30 を読み、要点を確認する。        |                                                                       |
| 6月13日 | 影山 幾男 | 神経(1) 脳神経 (I, II, III, IV, VI) | 1) 脳神経の種類走行, 線維構築および支配領域を説明する。(C-2-3)-(5)-①)                          |
|       | 準備学習  | 教科書 P159～169 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |
| 6月20日 | 影山 幾男 | 神経(2) 脳神経 (V, VIII)            | 1) 脳神経の種類走行, 線維構築および支配領域を説明する。(C-2-3)-(5)-①)                          |
|       | 準備学習  | 教科書 P159～169 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |
| 6月27日 | 影山 幾男 | 神経(3) 脳神経 (VII)                | 1) 脳神経の種類走行, 線維構築および支配領域を説明する。(C-2-3)-(5)-①)                          |
|       | 準備学習  | 教科書 P159～169 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |
| 7月4日  | 影山 幾男 | 神経(4) 脳神経 (IX, X)              | 1) 脳神経の種類走行, 線維構築および支配領域を説明する。(C-2-3)-(5)-①)                          |
|       | 準備学習  | 教科書 P159～169 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |
| 7月11日 | 影山 幾男 | 神経(5) 脳神経 (XI, XII)            | 1) 脳神経の種類走行, 線維構築および支配領域を説明する。(C-2-3)-(5)-①)                          |
|       | 準備学習  | 教科書 P159～169 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |
| 8月22日 | 影山 幾男 | 神経(6) 脊髄神経 (頸神経叢)              | 1) 末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明する。(C-2-3)-(5)-②)                      |
|       | 準備学習  | 教科書 P154～157 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |
| 8月29日 | 影山 幾男 | 神経(7) 脊髄神経 (腕神経叢)              | 1) 末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明する。(C-2-3)-(5)-②)                      |
|       | 準備学習  | 教科書 P154～157 を読み、要点を確認する。      |                                                                       |

# 口腔解剖学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間           | 場所      |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 吉村 建  | 2  | 前期 | 木曜日 | 8:45 ~ 10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

質の高い歯科医療を提供するために、永久歯と乳歯の形態ならびにその変異と歯列の形態についての基礎知識を修得する。

|     | 著者・編者                               | 書名         | 版   | 出版社   |
|-----|-------------------------------------|------------|-----|-------|
| 教科書 | 近藤信太郎, 中村雅典, 松野昌展, 影山幾男, 吉村 建, 野中直子 | 歯の解剖学      | 3 版 | わかば出版 |
| 参考書 | 井手吉信, 阿部伸一, 下田信治, 高橋富久, 藤村 朗        | 口腔顎顔面解剖ノート | 1 版 | 学建書院  |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (100%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (100%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間 15:00 ~ 17:00, 解剖学第1講座教授室 (吉村 8号館3階) 事前に (メール等で) 予約してから訪問すること。講義・学習内容に関する質問は, 質問用アドレス (ga-kaibol@ngt.ndu.ac.jp) でも対応可。

| 授業日   | 担当者  | 授業内容                             | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                |
|-------|------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月7日  | 吉村 建 | 歯の解剖学総論                          | 1) 歯の種類・記号・歯式を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 歯の方向用語を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 歯の外形・内形・固定を説明する。(E-3-1)-②)                                |
|       | 準備学習 | 「歯の解剖学」第I章 p1-13 を読み, 要点を確認する。   |                                                                                                                            |
| 4月14日 | 吉村 建 | 切歯(1)                            | 1) 切歯の共通の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 上顎切歯の共通の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 上顎中切歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>4) 上顎側切歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②) |
|       | 準備学習 | 「歯の解剖学」第IV章 p30-36 を読み, 要点を確認する。 |                                                                                                                            |
| 4月21日 | 吉村 建 | 切歯(2)                            | 1) 下顎切歯の共通の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 下顎中切歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 下顎側切歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)                                |
|       | 準備学習 | 「歯の解剖学」第IV章 p30-36 を読み, 要点を確認する。 |                                                                                                                            |
| 4月28日 | 吉村 建 | 犬歯                               | 1) 犬歯の共通の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 上顎犬歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 下顎犬歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)                                    |
|       | 準備学習 | 「歯の解剖学」第IV章 p37-39 を読み, 要点を確認する。 |                                                                                                                            |
| 5月12日 | 吉村 建 | 小臼歯(1)                           | 1) 小臼歯の共通の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 上顎第一小臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 上顎第二小臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)                             |
|       | 準備学習 | 「歯の解剖学」第IV章 p37-39 を読み, 要点を確認する。 |                                                                                                                            |



| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                 | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                     |
|-------|-------|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月19日 | 吉村 建  | 小臼歯(2)                                               | 1) 下顎第一小臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 下顎第二小臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)                                                                  |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第IV章 p37-39 を読み、要点を確認する。                      |                                                                                                                                 |
| 5月26日 | 吉村 建  | 大臼歯(1)                                               | 1) 大臼歯の共通の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 上顎第一大臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 上顎第二大臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>4) 上顎第三大臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②) |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第IV章 p37-39 を読み、要点を確認する。                      |                                                                                                                                 |
| 6月2日  | 吉村 建  | 大臼歯(2)                                               | 1) 下顎第一大臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 下顎第二大臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 下顎第三大臼歯の特徴を説明する。(E-3-1)-②)                                 |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第IV章 p37-39 を読み、要点を確認する。                      |                                                                                                                                 |
| 6月9日  | 吉村 建  | 歯根                                                   | 1) 切歯の歯根について説明する。(E-3-1)-②)<br>2) 犬歯の歯根について説明する。(E-3-1)-②)<br>3) 小臼歯の歯根について説明する。(E-3-1)-②)<br>4) 大臼歯の歯根について説明する。(E-3-1)-②)      |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第IV章 p37-39 を読み、要点を確認する。                      |                                                                                                                                 |
| 6月23日 | 吉村 建  | 歯の異常(1)                                              | 1) 歯種別の形態と特徴を説明する。(E-3-1)-④)<br>2) 切歯・犬歯・小臼歯の異常を説明する。(E-3-1)-②)                                                                 |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」p114-122 を読み、要点を確認する。                         |                                                                                                                                 |
| 6月30日 | 吉村 建  | 歯の異常(2)                                              | 1) 大臼歯の異常を説明する。(E-3-1)-②)                                                                                                       |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」p114-122 を読み、要点を確認する。                         |                                                                                                                                 |
| 7月7日  | 北島佳代子 | 歯髓腔                                                  | 1) 歯髓腔の形態について説明する。(E-3-1)-⑤)                                                                                                    |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第III章 p26-29 を読み、要点を確認する。                     |                                                                                                                                 |
| 7月14日 | 黒木 淳子 | 乳歯(1)                                                | 1) 乳歯の形態と特徴を説明する。(E-3-1)-④)<br>2) 乳歯の歯髓腔の形態について説明する。(E-3-1)-④)                                                                  |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第V章 p60-66 を読み、要点を確認する。                       |                                                                                                                                 |
| 8月25日 | 吉村 建  | 乳歯(2)・歯列と咬合                                          | 1) 乳歯の形態と特徴を説明する。(E-3-1)-④)<br>2) 歯列と咬合について説明する。(E-2-2)-③)                                                                      |
|       | 準備学習  | 「歯の解剖学」第V章 p60-66, 第VI章 p67-79 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                                                 |
| 8月31日 | 吉村 建  | 口腔                                                   | 1) 口腔の区分と構成要素を説明する。(E-2-2)-①)<br>2) 口腔粘膜の分類と特徴を説明する。(E-2-2)-②)                                                                  |
|       | 準備学習  | 「口腔顎顔面解剖ノート」p181-183, 189-193, 205, 209 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                 |



# 口腔解剖学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間           | 場所          |
|-------|----|----|-----|--------------|-------------|
| 吉村 建  | 2  | 前期 | 水曜日 | 8:45 ~ 12:00 | 新潟病院地下解剖実習室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯と骨格の形態を立体的に理解するために、歯型彫刻、骨格標本の観察等を通して、口腔解剖学に関する基本的知識・技能を修得する。

|     | 著者・編者                               | 書名          | 版   | 出版社   |
|-----|-------------------------------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 | 菊池憲一郎, 影山幾男, 春原正隆                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 | 1 版 | 永末書店  |
| 参考書 | 近藤信太郎, 中村雅典, 松野昌展, 影山幾男, 吉村 建, 野中直子 | 歯の解剖学       | 3 版 | わかば出版 |

## 学習方略 (重複可)

- ☐ 講義    ☒ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☒ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (50%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☒ レポート (5%)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)
- ☒ 観察記録 (40%)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (50%) と、毎回の実習の際のスケッチ (40%) 及びレポート (5%) を含め、実習に対する関心・意欲・態度 (5%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間 15:00 ~ 17:00, 解剖学第1講座教授室 (吉村 8号館3階) 事前に (メール等で) 予約してから訪問すること。講義・学習内容に関する質問は、質問用アドレス (ga-kaibol@ngt.ndu.ac.jp) でも対応可。

| 授業日   | 担当者                    | 授業内容                       | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                           |
|-------|------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月6日  | 吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治 | オリエンテーション・骨学実習(1)          | 1) 実習で標本・模型を扱う際の行動倫理を調べる。<br>2) 頭蓋模型教材を用いた実習の進め方を系統立てて調べる。<br>3) 頭蓋前面を観察し, スケッチする。(E-2-1)-②)<br>4) 頭蓋前面を構成する骨の名称を分類し, 列記する。(E-2-1)-②) |
|       | 準備学習                   | 口腔顎顔面解剖ノート p1-39 の要点を確認する。 |                                                                                                                                       |
| 4月13日 | 吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治 | 骨学実習(2)                    | 1) 頭蓋側面を観察し, スケッチする。(E-2-1)-②)<br>2) 下顎骨を観察し, スケッチする。(E-2-1)-②)<br>3) 頭蓋を構成する骨の名称を分類し, 列記する。(E-2-1)-②)                                |
|       | 準備学習                   | 口腔顎顔面解剖ノート p1-39 の要点を確認する。 |                                                                                                                                       |
| 4月20日 | 吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治 | 骨学実習(3)                    | 1) 内頭蓋底を観察し, スケッチする。(E-2-1)-②)<br>2) 内頭蓋底に存在する孔や突起を列記する。(E-2-1)-②)                                                                    |
|       | 準備学習                   | 口腔顎顔面解剖ノート p1-39 の要点を確認する。 |                                                                                                                                       |
| 4月27日 | 吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治 | 骨学実習(4)                    | 1) 外頭蓋底を観察し, スケッチする。(E-2-1)-②)<br>2) 外頭蓋底に存在する孔や突起を列記する。(E-2-1)-②)                                                                    |
|       | 準備学習                   | 口腔顎顔面解剖ノート p1-39 の要点を確認する。 |                                                                                                                                       |

| 授業日   | 担当者                    | 授業内容                                  | 行動目標 (SBOs)                                                                                                   |
|-------|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月11日 | 吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治 | 骨学実習(5)                               | 1) 頭蓋模型教材と粘土を用い、顎顔面の筋の頭蓋骨の付着を表現する。<br>(E-2-1)-③)                                                              |
|       | 準備学習                   | 口腔顎顔面解剖ノート p43-55 の要点を確認する。           |                                                                                                               |
| 5月18日 | 吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治 | 骨学実習(6)                               | 1) 全身の骨格を分類する。(C-3-4)-(2)-①)<br>2) 全身を構成する骨を観察し、スケッチする。(C-3-4)-(2)-①)<br>3) 全身の骨に存在する孔や突起を列記する。(C-3-4)-(2)-①) |
|       | 準備学習                   | 口腔顎顔面解剖ノート p1, 17-23 の要点を確認する。        |                                                                                                               |
| 5月25日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(1)                            | 1) 上顎右側中切歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>2) 上顎右側側切歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>3) 上顎右側犬歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)       |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-186 の要点を確認する。         |                                                                                                               |
| 6月8日  | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(2)                            | 1) 下顎右側中切歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>2) 下顎右側側切歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>3) 下顎右側犬歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)       |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-186 の要点を確認する。         |                                                                                                               |
| 6月15日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(3)                            | 1) 上顎右側小白歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>2) 上顎右側大臼歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)                                          |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-186 の要点を確認する。         |                                                                                                               |
| 6月22日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(4)                            | 1) 下顎右側小白歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>2) 下顎右側大臼歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)                                          |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-186 の要点を確認する。         |                                                                                                               |
| 6月29日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(5)                            | 1) 上顎右側第一大臼歯の形態と特徴を歯型彫刻する。(E-3-1)-②)                                                                          |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-186 の要点を確認する。         |                                                                                                               |
| 7月6日  | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(6)                            | 1) 下顎右側第一大臼歯の形態と特徴を歯型彫刻する。(E-3-1)-②)                                                                          |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-186 の要点を確認する。         |                                                                                                               |
| 7月13日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(7)                            | 1) 天然歯を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)                                                                                  |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p20-32, p52-186 の要点を確認する。 |                                                                                                               |
| 7月20日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習(8)                            | 1) 歯の形質模型を観察し、スケッチする。(E-3-1)-②)<br>2) 口腔内を観察し、スケッチする。(E-2-2)-①, ②, ③)                                         |
|       | 準備学習                   | 歯の解剖学と歯型彫刻法 p45-49 の要点を確認する。          |                                                                                                               |
| 8月24日 | 吉村 建<br>小林 一広          | 口腔解剖学実習試験                             |                                                                                                               |
|       | 準備学習                   |                                       |                                                                                                               |

# 組織学

| 授業責任者  | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間           | 場所      |
|--------|----|----|-----|--------------|---------|
| 横須賀 宏之 | 2  | 前期 | 金曜日 | 8:45 ~ 10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

生体は様々な機能を有する細胞が目的に合って集合したものであることを理解するために、組織・器官の概念、およびそれらの構造と機能に関する基礎的知識を習得し、臨床分野の基盤となることを認識する。

|     | 著者・編者    | 書名    | 版   | 出版社 |
|-----|----------|-------|-----|-----|
| 教科書 | 牛木辰男 (著) | 入門組織学 | 2 版 | 南江堂 |
| 参考書 |          |       |     |     |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (80%)    ☒ 論述試験 (10%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

一般目標で示した内容について、多選択肢形式 (80%) および論述式 (10%) 筆記試験の定期試験と、毎回の講義の際のソクラテス小テスト (10%) で、授業に対する関心・意欲・態度を評価する。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日    時間帯: 15:00 ~ 16:30 受付    場所: 解剖第2講座第1研究室 (4号館3階)    予約不要

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                      | 行動目標 (SBOs)                                                                                    |
|-------|-------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月8日  | 横須賀宏之 | 組織学総論概要<br>組織の概念          | 1) 生体は細胞, 組織, 器官から成ることを説明する。<br>2) 組織は細胞と細胞間質から成ることを説明する。<br>3) 組織の分類を説明する。                    |
|       | 準備学習  | 教科書 p1-2, 351-353 を一読する。  |                                                                                                |
| 4月15日 | 熊倉 雅彦 | 細胞(1):<br>細胞の構造と機能        | 1) 真核細胞の全体像と細胞膜, 核, 細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明する。(C-2-3)-①)                                          |
|       | 準備学習  | 教科書 p3-15 を一読する。          |                                                                                                |
| 4月22日 | 熊倉 雅彦 | 細胞(2):<br>細胞の活動と一生        | 1) 細胞の分泌と吸収を説明する。(C-2-3)-②)<br>2) 細胞周期と細胞分裂を説明する。(C-2-3)-③)<br>3) 細胞死の種類と基本的機序を説明する。(C-2-3)-④) |
|       | 準備学習  | 教科書 p15-28 を一読する。         |                                                                                                |
| 5月13日 | 横須賀宏之 | (総論)<br>上皮組織(1)<br>構造と機能① | 1) 上皮組織の基本構造を説明する。<br>2) 細胞間接着装置の種類を分類し, 構造と機能を説明する。(C-2-4)-①)<br>3) 基底膜の構造を説明する。              |
|       | 準備学習  | 教科書 p29-34 を一読する。         |                                                                                                |
| 5月20日 | 横須賀宏之 | 上皮組織(2)<br>構造と機能②         | 1) 上皮細胞頂部の特殊な構造を列挙し, それらの機能を説明する。<br>2) 上皮組織の形態, 機能及び分布を説明する。(C-3-4)-(1)-①)                    |
|       | 準備学習  | 教科書 p34-39 を一読する。         |                                                                                                |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                   | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                        |
|-------|-------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月24日 | 横須賀宏之 | 上皮組織(3)<br>腺組織構造と機能                                    | 1) 外分泌腺と内分泌腺の一般構造を比較する。<br>2) 腺の構造と分布及び分泌機構を説明する。(C-3-4)-(1)-(3))                                                                                                                  |
|       | 準備学習  | 教科書 p39-44 を一読する。                                      |                                                                                                                                                                                    |
| 5月27日 | 横須賀宏之 | 支持組織(1)<br>結合組織の構造と機能                                  | 1) 支持組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明する。(C-3-4)-(2)-(2))<br>2) 結合組織の基本構造を説明する。<br>3) 結合組織の細胞要素, 線維要素を説明する。<br>4) 結合組織の種類を説明する。<br>5) 膜の基本構造を説明し, 粘膜と皮膚の構造と機能を説明する。<br>(C-3-4)-(1)-(2))         |
|       | 準備学習  | 教科書 p45-357 を一読する。                                     |                                                                                                                                                                                    |
| 6月3日  | 横須賀宏之 | 支持組織(2)<br>軟骨組織の構造と機能                                  | 1) 軟骨の組織構造と構成する細胞を説明する。(C-3-4)-(2)-(3))<br>2) 硝子軟骨, 弾性軟骨, 線維軟骨の特徴を説明する。                                                                                                            |
|       | 準備学習  | 教科書 p58-61 を一読する。                                      |                                                                                                                                                                                    |
| 6月10日 | 横須賀宏之 | 支持組織(3)<br>骨組織の構造と機能                                   | 1) 骨組織の基本構造を説明する。(C-2-3)-(2)-(2))<br>2) 骨組織の細胞の形態的特徴を説明する。<br>3) 骨基質の特徴を説明する。<br>4) 骨化の機序と成長様式を説明する。(C-2-3)-(1)-(6))<br>5) 骨の改造現象を説明する。(C-2-3)-(2)-(3))                            |
|       | 準備学習  | 教科書 p61-67 を一読する。                                      |                                                                                                                                                                                    |
| 6月17日 | 横須賀宏之 | 筋組織(1)<br>筋組織の種類と機能                                    | 1) 筋組織の分類と分布を説明する。(C-3-4)-(3)-(1))<br>2) 骨格筋の組織構造の特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(1))<br>3) 心筋の組織構造の特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(1))<br>4) 平滑筋の組織構造の特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(1))                          |
|       | 準備学習  | 教科書 p69-82 を一読する。                                      |                                                                                                                                                                                    |
| 6月24日 | 横須賀宏之 | 筋組織(2)<br>筋収縮の機序                                       | 1) 筋細胞の構造を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))<br>2) 筋収縮と制御機構を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))<br>3) 骨格筋収縮の特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))<br>4) 心筋収縮の特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))<br>5) 平滑筋収縮の特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(2)) |
|       | 準備学習  | 教科書 p69-82 を一読する。                                      |                                                                                                                                                                                    |
| 7月1日  | 横須賀宏之 | 神経組織(1)<br>神経細胞の構造と機能                                  | 1) 神経組織の基本構造を説明する。<br>2) ニューロンの構造と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(7))<br>3) シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明する。(C-3-4)-(5)-(9))                                                                            |
|       | 準備学習  | 教科書 p83-93 を一読する。                                      |                                                                                                                                                                                    |
| 7月8日  | 横須賀宏之 | 神経組織(2)<br>支持細胞の種類, 構造と機能                              | 1) 中枢・末梢, 各神経系のグリアの種類, 構造と機能を説明する。<br>(C-3-4)-(5)-(7))                                                                                                                             |
|       | 準備学習  | 教科書 p94-101 を一読する。                                     |                                                                                                                                                                                    |
| 7月15日 | 横須賀宏之 | 支持組織(4) 血液<br>組織学総論まとめ<br>(各論)<br>2. 血管, リンパ管の組織<br>構造 | 1) 血液の構成要素と役割を説明する。(C-3-4)-(4)-(4))<br>2) 組織学総論の総まとめを学習する。<br>3) 血管の組織構造を説明する。(C-3-4)-(4)-(3))<br>4) リンパ管の組織構造を説明する。(C-3-4)-(4)-(5))                                               |
|       | 準備学習  | 教科書 p119-131, 103-110 を一読する。                           |                                                                                                                                                                                    |
| 8月26日 | 横須賀宏之 | 5. 泌尿器の組織学的<br>腎臓-尿管-膀胱-尿道                             | 1) 腎臓, 尿管, 膀胱及び尿道の組織学的構造を説明する。<br>(C-3-4)-(10)-(1))                                                                                                                                |
|       | 準備学習  | 教科書 p211-226 を一読する。                                    |                                                                                                                                                                                    |

# 生理学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|-------|----|----|-----|------------|---------|
| 佐藤 義英 | 2  | 前期 | 火曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

臨床歯科医学を理解するために、末梢・中枢神経、筋、感覚の役割とメカニズムに関する知識を習得し、それに基づいて口腔機能と口腔感覚の役割とメカニズムについて理解する。

|     | 著者・編者                      | 書名             | 版   | 出版社   |
|-----|----------------------------|----------------|-----|-------|
| 教科書 | 岩田幸一・井上富雄，<br>船橋誠・加藤隆史（編集） | 基礎歯科生理学        | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 和泉博之，浅沼直和 編著               | ビジュアル生理学・口腔生理学 | 第3版 | 学建書院  |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☒ その他（ソクラテス演習問題）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（90%）    ☒ 論述試験（10%）    ☐ 口頭試験（ % ）    ☐ レポート（ % ）  
☐ 実地試験（ % ）    ☐ ポートフォリオ（ % ）    ☐ シミュレーションテスト（ % ）  
☐ 観察記録（ % ）    ☐ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（ % ）

## 成績評価方法

到達目標 (GIO) で示した項目についての客観試験（多選択肢形式試験，90%）と論述試験（筆記試験，10%）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：12:00～12:30  
 場所：生理学講座教授室（5号館3階）

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                         | 行動目標 (SBOs)                                                                                                         |
|-------|-------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月12日 | 佐藤 義英 | 興奮性組織(1)<br>細胞膜と膜輸送          | 1) 細胞膜、核および細胞内小器官の機能を説明する。(C-2-3)-①)                                                                                |
|       | 準備学習  | 教科書 p6-8, 16-18 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                     |
| 4月19日 | 佐藤 義英 | 興奮性組織(2)<br>興奮性膜             | 1) 神経の活動電位の発生機序を説明する。(C-3-4)-(5)-⑧)                                                                                 |
|       | 準備学習  | 教科書 p16-25 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                     |
| 4月26日 | 佐藤 義英 | 興奮性組織(3)<br>興奮伝導             | 1) 神経の活動電位の伝導機序を説明する。(C-3-4)-(5)-⑧)<br>2) 末梢神経系の種類と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-①, ②)<br>3) ニューロンとグリアの機能を説明する。(C-3-4)-(5)-⑦) |
|       | 準備学習  | 教科書 p27-34 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                     |
| 5月10日 | 佐藤 義英 | 興奮性組織(4)<br>シナプス伝達 1         | 1) シナプス伝達の機序を説明する。(C-3-4)-(5)-⑨)                                                                                    |
|       | 準備学習  | 教科書 p35-38 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                     |
| 5月17日 | 佐藤 義英 | 興奮性組織(5)<br>シナプス伝達 2         | 1) シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明する。(C-3-4)-(5)-⑨)                                                                             |
|       | 準備学習  | 教科書 p39-42 を読み、要点を確認する。      |                                                                                                                     |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                               | 行動目標 (SBOs)                                                                                        |
|-------|-------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月31日 | 佐藤 義英 | 感覚機能(1)<br>受容器と感覚の分類               | 1) 体性感覚の受容器の機能を説明する。(C-3-4)-(6)-(2))                                                               |
|       | 準備学習  | 教科書 p180-189 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                    |
| 6月7日  | 佐藤 義英 | 感覚機能(3)<br>伝導路                     | 1) 表面感覚の伝導路を説明する。(C-3-4)-(6)-(2))<br>2) 疼痛の制御機構を説明する。(C-3-4)-(6)-(4))                              |
|       | 準備学習  | 教科書 p189-191, 214-218 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                    |
| 6月14日 | 高橋 睦  | 感覚機能(5)<br>歯の感覚                    | 1) 口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明する。(E-2-2)-(9))<br>2) 歯髄と歯周組織の機能を説明する。(E-3-1)-(5), (6))                   |
|       | 準備学習  | 教科書 p310-320 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                    |
| 6月21日 | 佐藤 義英 | 感覚機能(7)<br>聴覚, 平衡感覚                | 1) 聴覚を説明する。(C-3-4)-(6)-(1))<br>2) 平衡感覚を説明する。(C-3-4)-(6)-(1))                                       |
|       | 準備学習  | 教科書 p200-205 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                    |
| 6月28日 | 佐藤 義英 | 骨格筋の収縮(1)                          | 1) 筋組織の分類と分布を説明する。(C-3-4)-(3)-(1))<br>2) 骨格筋の収縮の機序を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))                           |
|       | 準備学習  | 教科書 p42-45 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                    |
| 7月5日  | 佐藤 義英 | 骨格筋の収縮(2)                          | 1) 骨格筋の収縮の機序を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))                                                                 |
|       | 準備学習  | 教科書 p45-47 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                    |
| 7月12日 | 佐藤 義英 | 運動機能(1)<br>運動ニューロンと脊髄反射 1          | 1) 反射の発現と調節機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(6))<br>2) 脊髄の機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                              |
|       | 準備学習  | 教科書 p221-225 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                    |
| 7月19日 | 佐藤 義英 | 運動機能(2)<br>脊髄反射 2                  | 1) 反射の発現と調節機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(6))<br>2) 脊髄の機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                              |
|       | 準備学習  | 教科書 p225-229, 233-235 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                    |
| 8月23日 | 佐藤 義英 | 運動機能(3)<br>顎反射                     | 1) 咀嚼筋の機能を説明する。(E-2-1)-(2))<br>2) 三叉神経の分布および線維構成を説明する。(E-2-1)-(4))<br>3) 下顎反射の機序を説明する。(E-2-1)-(7)) |
|       | 準備学習  | 教科書 p364-368 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                    |
| 8月30日 | 佐藤 義英 | 運動機能(4)<br>大脳皮質, 大脳基底核,<br>姿勢の調節   | 1) 随意運動の発現と調節機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(6))<br>2) 大脳皮質と大脳基底核の機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                    |
|       | 準備学習  | 教科書 p229-240 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                    |



# 感染微生物学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 葛城 啓彰 | 2  | 前期 | 金曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 感染症に対応できる歯科医師となるために、微生物の種類と特性、感染症の概念とその予防・対処方法を理解する。 |
|------------------------------------------------------|

| 著者・編者             | 書名       | 版 | 出版社 |
|-------------------|----------|---|-----|
| 教科書 東 匡伸, 小熊恵二 編集 | シンプル微生物学 | 6 | 南江堂 |
| 参考書               |          |   |     |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (80%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

|                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般目標で示した全項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。 |
|------------------------------------------------------------------------------------|

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 曜日: 金曜日    時間: 17:00～18:00    場所: 微生物学実習室 (4号館2階) |
|---------------------------------------------------|

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                       | 行動目標 (SBOs)                                                                                                         |
|-------|-------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月8日  | 葛城 啓彰 | 授業の進め方ー微生物の世界                              | 1) 感染性微生物の種類を説明する。(C-4-1)-②)                                                                                        |
|       | 準備学習  | シンプル微生物学 p1-6 を読む。                         |                                                                                                                     |
| 4月15日 | 葛城 啓彰 | 細菌の分類・形態・構造および増殖と代謝, 遺伝                    | 1) 細菌の種類・特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-①)<br>2) 細菌の遺伝形式を説明する。(C-4-1)-①)                                                   |
|       | 準備学習  | シンプル微生物学 p7-42 を読む。                        |                                                                                                                     |
| 4月22日 | 葛城 啓彰 | マイコプラズマ, リケッチア, クラミジアの分類・形態・構造および増殖と代謝, 遺伝 | 1) マイコプラズマの特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-①)<br>2) リケッチアの特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-①)<br>3) クラミジアの特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-①) |
|       | 準備学習  | シンプル微生物学 p189-213 を読む。                     |                                                                                                                     |
| 5月13日 | 葛城 啓彰 | ウイルスの分類・形態・構造および増殖と代謝, 遺伝                  | 1) ウイルスの種類・特徴および増殖を説明する。(C-4-1)-①)<br>2) ウイルスの遺伝形式を説明する。(C-4-1)-①)<br>3) ウイルスの病原性を説明する。(C-4-1)-②)                   |
|       | 準備学習  | シンプル微生物学 p221-268 を読む。                     |                                                                                                                     |
| 5月20日 | 葛城 啓彰 | 真菌の分類・形態・構造および増殖と代謝, 遺伝                    | 1) 真菌の種類・特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-①)<br>2) 真菌の病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                                    |
|       | 準備学習  | シンプル微生物学 p341-357 を読む。                     |                                                                                                                     |

| 授業日          | 担当者   | 授業内容                                     | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                              |
|--------------|-------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月24日<br>(火) | 葛城 啓彰 | 原虫の分類・形態・構造および増殖と代謝，遺伝                   | 1) 原虫の種類・特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-①)<br>2) 原虫の病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                                                                         |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p367-370 を読む。                   |                                                                                                                                                          |
| 5月27日        | 葛城 啓彰 | 感染と発症，炎症・免疫の概念，                          | 1) 自然免疫と獲得免疫について説明する。(C-4-2)-①)<br>2) 細胞性免疫と体液性免疫について説明する。(C-4-2)-②)<br>3) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(C-4-2)-③)                                                  |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p43-61, 75-115 を読む。             |                                                                                                                                                          |
| 6月3日         | 葛城 啓彰 | 化学療法薬の種類と作用機序耐性菌の出現                      | 1) 化学療法の目的を説明する。(C-4-1)-⑤)<br>2) 化学療法の原理を説明する。(C-4-1)-⑤)<br>3) 化学療法の作用機序を説明する。(C-4-1)-⑤)<br>4) 化学療法の薬剤耐性機序をする。(C-4-1)-⑤)                                 |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p61-73 を読む。                     |                                                                                                                                                          |
| 6月10日        | 葛城 啓彰 | 皮膚・粘膜の細菌性化膿性疾患，炭疽，丹毒，ライム病                | 1) 皮膚・粘膜感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 皮膚・粘膜感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 皮膚・粘膜感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                   |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p117-128, 166-168, 194-196 を読む。 |                                                                                                                                                          |
| 6月17日        | 葛城 啓彰 | 皮膚・粘膜の発疹症とウイルス                           | 1) 皮膚・粘膜感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 皮膚・粘膜感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 皮膚・粘膜感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦) |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p189-190, 358-365 を読む。          |                                                                                                                                                          |
| 6月24日        | 葛城 啓彰 | 皮膚・粘膜の真菌症と放線菌症                           | 1) 皮膚・粘膜感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 皮膚・粘膜感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 皮膚・粘膜感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                   |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p273-279 を読む。                   |                                                                                                                                                          |
| 7月1日         | 葛城 啓彰 | 眼感染症の原因微生物の性状とその予防                       | 1) 眼感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 眼感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 眼感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                               |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p273-292 を読む。                   |                                                                                                                                                          |
| 7月8日         | 葛城 啓彰 | 唾液腺感染症原因微生物の性状とその予防                      | 1) 唾液腺感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 唾液腺感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 唾液腺感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                         |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p273-292 を読む。                   |                                                                                                                                                          |
| 7月15日        | 葛城 啓彰 | 消毒・滅菌とスタンダードプリコーション<br>p389-400          | 1) 清潔と不潔の区分を説明する。(C-4-1)-④)<br>2) 滅菌と消毒の意義を説明する。(C-4-1)-④)<br>3) 滅菌と消毒の原理を説明する。(C-4-1)-④)<br>4) 滅菌と消毒の代表的な方法を説明する。(C-4-1)-④)                             |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p389-400 を読む。                   |                                                                                                                                                          |
| 8月26日        | 葛城 啓彰 | 課題1-14の質疑応答と問題演                          | 1) 感染性微生物の種類を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 唾液腺感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)               |
|              | 準備学習  | 1～14回の講義の復習をする                           |                                                                                                                                                          |



# 薬物療法学

| 授業責任者  | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|--------|----|----|-----|-------------|---------|
| 仲村 健二郎 | 2  | 前期 | 月曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

適正な薬物療法を実践するために、生体と薬物の相互作用を学び、薬物治療の基本原則を理解する。

|     | 著者・編者    | 書名      | 版 | 出版社   |
|-----|----------|---------|---|-------|
| 教科書 | 大谷 啓一 監修 | 現代歯科薬理学 | 6 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 石田 甫 ほか  | 歯科薬理学   | 5 | 医歯薬出版 |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義   ☐ 示説   ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）   ☐ 実習  
☐ その他（                      ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（70％）   ☐ 論述試験（    ％）                      ☐ 口頭試験（    ％）   ☒ レポート（20％）  
☐ 実地試験（    ％）   ☐ ポートフォリオ（    ％）   ☐ シミュレーションテスト（    ％）  
☐ 観察記録（    ％）   ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10％）

## 成績評価方法

客観試験（満点 70 点）、レポート（満点 20 点）および態度（満点 10 点）を合計して評価する。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月曜日    時間：16:00～17:00    場所：薬理学講座教授室（8 号館 3 階）

| 授業日      | 担当者   | 授業内容                                                                                  | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                                                                                         |
|----------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 11 日 | 仲村健二郎 | [薬理作用、用量と薬理作用]<br>薬物療法を適切に行うための基本となる薬物の用量区分(有効量,中毒量),作用強度と安全性を示す指標(ED50,LD50,安全域)を理解。 | 1) 薬理作用を規定する要因(用量と反応,反応)を説明する。(C-6-2)-③)<br>2) 薬物の用量区分(有効量,中毒量)を説明する。(C-6-2)-③)<br>3) 作用強度と安全性を示す指標である ED50 と LD50 を説明する。<br>4) 作用強度と安全性を示す指標である安全域を説明する。<br>5) 治療薬物モニタリング(TDM)を説明する。                              |
|          | 準備学習  | テキストの第 1 章と 2 章 p2-11 を確認。                                                            |                                                                                                                                                                                                                    |
| 4 月 18 日 | 福井佳代子 | [薬物と医薬品,ゲノム薬理学と iPS 細胞]<br>薬物療法学を学ぶにあたり,医薬品の分類,薬・劇薬・麻薬の表示と保管,日本薬局方を理解。最新の薬理学の動向を理解。   | 1) 医薬品の分類を説明する。(C-6-1)-①)<br>2) 薬物と医薬品との関係を説明する。(C-6-1)-①, C-6-1)-③)<br>3) 毒薬,劇薬および麻薬の表示と保管を説明する。(C-6-1)-②)<br>4) 日本薬局方を説明する。(C-6-1)-③)<br>5) 処方と処方箋の書き方を説明する。(E-1-1)-⑨)<br>6) 最新の薬理学の動向を説明する。(C-6-1)-①, C-6-2)-②) |
|          | 準備学習  | テキストの第 10 章から 11 章 p85-103 を確認。                                                       |                                                                                                                                                                                                                    |
| 4 月 25 日 | 仲村健二郎 | [薬理作用の機序(1)]<br>薬物療法の原理を理解するため薬物受容体の種類とそれらの生理機能,受容体作用薬と遮断薬の薬理作用,受容体を介さない薬物の作用機序を理解。   | 1) 薬理作用の基本形式と分類を説明する。(C-6-2)-①)<br>2) 薬物の作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) 薬物受容体の種類,生理機能と受容体作動薬,遮断薬の薬理作用を説明する。<br>4) 受容体を介さない薬物の作用機序を説明する。                                                                                |
|          | 準備学習  | テキストの第 1 章 p2-7 の復習と第 4 章 p31-43 を確認。                                                 |                                                                                                                                                                                                                    |
| 5 月 9 日  | 仲村健二郎 | [薬理作用の機序(2)]<br>総論として薬物の作用点別の作用機序を理解し,各論における個々の薬物の作用機序の理解を助ける。                        | 1) 薬物による細胞機能の変化の集積が薬理作用であることを説明する。(C-6-2)-②)<br>2) 細胞膜受容体の構造と情報伝達機構を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) 細胞質および核内受容体の特徴と遺伝子の転写因子としての作用を説明する。(C-6-2)-②)<br>4) 受容体を介さない薬理作用を説明する。(C-6-2)-②)                                         |
|          | 準備学習  | テキストの 4 章 p31-43 を確認。                                                                 |                                                                                                                                                                                                                    |
| 5 月 16 日 | 二宮 一智 | [薬物動態(1):投与経路,吸収と分布]<br>薬物療法の原理を理解するために重要な薬物動態のうち,血中への薬物の移行(吸収)と組織への移行(分布)について理解。     | 1) 薬物動態(吸収,分布,代謝,排泄)を説明する。(C-6-3)-②)<br>2) 薬物の吸収過程に影響を与える因子についてを説明する。<br>3) 血中における薬物存在様式としてタンパク質結合型薬物と遊離型薬物およびイオン型薬物と非イオン型薬物についてを説明する。<br>4) 薬物の分布に影響する要因として,血管透過性,組織血流量,タンパク結合率,組織親和性についてを説明する。                   |
|          | 準備学習  | テキストの第 5 章 p44-50 を確認。                                                                |                                                                                                                                                                                                                    |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                                                                                 | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月23日 | 二宮 一智 | [薬物動態(2) 代謝と排泄]<br>薬物療法の原理を理解するために重要な薬物動態のうち、体内における薬物の変化(代謝)と体内からの消失(排泄)について理解。                                      | 1) 薬物動態(吸収, 分布, 代謝, 排泄)を説明する。(C-6-3)-②)<br>2) 薬物代謝過程(第1相反応: 酸化, 還元, 加水分解反応と第2相反応: 抱合反応)についてを説明する。<br>3) 薬物代謝酵素(チトクロムP-450)の分布, 性状, 誘導, 阻害についてを説明する。<br>4) 排泄過程を腎臓(尿), 肝臓(胆汁), 肺(呼吸), 唾液腺(唾液), 乳腺(乳汁)についてを説明する。                                 |
|       | 準備学習  | テキストの第5章 p51-55 を確認。                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 5月30日 | 二宮 一智 | [薬物の効果に影響する諸因子, 薬物連用]<br>薬物療法を適切に行うための基本となる薬物の作用を規定する要因について理解。<br>薬物の連用の影響(耐性, 蓄積, 依存性)と併用による効果(協力, 拮抗, 相互作用)について理解。 | 1) 薬理作用を規定する要因についてを説明する。(C-6-2)-③)<br>2) 薬物の効果に影響する諸因子のうち生体側の因子を列挙し, を説明する。<br>3) 薬物の効果に影響する諸因子のうち薬物側と製剤側の因子についてを説明する。<br>4) 薬物の併用(協力作用, 拮抗作用, 相互作用)を説明する。(C-6-2)-⑤)<br>5) 耐性, 脱感作とタキフィラキシーについてを説明する。(C-6-2)-④)<br>6) 身体依存と精神依存についてを説明する。      |
|       | 準備学習  | テキストの第6章と7章 p56-66 を確認。                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 6月6日  | 二宮 一智 | [薬物の副作用, 有害作用, 相互作用と適用上の注意]<br>薬物の一般的副作用・有害作用を理解し, その予防対策に関する基本的事項を理解。薬物併用時の相互作用を理解。さらに医薬品の適用上の注意を理解する。              | 1) 薬物の一般的副作用・有害作用についてを説明する。(C-6-4)-①)<br>2) 薬物の口唇, 口腔, 顎顔面領域に現れる副作用・有害作用を説明する。(C-6-4)-①)<br>3) 薬物の一般的有害作用の原因とその分類を説明する。<br>4) 薬物による歯肉増殖症, 口腔乾燥症, 流涎, 歯の形成障害と着色, 味覚障害, 口唇異常感, 口内炎についてを説明する。<br>5) 妊婦, 小児, 高齢者, 全身の疾患患者への薬物投与法を説明する。             |
|       | 準備学習  | テキストの第8章と9章 p67-84 を確認。                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 6月13日 | 福井佳代子 | [オータコイド(1)]<br>抗炎症薬の理解にとって重要な炎症反応に密接に関連する生理活性物質であるオータコイド(ヒスタミン, セロトニン, プロスタグランジン等)の体内動態と薬理作用を理解。                     | 1) ヒスタミン, セロトニン, プロスタグランジン等の作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>2) ヒスタミン, セロトニン, プロスタグランジン等の分布, 性状を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) ヒスタミン, セロトニン, プロスタグランジン等の体内動態を説明する。(C-6-3)-②)<br>4) ヒスタミン, セロトニン, プロスタグランジン等と炎症反応との関連を説明する。(C-6-2)-②)                             |
|       | 準備学習  | テキストの第3章 p20-24 を確認。                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 6月20日 | 福井佳代子 | [オータコイド(2)]<br>抗炎症薬の理解にとって重要な炎症反応に密接に関連する生理活性物質であるオータコイド(ブラジキニン, アンジオテンシン及びその他)の体内動態および薬理作用を理解。                      | 1) ブラジキニン, アンジオテンシン等の作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>2) ブラジキニン, アンジオテンシン等の分布, 性状を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) ブラジキニン, アンジオテンシン等の体内動態を説明する。(C-6-3)-②)<br>4) ブラジキニン, アンジオテンシン等と炎症反応との関連を説明する。(C-6-2)-②)<br>5) NO, 血小板活性化因子, エンドセリン, ナトリウム利尿ペプチドを説明する。(C-6-2)-②) |
|       | 準備学習  | テキストの第3章 p20-24 を確認。                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 6月27日 | 二宮 一智 | [生体内生理活性物質]<br>薬物療法学に重要な生理活性物質である神経伝達物質, ホルモン, サイトカイン, 成長因子の特徴, 種類, 作用を理解。                                           | 1) 神経伝達物質の特徴, 種類, 作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>2) ホルモンの特徴, 種類, 作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) サイトカインの特徴, 種類, 作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>4) 成長因子の特徴, 種類, 作用機序を理解する。(C-6-2)-②)                                                                               |
|       | 準備学習  | テキストの第3章のオータコイドの記載を除いた部分 を確認。                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 7月4日  | 原 基   | [局所麻酔薬]<br>歯科臨床で汎用される局所麻酔薬の分類, 種類, 作用機序, 副作用, 適用法, 麻酔効果に影響を及ぼす因子について理解。                                              | 1) 局所麻酔薬の分類, 種類を説明する。<br>2) 局所麻酔薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) 局所麻酔薬の副作用を説明する。(C-6-4)-①)<br>4) 局所麻酔薬の適用法と麻酔効果に影響を及ぼす因子を説明する。                                                                                                                     |
|       | 準備学習  | テキストの第21章 p232-240 を確認。                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 7月11日 | 原 基   | [交感神経作用薬]<br>歯科臨床に, 知っておかなければならない交感神経作用薬の種類, 特徴, 作用機序, 適応症, 副作用を理解。                                                  | 1) 交感神経作用薬の種類と特徴を説明する。<br>2) 交感神経作用薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) 交感神経作用薬の適応症を説明する。<br>4) 交感神経作用薬の副作用を説明する。(C-6-4)-①)                                                                                                                            |
|       | 準備学習  | テキストの第12章 p106-126 を確認。                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 8月22日 | 原 基   | [副交感神経作用薬]<br>歯科臨床に, 知っておかなければならない副交感神経作用薬および運動神経作用薬の種類・作用機序・特徴・適応症・副作用を理解。                                          | 1) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の種類と特徴を説明する。<br>2) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-②)<br>3) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の適応症を説明する。<br>4) 副交感神経作用薬および運動神経作用薬の副作用を説明する。(C-6-4)-①)                                                                                |
|       | 準備学習  | テキストの第12章 p106-126 を確認。                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                |
| 8月29日 | 仲村健二郎 | [講義のまとめ]<br>模擬試験問題を解き, 今までの講義内容の理解度を各自認識し, 理解不足の項目を各自で勉強し直して期末試験に備える。                                                |                                                                                                                                                                                                                                                |
|       | 準備学習  | ノート等に目を通して一通りこれまでの授業内容を把握。                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                |

# 歯科理工学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 大熊 一夫 | 2  | 前期 | 水曜日 | 14:00～15:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、歯科修復物に要求される性質・特性を理解する。さらに、修復物を製作するための成形・加工技術と特徴を理解する。

|     | 著者・編者                             | 書名          | 版   | 出版社   |
|-----|-----------------------------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 | 日本歯科理工学会 編                        | 歯科理工学教育用語集  | 第3版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著 | 基礎歯科理工学     | 第1版 | 医歯薬出版 |
|     | 中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之, 宮川行男 他編         | スタンダード歯科理工学 | 第7版 | 学建書院  |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (45%)    ☒ 論述試験 (45%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)
- ☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (45%), 論述試験 (45%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日    時間帯: 17:00～18:00    場所: 歯科理工学講座教授室 (5号館3階)  
 事前にメールで要予約

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                                     | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                           |
|-------|-------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月6日  | 大熊 一夫 | 歯科修復と材料・技術                                                               | 1) 種々の歯科修復物に使用される材料の種類を述べる。(D-2-①)<br>2) 修復法と使用歯科材料の種類と特徴の概要を説明する。(D-2-①)<br>3) 修復物および義歯製作に伴う操作と主な材料について述べる。<br>(E-3-3)-(1)-③, E-3-4)-(1)-②)                          |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科材料の用途別分類 p5-8, 歯科技術概論 p9-11, 歯科材料の科学 p12-13 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                       |
| 4月13日 | 五十嵐健輔 | 印象採得と模型の作製(1)                                                            | 1) 基本的な印象採得の方法を説明する。<br>2) 印象材に求められる性質を説明する。(D-2-②)<br>3) 印象材の細部再現性と寸法精度を説明する。(D-2-②)<br>4) 印象材の弾性的性質を説明する。(D-2-②)                                                    |
|       | 準備学習  | 歯科基礎理工学の印象材 p30-54 を参考になぜ印象採得を行うか, その方法について学習する。                         |                                                                                                                                                                       |
| 4月20日 | 五十嵐健輔 | 印象採得と模型の作製(2)                                                            | 1) 基本的な模型作製の方法を説明する。<br>2) 模型材に求められる性質を説明する。(D-2-②)<br>3) 模型材の細部再現性と寸法精度を説明する。(D-2-②)<br>4) 模型の欠陥と原因を説明する。(D-2-②)                                                     |
|       | 準備学習  | 歯科基礎理工学の模型材 p54-60 を参考に模型がなぜ必要かについて学習する。                                 |                                                                                                                                                                       |
| 4月27日 | 大熊 一夫 | 歯科精密鋳造(1)                                                                | 1) 鋳造修復物の各作製行程について述べる。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤)<br>2) ワックスアップについて説明する。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤)<br>3) 埋没について説明する。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤)<br>4) 鋳造について説明する。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤) |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科技術概論 p9, 金属の加工法 p181-191 を参考に講義テーマについて学習する。                    |                                                                                                                                                                       |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                               | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                    |
|-------|-------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月11日 | 大熊 一夫 | 歯科精密鑄造(2)                                                          | 1) 鑄造に使用される材料および所要性質について述べる。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤)<br>2) 埋没材の硬化膨張について述べる。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤)<br>3) 埋没材の熱膨張について述べる。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤)<br>4) 鑄造修復物の作製方法と技術上の特徴について説明する。(D-2-②, E-3-4)-(1)-⑤) |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科技工関連材料 p68-78 を参考に講義テーマについて学習する。                         |                                                                                                                                                                                                |
| 5月18日 | 大熊 一夫 | ろう付と熱処理                                                            | 1) ろう付けの方法を説明する。(D-2-②, E-3-4)-(1)-②)<br>2) ろう材を列挙する。(D-2-②)<br>3) 熱処理硬化性を有する歯科用合金を列挙する。(D-2-②)<br>4) 熱処理の方法を説明する。(D-2-②)                                                                      |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の接合技術 p224-228, 歯科用貴金属合金の時効硬化機構 p295-299 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                |
| 5月25日 | 大熊 一夫 | 陶材焼成                                                               | 1) 陶材を用いた修復物を列挙する。(D-2-②, E-3-4)-(1)-②)<br>2) 陶材を用いた修復物の構造を説明する。(D-2-②)<br>3) 陶材の成形方法を説明する。(D-2-②)<br>4) 陶材の焼成方法を説明する。(D-2-②)                                                                  |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科技術概論 p9-11, セラミックスの成形法 p203-207 を参考に講義テーマについて学習する。       |                                                                                                                                                                                                |
| 6月8日  | 小出 未来 | 重 合                                                                | 1) 重合で硬化する歯科材料を列挙する。(D-2-②)<br>2) 加熱重合の方法を説明する。(D-2-②)<br>3) 常温重合の方法を説明する。(D-2-②)<br>4) 光重合の方法を説明する。(D-2-②)                                                                                    |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科技術概論 p9, 歯科技術各論 p168-172 を参考に講義テーマについて学習する。              |                                                                                                                                                                                                |
| 6月15日 | 大熊 一夫 | 成形修復(1)                                                            | 1) 齲蝕の進行と治療について説明する。<br>2) 成形修復の方法について説明する。(D-2-①, E-3-3)-(1)-③)<br>3) 成形修復の順序について説明する。(D-2-①)<br>4) 成形修復材の所要性質について説明する。(D-2-①)                                                                |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科材料の用途別分類 p5, 歯科生体材料 p79-80 を参考に講義テーマについて学習する。            |                                                                                                                                                                                                |
| 6月22日 | 大熊 一夫 | 成形修復(2)                                                            | 1) 成形修復材の機械的性質について説明する。(D-2-①)<br>2) 成形修復の技術的特徴について述べる。(D-2-①, E-3-3)-(1)-③)<br>3) 歯との接着について説明する。(D-2-③)                                                                                       |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p86-87, 接合結合 p214-221 を参考に講義テーマについて学習する。            |                                                                                                                                                                                                |
| 6月29日 | 大熊 一夫 | 成形修復(3)                                                            | 1) フィラーの目的について説明する。(D-2-①)<br>2) フィラーの種類について説明する。(D-2-①)<br>3) シランカップリング処理について説明する。(D-2-①)                                                                                                     |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p82-86 を参考に講義テーマについて学習する。                           |                                                                                                                                                                                                |
| 7月6日  | 大熊 一夫 | 合着・接着(1)                                                           | 1) 合着・接着の定義と界面に働く結合力について述べる。(D-2-③)<br>2) 接着と濡れの関係について述べる。(D-2-③)<br>3) 合着・接着材の所要性質を説明する。(D-1-②, D-2-③)<br>4) 接着強さと接着力の関係を説明する。                                                                |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の接合技術 p210-213 を参考に講義テーマについて学習する。                           |                                                                                                                                                                                                |
| 7月13日 | 大熊 一夫 | 合着・接着(2)                                                           | 1) 機能性モノマーの特徴を説明する。(D-2-③)<br>2) エナメル質に対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(D-2-③)<br>3) 象牙質に対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(D-2-③)                                                                               |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の接合技術 p214-221 を参考に講義テーマについて学習する。                           |                                                                                                                                                                                                |
| 7月20日 | 大熊 一夫 | 合着・接着(3)                                                           | 1) セラミックスに対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(D-2-③)<br>2) 金属に対する接着の特徴と被着面処理方法について述べる。(D-2-③)                                                                                                             |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の接合技術 p223-224 を参考に講義テーマについて学習する。                           |                                                                                                                                                                                                |
| 8月24日 | 大熊 一夫 | 切削・研磨                                                              | 1) 切削・研削について説明する。(D-1-①, E-3-4)-(1)-④)<br>2) 歯質の切削, 修復物・補綴物の研削について述べる。(D-1-①)<br>3) 切削工具・研削材・切削器械の種類と特徴について述べる。(D-1-③)<br>4) 診療器械・器具の用途と特徴について説明する。(D-1-③)<br>5) 歯科用器械の用途と特徴について説明する。(D-1-③)   |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の切削・研削・研磨 p233-240 を参考に講義テーマについて学習する。                       |                                                                                                                                                                                                |



# 生体機能調節学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 熊倉 雅彦 | 2  | 前期 | 月曜日 | 14:45～16:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

生体の恒常性維持（ホメオスタシス）に中心的な役割を果たす内分泌系，神経系，血液について，形態，機能および分子機構の面から総合的な知識を習得し，歯科医師に必要な人体の恒常性維持機構に関する知識を身につける。

|     | 著者・編者          | 書名               | 版     | 出版社     |
|-----|----------------|------------------|-------|---------|
| 教科書 | 牛木辰男（著）        | 入門組織学            | 改訂第2版 | 南江堂     |
|     | 林 典夫，廣野治子（監修）  | シンプル生化学          | 改訂第7版 | 南江堂     |
| 参考書 | 坂井建雄・河原克雅（編）   | カラー図解 人体の正常構造と機能 | 改訂第2版 | 日本医事新報社 |
|     | 池尾 隆 他（編）      | スタンダード生化学・口腔生化学  | 第3版   | 学建書院    |
|     | 早川太郎・須田立雄 他（編） | 口腔生化学            | 第6版   | 医歯薬出版   |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（100%）    ☐ 論述試験（ % ）    ☐ 口頭試験（ % ）    ☐ レポート（ % ）  
☐ 実地試験（ % ）    ☐ ポートフォリオ（ % ）    ☐ シミュレーションテスト（ % ）  
☐ 観察記録（ % ）    ☐ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）（ % ）

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式客観試験（100%）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月曜日 時間帯：16:30～17:00 場所：解剖学第2 講座研究室（4号館3階）

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                       | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                  |
|-------|-------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月11日 | 熊倉 雅彦 | 概論：恒常性維持のメカニズム                             | 1) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類，作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-①)<br>2) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-②)                                          |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                |                                                                                                                                             |
| 4月18日 | 今井あかね | 細胞間情報伝達                                    | 1) 細胞間情報伝達様式を説明する。(C-2-3)-②, C-2-4)-②)<br>2) 細胞膜を説明する。(C-2-3)-①)<br>3) ホルモン・神経伝達物質を分類する。(C-2-4)-②)                                          |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。シンプル生化学 p277-292 を読み要点を確認する。 |                                                                                                                                             |
| 4月25日 | 今井あかね | 受容体と情報伝達(1)                                | 1) 受容体を介する細胞内シグナル伝達機構を述べる。(C-2-4)-②)                                                                                                        |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。シンプル生化学 p277-292 を読み要点を確認する。 |                                                                                                                                             |
| 5月9日  | 今井あかね | 受容体と情報伝達(2)                                | 1) エイコサノイドとサイトカインの作用を列記する。(C-2-4)-②)                                                                                                        |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。口腔生化学 p309-317 を読み要点を確認する。   |                                                                                                                                             |
| 5月16日 | 今井あかね | 血清カルシウム濃度の調節機構                             | 1) 血清カルシウムの恒常性について述べる。<br>(C-3-4)-(4)-④, C-3-4)-(10)-③)<br>2) 血清カルシウム調節に関与するホルモンについて具体的に述べる。<br>(C-3-4)-(9)-①, C-3-4)-(9)-②, C-3-4)-(10)-②) |
|       | 準備学習  | 講義資料をダウンロードする。口腔生化学 p162-172 を読み要点を確認する。   |                                                                                                                                             |

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                  | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                |
|-------|-------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月23日 | 森田 貴雄 | 血液の成分                                                 | 1) 血液の血漿成分および赤血球の形成過程と機能を説明する。<br>(C-3-4)-(4)-(④))                                                                                                         |
|       | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、シンプル生化学 p367-377, 381-383 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                            |
| 5月30日 | 森田 貴雄 | 血液凝固と線溶                                               | 1) 血小板の形成過程と機能を説明する。(C-3-4)-(4)-(④))<br>2) 止血と血液凝固, 線溶の機序を説明する。(C-3-4)-(4)-(⑦))                                                                            |
|       | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、シンプル生化学 p377-381 を読んで要点を確認する。          |                                                                                                                                                            |
| 6月6日  | 熊倉 雅彦 | 内分泌系(1): 内分泌器官の体内分布と内分泌細胞の形態的特徴                       | 1) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類, 作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-(①))<br>2) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-(②))                                                    |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                           |                                                                                                                                                            |
| 6月13日 | 熊倉 雅彦 | 内分泌系(2): 視床下部, 脳下垂体                                   | 1) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類, 作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-(①))<br>2) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-(②))                                                    |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                           |                                                                                                                                                            |
| 6月20日 | 熊倉 雅彦 | 内分泌系(3): 甲状腺, 上皮小体, 胸腺                                | 1) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類, 作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-(①))<br>2) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-(②))                                                    |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                           |                                                                                                                                                            |
| 6月27日 | 熊倉 雅彦 | 内分泌系(4): 副腎, 松果体, 膵臓                                  | 1) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類, 作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-(①))<br>2) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-(②))                                                    |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                           |                                                                                                                                                            |
| 7月4日  | 熊倉 雅彦 | 内分泌系(5): 胃・腸, 生殖腺                                     | 1) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類, 作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-(①))<br>2) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-(②))                                                    |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                           |                                                                                                                                                            |
| 7月11日 | 熊倉 雅彦 | 神経系による生体機能の調節                                         | 1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を説明する。(C-3-4)-(5)-(①))<br>2) 体性神経系と自律神経系の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(②))<br>3) 交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明する。<br>(C-3-4)-(5)-(③))               |
|       | 準備学習  | 事前配付資料を参考に今回の講義テーマについて予習する。                           |                                                                                                                                                            |
| 8月22日 | 熊倉 雅彦 | 総括: 授業全体に関する要<br>点のまとめ                                | 1) 交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明する。<br>(C-3-4)-(5)-(③))<br>2) 内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類, 作用と異常を説明する。(C-3-4)-(9)-(①))<br>3) 恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明する。(C-3-4)-(9)-(②)) |
|       | 準備学習  |                                                       |                                                                                                                                                            |

# 発生学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所 |
|-------|----|----|-----|-------------|----|
| 影山 幾男 | 2  | 前期 | 水曜日 | 15:45～17:15 |    |

## 科目の到達目標（GIO）

頭頸部と心臓脈管系の形態形成を理解するために、人体の基本的な発生学的知識を習得する。

|     | 著者・編者                     | 書名          | 版    | 出版社                     |
|-----|---------------------------|-------------|------|-------------------------|
| 教科書 | T.W.Sadler<br>安田峯生 山田重人 訳 | ラングマン 人体発生学 | 第11版 | メディカルサイエンス<br>インターナショナル |
| 参考書 |                           |             |      |                         |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBLを含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（ %）    ☐ 論述試験（ %）    ☐ 口頭試験（ %）    ☐ レポート（ %）  
☐ 実地試験（ %）    ☐ ポートフォリオ（ %）    ☐ シミュレーションテスト（ %）  
☐ 観察記録（ %）    ☐ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（ %）

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択形式筆記試験（100％）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

水曜日・17:00-19:00・4号館3階・影山教授室

| 授業日   | 担当者   | 授業内容                      | 行動目標（SBOs）                      |
|-------|-------|---------------------------|---------------------------------|
| 6月8日  | 影山 幾男 | 鰓弓について                    | 1) 口腔・顎顔面領域の発生を説明する。(E-2-3)-①)  |
|       | 準備学習  | 教科書 P287～289 を読み、要点を確認する。 |                                 |
| 6月15日 | 影山 幾男 | 咽頭溝と咽頭嚢について               | 1) 口腔・顎顔面領域の発生を説明する。(E-2-3)-①)  |
|       | 準備学習  | 教科書 P292～295 を読み、要点を確認する。 |                                 |
| 6月22日 | 影山 幾男 | 顔面の形成について                 | 1) 口腔・顎顔面領域の発生を説明する。(E-2-3)-①)  |
|       | 準備学習  | 教科書 P303～304 を読み、要点を確認する。 |                                 |
| 6月29日 | 影山 幾男 | 一次口蓋と二次口蓋について             | 1) 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明する。(E-2-3)-①) |
|       | 準備学習  | 教科書 P304～310 を読み、要点を確認する。 |                                 |
| 7月6日  | 影山 幾男 | 舌の発生とメッケル軟骨について           | 1) 舌・唾液腺・下顎骨の発生を説明する。(E-2-3)-①) |
|       | 準備学習  | 教科書 P300～301 を読み、要点を確認する。 |                                 |

| 授業日               | 担当者   | 授業内容                      | 行動目標 (SBOs)                                |
|-------------------|-------|---------------------------|--------------------------------------------|
| 7<br>月<br>13<br>日 | 影山 幾男 | 顎顔面の奇形について                | 1) 口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明する。(E-2-4)-(1)-①) |
|                   | 準備学習  | 教科書 P307～309 を読み、要点を確認する。 |                                            |
| 7<br>月<br>20<br>日 | 影山 幾男 | 心臓の発生について                 | 1) 人体の正常な個体発生と器官発生を説明する。(C-3-2)-①)         |
|                   | 準備学習  | 教科書 P183～208 を読み、要点を確認する。 |                                            |
| 8<br>月<br>24<br>日 | 影山 幾男 | 動脈の発生（大動脈弓：鰓弓動脈）について      | 1) 人体の正常な個体発生と器官発生を説明する。(C-3-2)-①)         |
|                   | 準備学習  | 教科書 P209～224 を読み、要点を確認する。 |                                            |



# 基礎医学演習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間                         | 場所      |
|-------|----|----|-----|----------------------------|---------|
| 佐藤 聡  | 2  | 前期 | 火曜日 | 10:30~12:00<br>13:00~14:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

モデルコアカリキュラムに則った基礎系科目を中心に、1年次～2年次の内容を総合的に理解する。

|     | 著者・編者       | 書名      | 版  | 出版社   |
|-----|-------------|---------|----|-------|
| 教科書 | 石原和幸 他      | 口腔微生物学  | 第7 | 学建書院  |
|     | 大谷啓一 他      | 現代歯科薬理学 | 第6 | 医歯薬出版 |
|     | 林典男, 広野治子 編 | シンプル生化学 | 第7 | 南江堂   |
|     | 牛木辰男 著      | 入門組織学   | 第2 | 南山堂   |
|     | 岩田幸一 他      | 基礎歯科生理学 | 第7 | 医歯薬出版 |
|     | 井出吉信 他      | 口腔解剖学   | 第2 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 早川太郎 他 監修   | 口腔生化学   | 第6 | 医歯薬出版 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☒ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (100%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

年度末に実施される第2学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、66点以上で単位を認定する。(なお、当該科目は後期日程にも記載してある。)

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月～金曜日    時間: 17:00～18:00    場所: 各科目講座研究室

| 授業日<br>時限:2限 | 担当者   | 授業内容                                  | 行動目標 (SBOs)                                                                                       |
|--------------|-------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月12日        | 葛城 啓彰 | 細菌の構造<br>【目で見える微生物学: 細菌の構造, 遺伝, 代謝】   | 1) 細菌の種類・特徴および増殖と代謝を説明する。(C-4-1)-1)<br>2) 細菌の遺伝形式を説明する。(C-4-1)-1                                  |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p9-41 を読む。                   |                                                                                                   |
| 4月19日        | 葛城 啓彰 | 感染症<br>【目で見える微生物学: 細菌感染症】<br>宿主-寄生体相関 | 感染症の種類, 予防, 診断及び治療を説明できる。(C-4-1)-3)                                                               |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p42-60 を読む。                  |                                                                                                   |
| 4月26日        | 葛城 啓彰 | ウイルスの構造<br>【目で見える微生物学: ウィルス感染症】       | 1) ウィルスの種類・特徴および増殖を説明する。(C-4-1)-1)<br>2) ウィルスの遺伝形式を説明する。(C-4-1)-1)<br>3) ウィルスの病原性を説明する。(C-4-1)-2) |
|              | 準備学習  | シンプル微生物学 p236-245 を読む。                |                                                                                                   |
| 5月10日        | 葛城 啓彰 | 口腔環境の特徴と常在微生物叢, バイオフィルムの形成            | 口腔細菌, 歯垢および歯石について説明できる。(E-3-1)-⑤                                                                  |
|              | 準備学習  | 口腔微生物学 p278-293 を読む。                  |                                                                                                   |

| 授業日<br>時限:2限 | 担当者   | 授業内容                                                                    | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                               |
|--------------|-------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5月17日        | 葛城 啓彰 | 齲蝕原因菌の性状, う蝕の3要因                                                        | 齲蝕の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(4)                                                                                                                                                 |
|              | 準備学習  | 口腔微生物学 p314-324 を読む。                                                    |                                                                                                                                                                           |
| 5月31日        | 葛城 啓彰 | 歯周病原菌の性状, 宿主-寄生体相関                                                      | 歯周疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(4)                                                                                                                                               |
|              | 準備学習  | 口腔微生物学 p329-343 を読む。                                                    |                                                                                                                                                                           |
| 6月7日         | 葛城 啓彰 | 歯性感染症                                                                   | 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明する。(E-2-4)-(3)-1)<br>歯血症と歯性病巣感染の病態, 症状を説明する。(E-2-4)-(3)-(4)                                                                                              |
|              | 準備学習  | 口腔微生物学 p344-352 を読む。                                                    |                                                                                                                                                                           |
| 6月14日        | 仲村健二郎 | 腎臓の基本的生理機能を理解し, 腎臓に作用する薬物の分類, 特徴, 作用機序, 適応症および副作用を説明する。                 | 1) 腎臓の機能を理解し, 説明する。(C-6-3)-2<br>2) 利尿薬と抗利尿薬の分類と特徴を説明する。(C-6-1)-1<br>3) 利尿薬と抗利尿薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-2<br>4) 利尿薬と抗利尿薬の適応症および副作用を説明する。(C-6-4)-1)                              |
|              | 準備学習  | 現代歯科薬理学第6版(医歯薬出版)の16章 p189-193 腎臓に作用する薬物を読む。                            |                                                                                                                                                                           |
| 6月21日        | 原 基   | 交感神経作用薬と副交感神経作用薬を理解する上で必要な自律神経系の解剖学, 組織学および生理学の基礎知識を薬理学的な観点から整理し, 説明する。 | 1) 自律神経の基礎的な解剖学を説明する。(C-3-4)-(5)-2<br>2) 自律神経の基礎的な組織学を説明する。(C-3-4)-(5)-2<br>3) 自律神経の基礎的な生理学を説明する。(C-3-4)-(5)-2<br>4) 解剖学的, 生理学的観点から交感神経作用薬と副交感神経作用薬の概要が説明する。(C-3-4)-(5)-3 |
|              | 準備学習  | 現代歯科薬理学第6版(医歯薬出版)の12章 p106-126 末梢神経に作用する薬物を読む。                          |                                                                                                                                                                           |
| 6月28日        | 森田 貴雄 | 血液成分と生化学検査                                                              | 1) 血中タンパク質, 糖質, 脂質の代謝を説明する。(C-2-1)-123)<br>2) 血中酵素の機能と代謝異常を説明する。(C-2-1)-(5)                                                                                               |
|              | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし, シンプル生化学の該当項目(事前資料参照)を読んで要点を確認する。                        |                                                                                                                                                                           |
| 7月5日         | 森田 貴雄 | 口腔環境の生化学                                                                | 1) 齲蝕における糖質の関与を説明する。(E-3-2)-1, C-2-1)-2)<br>2) 口臭とアミノ酸代謝の関連性を説明する。(E-3-2)-3, C-2-1)-1)                                                                                    |
|              | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし, 口腔生化学 p127-129, 249-291 を読んで要点を確認する。                    |                                                                                                                                                                           |
| 7月12日        | 横須賀宏之 | (組織学各論) 器官<br>1. 消化管の組織学的構造<br>- 咽頭~小腸~大腸                               | 1) 消化管の基本形態及び組織学的木構造を説明する。<br>(C-3-4)-(7)-1)                                                                                                                              |
|              | 準備学習  | テキスト「入門組織学」第10章 p148-183 を一読する。                                         |                                                                                                                                                                           |
| 7月19日        | 横須賀宏之 | 3. 消化腺の組織学的構造<br>肝臓, 膵臓                                                 | 1) 肝臓と胆道系の組織学的構造を説明する。(C-3-4)-(7)-2)<br>2) 膵臓(内分泌及び外分泌部の)組織学的構造を説明する。<br>(C-3-4)-(7)-3)                                                                                   |
|              | 準備学習  | テキスト「入門組織学」第10章 p183-198 を一読する。                                         |                                                                                                                                                                           |
| 8月23日        | 横須賀宏之 | 4. 呼吸器系の組織学的構造<br>- 鼻腔~喉頭~気管~肺                                          | 1) 気道系(鼻腔, 喉頭, 気管, 気管支)の組織学的構造を説明する。<br>(C-3-4)-(8)-1)<br>2) 肺の組織学的構造を説明する。(C-3-4)-(8)-2)                                                                                 |
|              | 準備学習  | テキスト「入門組織学」第12章を一読する。                                                   |                                                                                                                                                                           |
| 8月30日        | 横須賀宏之 | 6. 生殖器の組織学的構造<br>- 男性及び女性生殖器                                            | 1) 男性及び女性生殖器の組織構造を説明する。                                                                                                                                                   |
|              | 準備学習  | テキスト「入門組織学」第13-14章を一読する。                                                |                                                                                                                                                                           |

| 授業日<br>時限:3限      | 担当者   | 授業内容                              | 行動目標 (SBOs)                                                                                              |
|-------------------|-------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4<br>月<br>12<br>日 | 影山 幾男 | 骨学(2) 頭蓋骨の形態                      | 1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(E-2-1)-1)                                                                             |
|                   | 準備学習  | 教科書 p94-120 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                          |
| 4<br>月<br>19<br>日 | 影山 幾男 | 骨学(4) 頭蓋骨の形態                      | 1) 頭蓋骨の構成と構造を説明する。(E-2-1)-1)                                                                             |
|                   | 準備学習  | 教科書 p94-120 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                          |
| 4<br>月<br>26<br>日 | 影山 幾男 | 骨学(6) 体幹の骨格                       | 3) 骨の基本構造を説明する。(C-2-3)-(2)-2)                                                                            |
|                   | 準備学習  | 教科書 p7-17 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                          |
| 5<br>月<br>10<br>日 | 影山 幾男 | 筋学(1) 総論, 表情筋                     | 1) 生体を構成する。主な筋を列挙する。(C-2-3)-(2)-1)                                                                       |
|                   | 準備学習  | 教科書 p121-129 を読み、要点を確認する。         |                                                                                                          |
| 5<br>月<br>17<br>日 | 影山 幾男 | 筋学(3) 頸部の筋                        | 1) 生体を構成する。主な筋を列挙する。(C-2-3)-(2)-1)                                                                       |
|                   | 準備学習  | 教科書 p121-129 を読み、要点を確認する。         |                                                                                                          |
| 5<br>月<br>31<br>日 | 佐藤 義英 | 感覚機能(2) 痛覚                        | 1) 疼痛の種類と発生機序及び制御機構を説明する。(C-3-4)-(6)-4)                                                                  |
|                   | 準備学習  | 教科書 p206-207,210-213 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                          |
| 6<br>月<br>7<br>日  | 高橋 睦  | 感覚機能(4) 口腔・顔面・舌感覚                 | 1) 口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明する。(E-2-2)-⑨)<br>2) 口唇と口腔粘膜の特徴を説明する。(E-2-2)-2)<br>3) 歯周組織の機能を説明する。(E-3-1)-5, 6) |
|                   | 準備学習  | 教科書 p301-310 を読み、要点を確認する。         |                                                                                                          |
| 6<br>月<br>14<br>日 | 高橋 睦  | 感覚機能(6) 味覚                        | 1) 味覚の受容と伝達機構を説明する。(E-2-2)-⑩)                                                                            |
|                   | 準備学習  | 教科書 p322-341 を読み、要点を確認する。         |                                                                                                          |
| 6<br>月<br>21<br>日 | 佐藤 義英 | 感覚機能(8) 視覚, 嗅覚                    | 1) 視覚を説明する。(C-3-4)-(6)-1)<br>2) 嗅覚を説明する。(C-3-4)-(6)-1)                                                   |
|                   | 準備学習  | 教科書 p192-199,343-354 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                          |
| 6<br>月<br>28<br>日 | 影山 幾男 | 脈管学(1) 心臓                         | 1) 心臓の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(4)-1)<br>2) 肺循環と体循環の経路を説明する。(C-3-4)-(4)-2)                                     |
|                   | 準備学習  | 教科書 p44-48 を読み、要点を確認する。           |                                                                                                          |

| 授業日<br>時限:3限      | 担当者   | 授業内容                      | 行動目標 (SBOs)                                                |
|-------------------|-------|---------------------------|------------------------------------------------------------|
| 7<br>月<br>5<br>日  | 影山 幾男 | 脈管学(2) 頭頸部の動脈             | 1) 主要な動脈を説明する。(C-3-4)-(4)-2)<br>2) 頭頸部の脈管系を説明する。(E-2-1)-4) |
|                   | 準備学習  | 教科書 p133-137 を読み、要点を確認する。 |                                                            |
| 7<br>月<br>12<br>日 | 影山 幾男 | 脈管学(3) 体幹・上下肢の動脈          | 1) 主要な動脈を説明する。(C-3-4)-(4)-2)                               |
|                   | 準備学習  | 教科書 p49-50 を読み、要点を確認する。   |                                                            |
| 7<br>月<br>19<br>日 | 影山 幾男 | 脈管学(4) 頭頸部の静脈             | 1) 主要な静脈を説明する。(C-3-4)-(4)-2)<br>2) 頭頸部の脈管系を説明する。(E-2-1)-4) |
|                   | 準備学習  | 教科書 p138-139 を読み、要点を確認する。 |                                                            |
| 8<br>月<br>23<br>日 | 影山 幾男 | 脈管学(5) 体幹・上下肢の静脈          | 1) 主要な静脈を説明する。(C-3-4)-(4)-2)                               |
|                   | 準備学習  | 教科書 p139 を読み、要点を確認する。     |                                                            |
| 8<br>月<br>30<br>日 | 影山 幾男 | 脈管学(6) リンパ                | 1) リンパ管とリンパ系組織・器官の構造を説明する。(C-3-4)-(4)-5)                   |
|                   | 準備学習  | 教科書 p140-144 を読み、要点を確認する。 |                                                            |



## 第2学年 後期授業科目 目次

|          |    |
|----------|----|
| 健康科学Ⅱ    | 54 |
| 英語会話     | 56 |
| 社会歯科入門   | 58 |
| 基礎口腔保健学  | 60 |
| 口腔生化学    | 62 |
| 解剖学      | 64 |
| 解剖学実習    | 66 |
| 口腔組織学    | 70 |
| 生理学      | 72 |
| 感染微生物学   | 74 |
| 病理学      | 76 |
| 歯科薬物療法学  | 80 |
| 歯科理工学    | 82 |
| 歯科理工学実習  | 86 |
| 専門歯科治療概論 | 88 |
| 顎口腔運動制御学 | 90 |
| 唾液と唾液腺   | 92 |
| 基礎医学演習   | 94 |

# 健康科学Ⅱ

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 鴨田剛司  | 2  | 後期 | 月曜日 | 14:45～16:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

歯科医師に必要な健康教育や食育の意義を科学的に捉え、公衆衛生戦略の基本を身につける。

|     | 著者・編者     | 書名             | 版    | 出版社  |
|-----|-----------|----------------|------|------|
| 教科書 | 小松崎 明 ほか  | 歯学生のための健康科学    | 第2版  | 一世出版 |
| 参考書 | 柳川 洋・中村好一 | 公衆衛生マニュアル 2022 | 2022 | 南江堂  |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（30%）    ☒ 論述試験（60%）    ☐ 口頭試験（ %）    ☐ レポート（ %）  
☐ 実地試験（ %）    ☐ ポートフォリオ（ %）    ☐ シュミレーションテスト（ %）  
☐ 観察記録（ %）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10%）

## 成績評価方法

本試験において一般目標で示した項目についての多選択肢形式（30%）と論述形式（60%）の筆記試験と、毎回の講義の際の遅刻、欠席等の態度（10%）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月曜日    時間：16:30～17:30    場所：衛生学講座研究室（4号館3階）

| 授業日           | 担当者            | 授業内容                                   | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                             |
|---------------|----------------|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月3日         | 鴨田 剛司          | 食生活と健康増進                               | 1) 食生活と健康の関わりについて説明する。(B-1-③)<br>2) 食生活と口腔環境について説明する。(B-1-②)<br>3) 食生活と疾患について説明する。(B-1-②)                                                              |
|               | 準備学習           | 「歯学生のための健康科学第2版」p94-を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                        |
| 10月11日<br>(火) | 井口 麻美          | 栄養状態の評価と低栄養の影響                         | 1) 栄養指標の概要を説明する。(E-1-6)-(2)-③<br>2) 基礎代謝量について説明する。<br>3) 食事摂取基準設定の原理について説明する。(E-1-6)-(2)-②                                                             |
|               | 準備学習           | 「歯学生のための健康科学第2版」p95-を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                        |
| 10月17日        | 鴨田 剛司          | 国民栄養の現状                                | 1) 日本人の食事摂取基準の概要を説明する。(F-3-2)-(④)<br>2) 国民健康・栄養調査の概要を説明する。(F-3-2)-(④)<br>3) 国民健康・栄養調査の結果を概説する。(F-3-2)-(④)<br>4) 健康日本21（第2次）の栄養・食生活の目標を列挙する。(F-3-2)-(④) |
|               | 準備学習           | 「歯学生のための健康科学第2版」p95-を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                        |
| 10月24日        | 小松崎 明<br>山崎 理恵 | 精神保健福祉                                 | 1) ストレスの心身への影響を説明する。<br>2) 精神障害の特徴を説明する。<br>3) 精神保健活動・精神福祉活動を説明する。                                                                                     |
|               | 準備学習           | 「歯学生のための健康科学第2版」p71-を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                        |
| 10月31日        | 鴨田 剛司          | 食事バランスガイドと学校での保健教育                     | 1) 食事バランスガイドについて説明する。(B-1-③)<br>2) 食育教育の概要について説明する。(F-3-2)-(⑦)<br>3) 国が実施する栄養改善事業について説明する。(B-1-③)<br>4) 栄養指導、保健指導の体系について説明する。(F-3-2)-(④)               |
|               | 準備学習           | 「歯学生のための健康科学第2版」p97-を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                        |



| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                    | 行動目標（SBOs）                                                                                            |
|--------|-------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月7日  | 鴨田 剛司 | 環境と健康，感染症予防                             | 1) 環境と健康の概念について説明する。(B-2-4)-①)<br>2) 環境基準と環境汚染を説明する。(B-2-4)-③)<br>3) ワクチンによる予防の体系を説明する。               |
|        | 準備学習  | 「歯学生のための健康科学第2版」p107-を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                       |
| 11月14日 | 小野 幸絵 | 疾病予防概論                                  | 1) 疾病の概念，種類および予防を説明する。(B-1-1)-③)<br>2) 第一次，第二次及び第三次予防を説明する。(B-3-1)-①)<br>3) スクリーニング検査を説明する。(B-4-1)-②) |
|        | 準備学習  | 「歯学生のための健康科学第2版」p16-を参考に講義テーマについて学習する。  |                                                                                                       |

# 英語会話

| 授業責任者      | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|------------|----|----|-----|-------------|---------|
| ティモシー・フィニー | 2  | 後期 | 火曜日 | 14:45～16:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

To learn the basic knowledge, skills and attitude to communicate with patients in English. 学習者が患者と英語で円滑なコミュニケーションをとれるように、英語でのコミュニケーションに必要な基本的知識、技能、態度を身に付けることを目標とする。

|     | 著者・編者 | 書名 | 版 | 出版社 |
|-----|-------|----|---|-----|
| 教科書 |       |    |   |     |
| 参考書 |       |    |   |     |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☒ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（40%）    ☐ 論述試験（ %）    ☒ 口頭試験（20%）    ☒ レポート（20%）  
☐ 実地試験（ %）    ☐ ポートフォリオ（ %）    ☐ シュミレーションテスト（ %）  
☐ 観察記録（ %）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（20%）

## 成績評価方法

学期に2回筆記試験を行う。筆記試験は多肢選択式、空所補充などの形式で実施する。学期の最後にグループで、対話の台本を作成し、パワーポイントのスライドとともにオンラインで発表するパフォーマンステストをおこなう。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

非常勤のため、教務部に問い合わせる。

| 授業日    | 担当者            | 授業内容                                                                                                   | 行動目標（SBOs）                    |
|--------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 10月4日  | Timothy Finney | Practicing conversation : Group work and teacher-student interaction                                   | 英語でコミュニケーションをする。              |
|        | 準備学習           | 事前に示された資料を予習する。                                                                                        |                               |
| 10月18日 | Timothy Finney | Speaking practice                                                                                      | 英語で聞き取りをする。                   |
|        | 準備学習           | 前週の復習をし、質問に答えられるようにする。                                                                                 |                               |
| 10月25日 | Timothy Finney | English language puzzle and speaking activities.                                                       | 英語でコミュニケーションをする。              |
|        | 準備学習           | 事前に示された資料を予習する。                                                                                        |                               |
| 11月1日  | Timothy Finney | Learning about Halloween through various activities, including watching an American animation program. | ハロウィーンの題材を使って語彙力、リスニング力を増強する。 |
|        | 準備学習           | 事前に示された資料を予習する。                                                                                        |                               |

| 授業日    | 担当者            | 授業内容                                                                                                                      | 行動目標 (SBOs)                                     |
|--------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 11月8日  | Timothy Finney | Reading various related stories and discussing them in groups / consolidating information and checking for understanding. | 英語でコミュニケーションをする。                                |
|        | 準備学習           | 事前に示された資料を予習する。                                                                                                           |                                                 |
| 11月15日 | Timothy Finney | Short Quiz. Group Work : Dental Visit Slideshow Presentation preparation begins.                                          | 1) 英語で患者との会話をシミュレートする。<br>2) 会話を創作する。           |
|        | 準備学習           | 前週の復習をし、質問に答えられるようにする。                                                                                                    |                                                 |
| 11月22日 | Timothy Finney | Dental Visit Slideshow Presentation preparation continues.                                                                | 1) 英語で患者との会話をシミュレートする。<br>2) 会話を創作する。           |
|        | 準備学習           | グループで歯科医療の対話の台本を作る。                                                                                                       |                                                 |
| 11月29日 | Timothy Finney |                                                                                                                           |                                                 |
|        | 準備学習           |                                                                                                                           |                                                 |
| 12月6日  | Timothy Finney | Dental/Patient Role Playing and Presentation Final Preparation. Check Scripts and Slides.                                 | 1) 英語で患者との会話をシミュレートする。<br>2) 会話を創作する。           |
|        | 準備学習           | グループで歯科医療の対話の台本とスライドを作る。                                                                                                  |                                                 |
| 12月13日 | Timothy Finney | Group Presentations.                                                                                                      | 1) 英語で患者との会話をシミュレートする。<br>2) 英語での患者との会話をプレゼンする。 |
|        | 準備学習           | グループで歯科医療の対話の台本とスライドを作り、発表の練習をする。                                                                                         |                                                 |
| 12月20日 | Timothy Finney | Groups Presentations.                                                                                                     | 1) 英語で患者との会話をシミュレートする。<br>2) 英語での患者との会話をプレゼンする。 |
|        | 準備学習           | グループで歯科医療の対話の台本とスライドを作り、発表の練習をする。                                                                                         |                                                 |
| 1月10日  | Timothy Finney | Sequential art studies                                                                                                    | アートを英語で説明する。                                    |
|        | 準備学習           | 事前に示された資料の予習をする。                                                                                                          |                                                 |
| 1月17日  | Timothy Finney | Interview Activity.                                                                                                       | 英語で聞き取りをする。                                     |
|        | 準備学習           | 前週の復習をし、質問に答えられるようにする。                                                                                                    |                                                 |
| 1月24日  | Timothy Finney | Test Preparation                                                                                                          |                                                 |
|        | 準備学習           | テストに備えて学習する。                                                                                                              |                                                 |
| 1月31日  | Timothy Finney | Test                                                                                                                      |                                                 |
|        | 準備学習           | テストに備えて学習する。                                                                                                              |                                                 |

# 社会歯科入門

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 石井 瑞樹 | 2  | 後期 | 水曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

|                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| 歯科医師としての責務を遂行するために、倫理規範や歯科医師に関係する法律、医療保険制度、医療経済などの初歩を理解する。 |
|------------------------------------------------------------|

|     | 著者・編者                            | 書名                                           | 版   | 出版社   |
|-----|----------------------------------|----------------------------------------------|-----|-------|
| 教科書 | 石井拓男, 尾崎哲則, 平田創一郎, 平田幸夫 編集       | スタンダード社会歯科学                                  | 第7版 | 学建書院  |
| 参考書 | 日本歯科医学教育学会 倫理・プロフェッショナリズム教育委員会 編 | よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育 プロフェッションワークブック | 第1版 | 医歯薬出版 |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（95%）    ☐ 論述試験（ %）    ☐ 口頭試験（ %）    ☐ レポート（ %）  
☐ 実地試験（ %）    ☐ ポートフォリオ（ %）    ☐ シミュレーションテスト（ %）  
☐ 観察記録（ %）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（5%）

## 成績評価方法

|                                                          |
|----------------------------------------------------------|
| 一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（95%）と、講義への出席および態度（5%）により評価を行う。 |
|----------------------------------------------------------|

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

|                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------|
| 曜日：水曜日    時間帯：16:00～17:00    場所：院務部内（総合受付内 新潟病院 1 階）<br>事前にメールで要予約 |
|--------------------------------------------------------------------|

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                     | 行動目標（SBOs）                                                                                                               |
|--------|-------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月5日  | 石井 瑞樹 | 患者の権利と医の倫理(1)                            | 1) 医療倫理の4原則を説明する。A-1-1) ①<br>2) 患者の権利と義務を説明する。A-1-2) ①②③<br>3) 歯科医師の義務と責任を説明する。A-1-3) ②④<br>4) 歯科医師の社会的使命を説明する。A-4-2) ③④ |
|        | 準備学習  | 事前配布プリント、教科書 p1-7（医の倫理、生命倫理）を事前に読む。      |                                                                                                                          |
| 10月12日 | 石井 瑞樹 | 医の倫理(2)                                  | 1) 医の倫理に関する規範・国際規範を説明する。A-1-1) ②<br>2) インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。A-1-2) ④<br>3) バイオエシックスの定義と重要性を説明する。A-1-2) ①             |
|        | 準備学習  | 事前配布プリント、教科書 p8-13（歯科医師と患者-）を事前に読む。      |                                                                                                                          |
| 10月19日 | 石井 瑞樹 | 医の倫理(3)と医療関係法(1)                         | 1) 生と死に関わる倫理的問題を説明する。A-1-1) ③<br>2) 歯科医師法を説明する。B-2-1) ①                                                                  |
|        | 準備学習  | 事前配布プリント、教科書 p13-17, 55-60（歯科医師法）を事前に読む。 |                                                                                                                          |
| 10月26日 | 石井 瑞樹 | 医療関係法(2)                                 | 1) 歯科衛生士法、歯科技工士法を説明する。B-2-1) ③<br>2) 医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法を説明する。B-2-1) ⑥<br>3) 医療法、その他の関係法規を説明する。B-2-1) ②④⑤⑦               |
|        | 準備学習  | 教科書 p33-54（医療法）を事前に読む。                   |                                                                                                                          |
| 11月2日  | 石井 瑞樹 | 医療保険制度                                   | 1) 医療保険制度の仕組み・構造を説明する。B-2-2) ②<br>2) 健康保険法を説明する。B-2-2) ②<br>3) 国民健康保険法を説明する。B-2-2) ②<br>4) 高齢者の医療の確保に関する法を説明する。B-2-2) ④  |
|        | 準備学習  | 教科書 p145-156（医療保険）を事前に読む。                |                                                                                                                          |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                         | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                    |
|--------|-------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月9日  | 石井 瑞樹 | 介護保険制度と社会福祉制度                | 1) 保健・医療・福祉・介護の連携を説明する。B-2-2) ⑧<br>2) 介護におけるチーム医療を説明する。A-5-1) ③<br>3) 介護保険制度における歯科医師の役割を説明する。A-5-1) ③<br>4) 介護保険制度における介護サービス計画を説明する。B-2-2) ③⑧ |
|        | 準備学習  | 教科書 p157-164（介護保険）を事前に読む。    |                                                                                                                                               |
| 11月16日 | 石井 瑞樹 | 医療提供体制と医療経済                  | 1) 医療費の仕組みを説明する。B-2-2) ②<br>2) 医療提供制度を説明する。B-2-2) ①<br>3) 社会福祉制度を説明する。B-2-2) ③                                                                |
|        | 準備学習  | 教科書 p187-204（A および B）を事前に読む。 |                                                                                                                                               |

# 基礎口腔保健学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間            | 場所      |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 小松崎 明 | 2  | 後期 | 火曜日 | 13:00 ~ 14:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

健康科学, 社会歯科学, 基礎系歯科医学での知識を基本として口腔疾患の予防と口腔機能の保持増進の意義を理解し, 口腔保健を向上させるために, 必要となる基本的知識と技法について習得する。

|     | 著者・編者   | 書名          | 版     | 出版社  |
|-----|---------|-------------|-------|------|
| 教科書 | 松久保 隆 他 | 口腔衛生学 2020  | 第 1 版 | 一世出版 |
| 参考書 | 小松崎 明 他 | 歯学生のための健康科学 | 第 2 版 | 一世出版 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (30%)    ☒ 論述試験 (60%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)
- ☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%) と論述形式 (30%) の筆記試験と, 毎回の講義の遅刻, 欠席の態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日    時間: 16:30 ~ 17:30    場所: 衛生学講座研究室 (4 号館 3 階)

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                   | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                               |
|--------|-------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月4日  | 小松崎 明 | 口腔保健学概説                                | 1) 口腔保健学の意義を述べる。<br>2) ヘルスプロモーションと口腔保健の関係を説明する。(B-3-1)-③<br>3) 8020 運動, 健康日本 21, 新健康フロンティア戦略について説明する。<br>4) 疾病の自然史と歯科疾患の関係を説明する。(B-3-1)-① |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第 1 版 p24-27」を読み要点を確認する。   |                                                                                                                                           |
| 10月18日 | 小松崎 明 | 口腔環境                                   | 1) 唾液の作用について説明する。<br>2) 歯の沈着物について説明する。<br>3) 歯垢・歯石の形成について説明する。<br>4) 歯垢・歯石の病原性について説明する。<br>5) 歯垢微生物について説明する。                              |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第 1 版 p120-135」を読み要点を確認する。 |                                                                                                                                           |
| 10月25日 | 小松崎 明 | 齲蝕とその予防(1)<br>(発生要因, 齲蝕活動性)            | 1) 齲蝕の発生要因を列挙する。<br>2) 齲蝕の発生機序について述べる。<br>3) ミュータンス連鎖球菌, 不溶性グルカンについて説明する。<br>4) 齲蝕活動性試験を説明する。                                             |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第 1 版 p152-163」を読み要点を確認する。 |                                                                                                                                           |
| 11月1日  | 小松崎 明 | 齲蝕予防へのフッ化物応用<br>(1)                    | 1) 自然界および体内のフッ素について説明する。<br>2) フッ素の吸収・排泄について説明する。<br>3) フッ素の毒性について説明する。<br>4) フッ素の急性中毒時の対応について述べる。<br>5) 歯のフッ素症について説明する。                  |
|        | 準備学習  | フッ化物について調べる。                           |                                                                                                                                           |
| 11月8日  | 小松崎 明 | 口腔の発育と機能                               | 1) 正常な摂食・嚥下機能について説明する。<br>2) 嚥下障害について説明する。<br>3) 歯の萌出・交換について述べる。<br>4) 歯の萌出・交換と口腔保健との関係を説明する。                                             |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第 1 版 p110-118」を読み要点を確認する。 |                                                                                                                                           |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                            | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                               |
|--------|-------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月15日 | 小松崎 明 | 疫学的应用 疫学指標(1)                                   | 1) 歯科疫学の考え方を説明する。<br>2) 齲蝕・歯周疾患の疫学的特性について述べる。<br>3) 疫学指標の条件について述べる。<br>4) 齲蝕の指標 (DMF) について説明する。<br>5) 歯式表記について列挙する。                                                       |
|        | 準備学習  | 「健康科学第2版2章」を読み疫学の概要について確認する。                    |                                                                                                                                                                           |
| 11月22日 | 小松崎 明 | 疫学指標(2)                                         | 1) 口腔疾患の疫学的指標を説明する。(B-4-1)-③<br>2) 歯周疾患の指標 (PMA, GI, PDI, PI, CPI) について述べる。<br>3) 口腔清掃状態の指標 (OHI, OHI-S, PII, PHP, PCR) について述べる。<br>4) 歯周疾患の指標, 口腔清掃状態の指標について使用することができる。  |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第1版 p196-211」を読み要点を確認する。            |                                                                                                                                                                           |
| 11月29日 | 鴨田 剛司 | 疫学指標演習                                          | 1) DMF 指数について説明する。(B-4-1)-③<br>2) DMF 指数を使用した指標の算定方法を演習する。<br>3) CPI の算定方法を演習する。<br>4) OHI の算定方法を演習する。                                                                    |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第1版 p196-211」を読み要点を確認する。            |                                                                                                                                                                           |
| 12月6日  | 鴨田 剛司 | 口腔保健の現状                                         | 1) 歯科疾患実態調査について説明する。(B-4-2)-①<br>2) 現在歯数の状況について述べる。(B-4-2)-③<br>3) 歯の寿命の状況について述べる。<br>4) 齲蝕・歯周疾患の状況について述べる。<br>5) フッ化物塗布状況について述べる。                                        |
|        | 準備学習  | 主な保健統計調査について調べる。                                |                                                                                                                                                                           |
| 12月13日 | 加藤 千景 | 齲蝕とその予防(2)<br>(間食, 代用甘味料)                       | 1) ステファン曲線について説明する。<br>2) 間食回数(食生活)と齲蝕の関係性について説明する。(B-3-2)-⑤<br>3) ショ糖・キシリトールと齲蝕の関係性について説明する。<br>4) フィッシャーシーラントについて説明する。(B-3-2)-②                                         |
|        | 準備学習  | 歯科疾患の予防方法について調べる。                               |                                                                                                                                                                           |
| 12月20日 | 小野 幸絵 | 口腔清掃の意義と種類<br>口腔清掃法(1)                          | 1) 口腔清掃法を分類する。<br>2) 口腔清掃法の術式を説明する。<br>3) 補助的清掃用具の使い方を説明する。<br>4) 歯磨剤について説明する。                                                                                            |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第1版 p301-311」を読み要点を確認する。            |                                                                                                                                                                           |
| 1月10日  | 小野 幸絵 | 齲蝕予防へのフッ化物応用<br>(2)                             | 1) 齲蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明する。(B-3-2)-②<br>2) フッ化物の全身的・局所的応用法を説明する。<br>3) 地域でのフッ化物応用法について述べる。(B-3-1)-②<br>4) 家庭でのフッ化物応用法について述べる。(B-3-1)-②<br>5) 診療所でのフッ化物応用法について述べる。(B-3-1)-② |
|        | 準備学習  | フッ化物の応用について調べる。                                 |                                                                                                                                                                           |
| 1月17日  | 小野 幸絵 | 齲蝕予防へのフッ化物応用<br>(3)                             | 1) フッ化物の応用方法について説明する。<br>2) フッ化物の容積・重量・濃度の関係について説明する。<br>3) フッ化物の全身的応用の算定方法を演習する。<br>4) フッ化物の局所的応用の算定方法を演習する。                                                             |
|        | 準備学習  | 「口腔衛生学 2020 第1版 p268-280」を読み要点を確認する。            |                                                                                                                                                                           |
| 1月24日  | 高塩 智子 | 口臭の予防                                           | 1) 口臭の予防について説明する。                                                                                                                                                         |
|        | 準備学習  | 口臭の種類について調べる。                                   |                                                                                                                                                                           |
| 1月31日  | 小野 幸絵 | 口腔清掃法(2)<br>生活習慣と口腔保健<br>歯周疾患, その他疾患の予防,<br>まとめ | 1) PMTCについて説明する。<br>2) 口腔疾患のリスクファクターを分類できる。<br>3) 歯周疾患, 不正咬合, 顎関節症の予防について説明する。(B-3-2)-①                                                                                   |
|        | 準備学習  | 歯科疾患の予防法について調べる。                                |                                                                                                                                                                           |



# 口腔生化学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間           | 場所      |
|-------|----|----|-----|--------------|---------|
| 森田 貴雄 | 2  | 後期 | 金曜日 | 8:45 ~ 10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

生命現象を分子生物学的に説明できる歯科医となるために、遺伝子の発現機構・遺伝性疾患・細胞周期・癌化の機序と、先端医療である再生医療の分子生物学的基盤について理解する。また、歯科医療における基礎知識、および口腔組織と口腔疾患の分子の基盤を説明するために、結合組織（細胞外マトリックス）、硬組織（骨・歯）、カルシウム代謝と炎症、齲蝕についての分子メカニズムを理解する。

|     | 著者・編者           | 書名               | 版       | 出版社   |
|-----|-----------------|------------------|---------|-------|
| 教科書 | 早川太郎, 須田立雄 (監修) | 口腔生化学            | 第 6 版   | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 林 典夫, 廣野治子 (監修) | シンプル生化学          | 改訂第 7 版 | 南江堂   |
|     | 池尾 隆 他 (編)      | スタンダード生化学・口腔生化学  | 第 3 版   | 学建書院  |
|     | 金森孝雄            | 口腔生化学 サイドリーダー    | 第 6 版   | 学建書院  |
|     | 前野正夫, 磯川桂太郎 / 著 | はじめの一步の生化学・分子生物学 | 第 3 版   | 羊土社   |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☒ その他 (課題)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (50%)    ☒ 論述試験 (30%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☒ レポート (20%)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (30%) 筆記試験と、毎回の講義内容の課題プリント提出 (20%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間: 16:30 ~ 18:00 (在室時) 場所: 生化学教授室 (8 号館 3 階) または生化学講座 (5 号館 3 階)  
 (事前に連絡があればこの限りではない) 問合せメールアドレス: ga-seika@ml.ngt.ndu.ac.jp

| 授業日                               | 担当者   | 授業内容                                                            | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                  |
|-----------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月7日                             | 森田 貴雄 | 遺伝子生命科学(1)<br>遺伝子発現制御と遺伝子工学の基礎                                  | 1) 転写と転写調節の機序を説明する。(C-2-2)-③)<br>2) 遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明する。(C-2-2)-⑤)                                                            |
|                                   | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p1-9, 18-19, シンプル生化学 p350-356 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                              |
| 10月14日                            | 森田 貴雄 | 遺伝子生命科学(2)<br>遺伝子工学の応用                                          | 1) 遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明する。(C-2-2)-⑤)<br>2) 多能性幹細胞と再生医療への応用について説明する。(C-2-2)-⑤)                                                    |
|                                   | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p16-27, シンプル生化学 p358-365 を読んで要点を確認する。      |                                                                                                                              |
| 10月21日                            | 竹澤 晴香 | 遺伝子生命科学(3)<br>細胞周期と細胞死, 遺伝子変異                                   | 1) 細胞周期と細胞分裂を説明する。(C-2-3)-③)<br>2) 細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明する。(C-2-3)-④)<br>3) 遺伝性疾患の発生机序を説明する。(C-2-2)-④)                   |
|                                   | 準備学習  | 口腔生化学第 1 章 p1-12 の要点を確認する。                                      |                                                                                                                              |
| 10月26日<br>(10月28日<br>1限入替)<br>(水) | 竹澤 晴香 | 遺伝子生命科学(4)<br>がんの生化学                                            | 1) 遺伝子変異とがんの関係について説明する。(C-5-6)-②)<br>2) がん遺伝子とがん抑制遺伝子について説明する。(C-2-2)-①)<br>3) がんと遺伝子修復の関係を説明する。(C-2-2)-②)                   |
|                                   | 準備学習  | 口腔生化学第 2 章 p30-53 の要点を確認する。                                     |                                                                                                                              |
| 11月4日                             | 森田 貴雄 | 炎症の生化学                                                          | 1) 炎症の定義を説明する。(C-5-5)-①)<br>2) 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明する。(C-5-5)-②)<br>3) 炎症のケミカルメディエーターとサイトカインの種類と機能を説明する。(C-2-1)-①③⑤, C-2-4)-②) |
|                                   | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p307-317 を読んで要点を確認する。                      |                                                                                                                              |



| 授業日                             | 担当者   | 授業内容                                       | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------|-------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月11日                          | 森田 貴雄 | 結合組織の生化学(1)<br>線維成分とプロテオグリカン               | 1) 細胞外マトリックスの構造と機能を説明する。(C-2-4)-(3))<br>2) 結合組織の線維要素を説明する。(C-3-4)-(2)-(2))<br>3) 結合組織の非線維要素を説明する。(C-2-1)-(1), (2))                                                              |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p87-111 を読んで要点を確認する。  |                                                                                                                                                                                 |
| 11月18日                          | 森田 貴雄 | 結合組織の生化学(2)<br>接着タンパク質とECMの分解              | 1) 細胞接着について説明する。(C-2-4)-(1))<br>2) 接着性タンパク質を説明する。(C-2-4)-(3))<br>3) 結合組織の関与する細胞調節機構を説明する。(C-2-4)-(2))<br>4) 細胞外マトリックスの代謝を説明する。(C-2-4)-(3))<br>5) 結合組織の線維要素の分解を説明する。(C-2-4)-(3)) |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p111-125 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 11月25日                          | 森田 貴雄 | 硬組織の有機成分                                   | 1) 硬組織を構成する有機成分の分子構造を説明する。(C-3-4)-(2)-(5))<br>2) 骨有機質の調節を説明する。(C-3-4)-(2)-(4))<br>3) 骨有機質を調節する物質を説明する。(C-3-4)-(2)-(4), C-2-1)-(1))                                              |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p127-151 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 11月29日<br>(12月2日)<br>(火)<br>1限  | 森田 貴雄 | 硬組織の無機成分と石灰化                               | 1) 石灰化機序を説明する。(C-3-4)-(2)-(5))<br>2) 石灰化調節因子を説明する。(C-3-4)-(2)-(5))<br>3) 骨無機質の調節を説明する。(C-3-4)-(2)-(1))                                                                          |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p155-178 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 12月9日                           | 森田 貴雄 | 硬組織の形成と吸収                                  | 1) 硬組織形成と吸収の機序を説明する。(C-3-4)-(2)-(4))<br>2) 硬組織形成に関わる因子を説明する。(C-3-4)-(2)-(5), C-2-1)-(1))                                                                                        |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p181-203 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 12月14日<br>(12月16日)<br>(水)<br>1限 | 森田 貴雄 | カルシウム代謝                                    | 1) 骨と全身のカルシウム代謝機構の関連を説明する。(C-3-4)-(9)-(1))<br>2) カルシウム代謝に関わる因子を説明する。(C-3-4)-(9)-(1))                                                                                            |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p205-228 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 12月23日                          | 竹澤 晴香 | 口腔に關係する全身疾患の生化学                            | 1) 口腔・顎顔面領域に症状を現す全身疾患と遺伝子変異との関連を説明する。(C-2-2)-(4))<br>2) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患の分子機序を説明する。(E-2-4)-(10)-(1), (4), (6), (9))                                                             |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、要点を確認する。                    |                                                                                                                                                                                 |
| 1月13日                           | 森田 貴雄 | 歯と歯周組織の疾患(1)<br>う蝕・口臭                      | 1) 齲蝕における糖質の関与を説明する。(E-3-2)-(1), C-2-1)-(2))<br>2) 齲蝕に対する唾液の関与を説明する。(E-3-2)-(1))<br>3) 口臭とアミノ酸代謝の関連性を説明する。(E-3-2)-(3), C-2-1)-(1))                                              |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p250-291 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 1月20日                           | 森田 貴雄 | 歯と歯周組織の疾患(2)<br>歯肉組織破壊と歯槽骨吸収               | 1) 歯肉組織破壊の分子機序を説明する。(E-3-2)-(3))<br>2) 歯槽骨吸収の分子機序を説明する。(E-3-2)-(3), C-3-4)-(2)-(5))<br>3) 口腔疾患への唾液の関与を説明する。(E-2-2)-(5))<br>4) 口腔疾患に対するサイトカインの関与を説明する。(C-2-4)-(2))               |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p323-339 を読んで要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                 |
| 1月27日                           | 森田 貴雄 | 復習と総括                                      |                                                                                                                                                                                 |
|                                 | 準備学習  | 事前講義資料や講義後資料、口腔生化学の該当箇所を読んで要点を確認する。        |                                                                                                                                                                                 |

# 解剖学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|-------|----|----|-----|------------|---------|
| 吉村 建  | 2  | 後期 | 月曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

医療従事者として精緻な人体の形態と構造を追求するために、各器官系の基本的な解剖学的知識を身につける。

|     | 著者・編者   | 書名      | 版      | 出版社 |
|-----|---------|---------|--------|-----|
| 教科書 | 平田 幸男ほか | 解剖学アトラス | 第 10 版 | 文光社 |
| 参考書 |         |         |        |     |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (100%)    ☐ 論述試験 ( % )    ☐ 口頭試験 ( % )    ☐ レポート ( % )  
☐ 実地試験 ( % )    ☐ ポートフォリオ ( % )    ☐ シミュレーションテスト ( % )  
☐ 観察記録 ( % )    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( % )

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (100) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日    時間: 15:00～17:00    場所: 解剖学第 1 講座教授室 (吉村 8 号館 3 階)  
 事前に (メール等で) 予約してから訪問すること。  
 講義・学習内容に関する質問は、質問用アドレス (ga-kaibo1@ngt.ndu.ac.jp) でも対応可。

| 授業日    | 担当者  | 授業内容             | 行動目標 (SBOs)                                                                          |
|--------|------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月3日  | 吉村 建 | 内臓学(1) 消化器       | 1) 消化管 (口腔, 咽頭, 食道, 胃) の基本構造と機能を説明する。<br>(C-3-4) (7)-①, E-2-2)-①②⑤)                  |
|        | 準備学習 | p287 からの要点を確認する。 |                                                                                      |
| 10月11日 | 吉村 建 | 内臓学(2) 消化管       | 1) 消化管 (口腔, 咽頭, 食道, 胃) の基本構造と機能を説明する。<br>(C-3-4) (7)-①, E-2-2)-①②⑤)                  |
|        | 準備学習 | p287 からの要点を確認する。 |                                                                                      |
| 10月17日 | 吉村 建 | 内臓学(3) 消化腺       | 1) 消化管 (小腸, 大腸) の基本構造と機能を説明する。(C-3-4) (7)-①)                                         |
|        | 準備学習 | p287 からの要点を確認する。 |                                                                                      |
| 10月24日 | 吉村 建 | 内臓学(4) 消化腺       | 1) 肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明する。(C-3-4) (7)-②)<br>2) 膵臓 (外分泌部と内分泌部) の特徴を説明する。(C-3-4) (7)-③) |
|        | 準備学習 | p287 からの要点を確認する。 |                                                                                      |
| 10月31日 | 吉村 建 | 内臓学(4) 呼吸器       | 1) 気道系 (鼻腔, 副鼻腔, 咽頭, 気管, 気管支) の構造と機能を説明する。<br>(C-3-4) (8)-①)                         |
|        | 準備学習 | p264 からの要点を確認する。 |                                                                                      |

| 授業日    | 担当者  | 授業内容                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                |
|--------|------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月7日  | 吉村 建 | 内臓学(5) 呼吸器                    | 1) 肺の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(8)-(2))                                                                                                                                                           |
|        | 準備学習 | p264 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 11月14日 | 吉村 建 | 内分泌器                          | 1) 下垂体の構造と分泌されるホルモンについて説明する。(C-3-4)-(9)-(1))<br>2) 甲状腺の構造と分泌する。ホルモンについて説明する。(C-3-4)-(9)-(1))<br>3) 膵島の構造と分泌する。ホルモンについて説明する。(C-3-4)-(9)-(1))<br>4) 副腎の構造と分泌する。ホルモンについて説明する。(C-3-4)-(9)-(1)) |
|        | 準備学習 | p383 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 11月21日 | 吉村 建 | 泌尿器                           | 1) 泌尿器系について概略を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))<br>2) 腎臓について構造と機能を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))<br>3) 尿管・膀胱・尿道の構造を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))                                                                     |
|        | 準備学習 | p330 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 11月28日 | 吉村 建 | 生殖器                           | 1) 男性生殖器について構造を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))<br>2) 女性生殖器について構造を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))<br>3) 性周期と分泌する。ホルモンについて説明する。(C-3-4)-(9)-(1))                                                                |
|        | 準備学習 | p338 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 12月5日  | 吉村 建 | 感覚器①                          | 1) 外皮について構造を説明する。(C-3-4)-(6)-(1), ②)<br>2) 嗅覚器について構造を説明する。(C-3-4)-(6)-(1), ②)<br>3) 味覚器について構造を説明する。(C-3-4)-(6)-(1), ②)                                                                     |
|        | 準備学習 | p420-428, 585-587 からの要点を確認する。 |                                                                                                                                                                                            |
| 12月12日 | 吉村 建 | 感覚器②                          | 1) 視覚器について構造を説明する。(C-3-4)-(6)-(1), ②)<br>2) 聴覚器について構造を説明する。(C-3-4)-(6)-(1), ②)<br>3) 平衡感覚器について構造を説明する。(C-3-4)-(6)-(1), ②)                                                                  |
|        | 準備学習 | p420, 590 からの要点を確認する。         |                                                                                                                                                                                            |
| 12月19日 | 吉村 建 | 中枢神経①                         | 1) 脳神経と脊髄神経の違いについて説明する。(C-3-4)-(5)-(4))<br>2) 脳室循環系について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                                                                                                               |
|        | 準備学習 | p430 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 1月16日  | 吉村 建 | 中枢神経②                         | 1) 終脳について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))<br>2) 大脳基底核について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                                                                                                                        |
|        | 準備学習 | p430 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 1月23日  | 吉村 建 | 中枢神経③                         | 1) 間脳について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))<br>2) 中脳, 橋, 延髄について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))<br>3) 小脳について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                                                                                  |
|        | 準備学習 | p430 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |
| 1月30日  | 吉村 建 | 中枢神経④                         | 1) 脊髄について説明する。(C-3-4)-(5)-(2))<br>2) 各種伝導路について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))<br>3) 副交感神経の神経核について説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                                                                               |
|        | 準備学習 | p430 からの要点を確認する。              |                                                                                                                                                                                            |

# 解剖学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日       | 時間      | 場所            |
|-------|----|----|----------|---------|---------------|
| 影山 幾男 | 2  | 後期 | 木曜日, 金曜日 | 14:00 ~ | 新潟病院地下 解剖学実習室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

人体の形態と構造を理解するために、肉眼形態学的観察を通じて人体の形態学的正常構造を習得し、さらに医療従事者としての医の倫理性を身につけるために、生命の尊厳および献体者への感謝の気持ちを体得する。

|     | 著者・編者                          | 書名                         | 版     | 出版社           |
|-----|--------------------------------|----------------------------|-------|---------------|
| 教科書 | Platzer 他 (平田幸男訳)<br>解剖学第1 講座編 | 解剖学アトラス<br>解剖学実習書 (日本歯科大学) | 第10 版 | 文光堂<br>日本歯科大学 |
| 参考書 |                                |                            |       |               |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☒ 実習  
☒ その他 (精密スケッチ提出)

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (35%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☒ レポート (20%)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☒ 観察記録 (30%)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての観察記録 (30%) と、提出されたレポートの評価 (20%) 多選択肢形式筆記試験 (35%) と、ご遺体の実習に対する関心・意欲・態度 (15%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

水曜日・17:00-19:00・4号館3階・影山教授室

| 授業日    | 担当者                                                                          | 授業内容                                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                         |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月6日  | 影山 幾男<br>吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治<br>島田 和幸<br>小島 龍平<br>時田幸之輔<br>宮脇 佳子<br>里田 隆博 | オリエンテーション<br>背面(1)<br>背面浅層の剖出                 | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p i - x vi 並びに p1-8 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 10月7日  |                                                                              | 背面(2)<br>背面浅層の剖出                              | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p1-8 を読み、要点を確認する。                |                                                                                                                                     |
| 10月13日 |                                                                              | 背面(3)<br>背面中層の剖出                              | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p9-11 を読み、要点を確認する。               |                                                                                                                                     |
| 10月14日 |                                                                              | 背面(4)<br>背面中層の剖出                              | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p12-16 を読み、要点を確認する。              |                                                                                                                                     |
| 10月20日 |                                                                              | 背面 (5)<br>背面深層の剖出                             | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p17-21 を読み、要点を確認する。              |                                                                                                                                     |

| 授業日    | 担当者                                                                          | 授業内容                            | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                         |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月21日 | 影山 幾男<br>吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治<br>島田 和幸<br>小島 龍平<br>時田幸之輔<br>宮脇 佳子<br>里田 隆博 | 背面(6)<br>背面深層の剖出                | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p22-28 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 10月27日 |                                                                              | 前面(1)<br>前面の皮切, 皮剥ぎ             | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p29-40 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 10月28日 |                                                                              | 前面(2)<br>広頸筋と脊髄神経前枝             | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p41-44 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月4日  |                                                                              | 前面(3)<br>胸鎖乳突筋の切断, 反転           | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p45-51 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月10日 |                                                                              | 前面(4)<br>鎖骨抜きと頸動脈鞘              | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p52-56 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月11日 |                                                                              | 前面(5)<br>頸神経叢と腕神経叢              | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p57-62 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月17日 |                                                                              | 前面(6)<br>外腹斜筋, 内腹斜筋, 大腿の剖出      | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p63-66 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月18日 |                                                                              | 前面(7)<br>腹直筋鞘・深胸筋・肋骨・胸骨抜き       | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p67-70 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月24日 |                                                                              | 前面(8)<br>表情筋と顔面の脈管・神経           | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p71-74 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月25日 |                                                                              | 前面(9)<br>顔面神経と縦隔, 胸膜・心臓         | 1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明する。 C-2-3)-(1)<br>2) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>3) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>4) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p75-78 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |
| 11月30日 |                                                                              | 前面(10)<br>顔面神経・顎下三角             | 1) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。 C-2-3)-(5)                                                                                         |
| 理工     |                                                                              | 準備学習：解剖学実習書 p79-81 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                                                     |



| 授業日    | 担当者                                                                          | 授業内容                                                      | 行動目標 (SBOs)                                                                                                    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12月1日  | 影山 幾男<br>吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治<br>島田 和幸<br>小島 龍平<br>時田幸之輔<br>宮脇 佳子<br>里田 隆博 | 井出吉信学長(東京歯科大学)<br>特別講義 (予定)<br>前面(11) 内頭蓋底                | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5)                 |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p82-84 を読み、要点を確認する。                          |                                                                                                                |
| 12月2日  |                                                                              | 前面(12)<br>胸部内臓摘出                                          | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5)                 |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p85-88 を読み、要点を確認する。                          |                                                                                                                |
| 12月8日  |                                                                              | 前面(13)<br>頭部離断                                            | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 末梢神経系の機能分類を説明する。 C-2-3)-(5)                 |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p89-92 を読み、要点を確認する。                          |                                                                                                                |
| 12月9日  |                                                                              | 前面(14)<br>咽頭・喉頭・胸膜                                        | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p93-98 を読み、要点を確認する。                          |                                                                                                                |
| 12月15日 |                                                                              | 前面(15)<br>頭部正中断・心臓                                        | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p99-105 を読み、要点を確認する。                         |                                                                                                                |
| 12月16日 |                                                                              | 前面(16)<br>咀嚼筋, 腹部内臓                                       | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p106-114 を読み、要点を確認する。                        |                                                                                                                |
| 12月22日 |                                                                              | 前面(17)<br>下顎管・顎動脈・下顎神経<br>肝臓                              | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p115-124 を読み、要点を確認する。                        |                                                                                                                |
| 12月23日 |                                                                              | 前面(18)<br>腹腔動脈, 門脈                                        | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p125-128 を読み、要点を確認する。                        |                                                                                                                |
| 1月12日  |                                                                              | 前面(19)<br>鼻腔・消化管, 一腸管の一<br>括摘出                            | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p129-136 を読み、要点を確認する。                        |                                                                                                                |
| 1月13日  |                                                                              | 前面(20)<br>里田先生特別講義                                        | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p137-144 を読み、要点を確認する。                        |                                                                                                                |
| 1月19日  |                                                                              | 前面(21)<br>翼口蓋神経節, 耳神経節<br>舌の構造, 腹膜後器官の剖<br>出(腎臓, 副腎) 骨盤内臓 | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|        |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p137-144 を読み、要点を確認する。                        |                                                                                                                |

| 授業日   | 担当者                                                                          | 授業内容                                                     | 行動目標 (SBOs)                                                                                                      |
|-------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月20日 | 影山 幾男<br>吉村 建<br>小林 一広<br>熊木 克治<br>島田 和幸<br>小島 龍平<br>時田幸之輔<br>宮脇 佳子<br>里田 隆博 | 前面(22)<br>眼窩, 上顎洞, 鼓索神経の<br>剖出                           | 1) 骨格筋の構造と機能を説明する。 C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。 C-2-3)-(3)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5)   |
|       |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p145-151 を読み, 要点を確認する。                      |                                                                                                                  |
| 1月26日 |                                                                              | 中枢神経(1)<br>脳の血管系の剖出, 脳外側<br>面(溝・回), 脳底面, 脳<br>神経の出入部位の観察 | 1) 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明する。C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。C-2-3)-(2)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|       |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p152-155 を読み, 要点を確認する。                      |                                                                                                                  |
| 1月27日 |                                                                              | 中枢神経(2)<br>大脳内側面, 小脳, 脳幹の<br>剖出ならびに観察                    | 1) 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明する。C-2-3)-(2)<br>2) 主な動脈と静脈を列挙する。C-2-3)-(2)<br>3) 脳神経の種類, 走行, 線維構築および支配領域を説明する。<br>C-2-3)-(5) |
|       |                                                                              | 準備学習: 解剖学実習書 p156-159 を読み, 要点を確認する。                      |                                                                                                                  |
| 2月2日  |                                                                              | 最終試験                                                     | 最終実習試験を実施することで, 人体解剖学を総括する。                                                                                      |
|       |                                                                              | 準備学習: 各自, 最終試験の準備をする。                                    |                                                                                                                  |



# 口腔組織学

| 授業責任者  | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|--------|----|----|-----|------------|---------|
| 辻村 麻衣子 | 2  | 後期 | 木曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

臨床歯科医学を理解するために、口腔の発生と組織構造の基礎的知識を修得する。

|     | 著者・編者                      | 書名             | 版     | 出版社   |
|-----|----------------------------|----------------|-------|-------|
| 教科書 | 田畑 純 著                     | 口腔の発生と組織       | 第4版   | 南山堂   |
| 参考書 | 脇田稔・前田健康・中村浩彰・網塚憲生 編       | 口腔組織・発生学       | 第2版   | 医歯薬出版 |
|     | 牛木辰夫 著                     | 入門組織学          | 改訂第2版 | 南江堂   |
|     | Antonio Nanci 編著 (川崎堅三 監訳) | Ten Cate 口腔組織学 | 原著第6版 | 医歯薬出版 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)
- ☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

到達目標の達成度をはかるための試験(多肢選択式)(90%)と 授業に対する態度(出席数)(10%)により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 16:00～17:00 場所: 解剖学第2講座教授室 (8号館3階)  
 事前にメールで要予約

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                            | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                    |
|--------|-------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月6日  | 辻村麻衣子 | 歯と歯周組織の発生①                                      | 1) 歯と歯周組織の構造を説明する。(E-3-1)-④⑤⑥)<br>2) 歯の定義を説明する。(E-3-1)-④)<br>3) 歯の初期発生を説明する。(E-3-1)-①)                                                         |
|        | 準備学習  | 教科書第1章を参考に歯の特徴について学習する。                         |                                                                                                                                                |
| 10月13日 | 辻村麻衣子 | 歯と歯周組織の発生②                                      | 1) 歯冠形成を説明する。(E-3-1)-①)<br>2) エナメル質と象牙質の形成を説明する。(E-3-1)-①)<br>3) エナメル質と象牙質の石灰化を説明する。(C-3-4)-(2)-⑤, (E-3-1)-①)                                  |
|        | 準備学習  | 教科書 p41-46 と前回の講義内容を参考に歯の初期発生の要点を確認する。          |                                                                                                                                                |
| 10月20日 | 辻村麻衣子 | 歯と歯周組織の発生③                                      | 1) 歯根形成を説明する。(E-3-1)-①)<br>2) 歯周組織の発生を説明する。(E-3-1)-⑥)<br>3) 歯の萌出過程を説明する。(E-3-1)-①)<br>4) 歯の交換の過程を説明する。(E-3-1)-①)                               |
|        | 準備学習  | 教科書第4章と前回の講義内容を参考に歯冠形成の要点を確認する。                 |                                                                                                                                                |
| 10月27日 | 辻村麻衣子 | エナメル質①                                          | 1) エナメル質の組成を説明する。(E-3-1)-④)<br>2) エナメル質形成を説明する。(E-3-1)-①)<br>3) エナメル質の石灰化の機序を説明する。(C-3-4)-(2)-⑤), (E-3-1)-①)<br>4) エナメル芽細胞の特徴を説明する。(E-3-1)-①④) |
|        | 準備学習  | 教科書 p47-48 と歯と歯周組織の発生②の講義内容を参考にエナメル質形成の要点を確認する。 |                                                                                                                                                |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                               |
|--------|-------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月10日 | 辻村麻衣子 | エナメル質②                                        | 1) エナメル質の組織構造を説明する。(E-3-1)-(4)<br>2) エナメル小柱を説明する。(E-3-1)-(4)<br>3) エナメル質の成長線を説明する。(E-3-1)-(4)                                             |
|        | 準備学習  | 教科書 p65-71 と前回の講義内容を参考にエナメル芽細胞の特徴を確認する。       |                                                                                                                                           |
| 11月17日 | 辻村麻衣子 | 象牙質①                                          | 1) 象牙質の組成を説明する。(E-3-1)-(4)<br>2) 象牙芽細胞の特徴を説明する。(E-3-1)-(4)<br>3) 象牙質の石灰化の機序を説明する。(C-3-4)-(2)-(5), (E-3-1)-(1)<br>4) 象牙質を分類する。(E-3-1)-(4)  |
|        | 準備学習  | 教科書 p47-48 と歯と歯周組織の発生②の講義内容を参考に象牙質形成の要点を確認する。 |                                                                                                                                           |
| 11月24日 | 辻村麻衣子 | 象牙質②                                          | 1) 象牙質の組織構造を説明する。(E-3-1)-(4)<br>2) 象牙質の成長線を説明する。(E-3-1)-(4)<br>3) 象牙質と歯髄の関係を説明する。(E-3-1)-(4)(5)<br>4) 象牙質の加齢変化を説明する。(E-2-3)-(4)           |
|        | 準備学習  | 教科書 p79-84 と前回の講義内容を参考に象牙質の石灰化の要点を確認する。       |                                                                                                                                           |
| 12月1日  | 辻村麻衣子 | 歯髄                                            | 1) 歯髄の組織構造を説明する。(E-3-1)-(5)<br>2) 歯髄にみられる細胞を説明する。(E-3-1)-(5)<br>3) 歯髄にみられる神経を説明する。(E-3-1)-(5)<br>4) 歯髄の加齢変化を説明する。(E-2-3)-(4)              |
|        | 準備学習  | 教科書 p144-147 と前回の講義内容を参考に象牙質・歯髄の加齢変化について学習する。 |                                                                                                                                           |
| 12月8日  | 辻村麻衣子 | セメント質                                         | 1) セメント質の組成を説明する。(E-3-1)-(6)<br>2) セメント芽細胞とセメント細胞の特徴を説明する。(E-3-1)-(6)<br>3) セメント質の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)<br>4) セメント質の加齢変化を説明する。(E-2-3)-(4) |
|        | 準備学習  | 教科書 p3-5 とエナメル質・象牙質の講義内容を参考に歯の硬組織の特徴を確認する。    |                                                                                                                                           |
| 12月15日 | 辻村麻衣子 | 歯根膜                                           | 1) 歯根膜の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)<br>2) 歯根膜にみられる細胞を説明する。(E-3-1)-(6)<br>3) 歯根膜にみられる線維を説明する。(E-3-1)-(6)<br>4) 歯根膜の機能を説明する。(E-3-1)-(6)            |
|        | 準備学習  | 教科書 p97-99 と前回の講義内容を参考にセメント芽細胞の特徴を確認する。       |                                                                                                                                           |
| 12月22日 | 辻村麻衣子 | 歯槽骨                                           | 1) 歯槽骨の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)<br>2) 骨を構成する細胞を説明する。(C-3-4)-(2)-(3)<br>3) 骨リモデリングの機序を説明する。(C-3-4)-(2)-(4)                                    |
|        | 準備学習  | 入門組織学(参考書) p61-66 を参考に、骨組織の特徴を確認する。           |                                                                                                                                           |
| 1月12日  | 辻村麻衣子 | 歯肉                                            | 1) 歯肉の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)<br>2) 歯肉の外縁上皮の特徴を説明する。(E-3-1)-(6)<br>3) 歯肉の内縁上皮の特徴を説明する。(E-3-1)-(6)                                           |
|        | 準備学習  | 教科書第5章と歯と歯周組織の発生③の講義内容を参考に歯周組織の発生の要点を確認する。    |                                                                                                                                           |
| 1月19日  | 辻村麻衣子 | 口腔粘膜                                          | 1) 消化管の粘膜の組織構造を説明する。(C-3-4)-(7)-(1)<br>2) 口腔粘膜の組織構造を説明する。(E-2-2)-(2)<br>3) 口腔粘膜を分類する。(E-2-2)-(2)<br>4) 口腔粘膜の特徴を説明する。(E-2-2)-(2)           |
|        | 準備学習  | 教科書 p 117-120 を参考に口腔粘膜の組織構造について学習する。          |                                                                                                                                           |
| 1月26日  | 辻村麻衣子 | 舌                                             | 1) 舌の組織構造を説明する。(E-2-2)-(3)<br>2) 舌乳頭を説明する。(E-2-2)-(3)<br>3) 味蕾を説明する。(E-2-2)-(10)<br>4) 舌扁桃を説明する。(E-2-1)-(12)<br>5) 舌腺を説明する。(E-2-2)-(6)    |
|        | 準備学習  | 教科書 p 118-120, 128-130 を参考に舌の粘膜の組織構造を確認する。    |                                                                                                                                           |
| 2月2日   | 辻村麻衣子 | 顎関節                                           | 1) 顎関節の組織構造を説明する。(E-2-1)-(6)<br>2) 顎関節の特徴を説明する。(E-2-1)-(6)<br>3) 頭蓋骨の骨発生を説明する。(C-3-4)-(2)-(4), (E-2-1)-(2)                                |
|        | 準備学習  | 教科書第11章を参考に頭蓋骨と顎関節の特徴について学習する。                |                                                                                                                                           |

# 生理学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 佐藤 義英 | 2  | 後期 | 火曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

臨床歯科医学を理解するために、自律神経系、循環・呼吸・体液、排泄、消化・吸収等の生体の植物的機能の正常な働きとメカニズムに関する知識を習得する。

|     | 著者・編者                       | 書名             | 版   | 出版社   |
|-----|-----------------------------|----------------|-----|-------|
| 教科書 | 岩田幸一・井上富雄・<br>船橋 誠・加藤隆史（編集） | 基礎歯科生理学        | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 和泉博之，浅沼直和 編著                | ビジュアル生理学・口腔生理学 | 第3版 | 学建書院  |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☒ その他（ソクラテス演習問題）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（90％）    ☒ 論述試験（10％）    ☐ 口頭試験（ ％）    ☐ レポート（ ％）  
☐ 実地試験（ ％）    ☐ ポートフォリオ（ ％）    ☐ シュミレーションテスト（ ％）  
☐ 観察記録（ ％）    ☐ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）（ ％）

## 成績評価方法

到達目標（GIO）で示した項目についての客観試験（多選択肢形式試験，90％）と論述試験（筆記試験，10％）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：12:00～12:30  
 場所：生理学講座教授室（5号館3階）

| 授業日                             | 担当者   | 授業内容                                | 行動目標（SBOs）                                                                                |
|---------------------------------|-------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月4日                           | 佐藤 義英 | 自律機能(1)<br>自律神経系の構造，性質，働き           | 1) 体性神経系と自律神経系の機能の相違を説明する。(C-3-4)-(5)-(2))<br>2) 交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(3)) |
|                                 | 準備学習  | 教科書 p279～288 を読み，要点を確認する。           |                                                                                           |
| 10月18日                          | 佐藤 義英 | 自律機能(2)<br>内臓感覚，自律神経反射，中枢性調節（脊髄と脳幹） | 1) 自律神経遠心路の性質を説明する。(C-3-4)-(5)-(3)，(4))                                                   |
|                                 | 準備学習  | 教科書 p288～290 を読み，要点を確認する。           |                                                                                           |
| 10月20日<br>(10月25日)<br>(木)<br>1限 | 佐藤 義英 | 自律機能(3)<br>中枢性調節（視床下部）              | 1) 自律機能の調節中枢を説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                                                        |
|                                 | 準備学習  | 教科書 p290～293 を読み，要点を確認する。           |                                                                                           |
| 11月1日                           | 佐藤 義英 | 体液の循環(1)<br>心臓                      | 1) 心臓の構造，機能及び心電図波形を説明する。(C-3-4)-(4)-(1))<br>2) 心筋と平滑筋の収縮の機序を説明する。(C-3-4)-(3)-(2))         |
|                                 | 準備学習  | 教科書 p76～87 を読み，要点を確認する。             |                                                                                           |
| 11月8日                           | 佐藤 義英 | 体液の循環(2)<br>血液循環                    | 1) 肺循環と体循環の経路を説明する。(C-3-4)-(4)-(2))<br>2) 血圧調節機能を説明する。(C-3-4)-(4)-(3))                    |
|                                 | 準備学習  | 教科書 p87～95 を読み，要点を確認する。             |                                                                                           |

| 授業日                | 担当者                         | 授業内容                                   | 行動目標 (SBOs)                                                                                    |
|--------------------|-----------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月15日             | 佐藤 義英                       | 体液の循環(3)<br>循環調節                       | 1) 血圧調節機能を説明する。(C-3-4)-(4)-(3))<br>2) 自律機能の調節中枢を説明する。(C-3-4)-(5)-(4))                          |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p95 ～ 101 を読み、要点を確認する。             |                                                                                                |
| 11月22日             | 佐藤 義英                       | 呼吸(1)<br>呼吸器と換気                        | 1) 気道系の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(8)-(1))<br>2) 肺の構造・機能と呼吸運動を説明する。(C-3-4)-(8)-(2))                    |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p103 ～ 110 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                |
| 12月2日<br>(金)<br>1限 | 佐藤 義英<br>(11月29日)<br>(2限入替) | 呼吸(2)<br>ガス交換と呼吸の調節                    | 1) 肺の構造・機能と呼吸運動を説明する。(C-3-4)-(8)-(2))                                                          |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p110 ～ 121 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                |
| 12月6日              | 佐藤 義英                       | 睡眠                                     | 1) 睡眠を説明する。(C-2-3)-(5)-(4))                                                                    |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p265 ～ 271 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                |
| 12月13日             | 佐藤 義英                       | 消化と吸収(1)<br>咽頭, 食道, 胃, 小腸              | 1) 胃の消化機能及び調節機構を説明する。(C-3-4)-(7)-(1))<br>2) 小腸の機能を説明する。(C-3-4)-(7)-(1))                        |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p157 ～ 162, 166 ～ 172 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                |
| 12月20日             | 佐藤 義英                       | 消化と吸収(2)<br>肝臓, 胆嚢, 膵臓                 | 1) 肝臓の機能及び胆汁と胆道系を説明する。(C-3-4)-(7)-(2))<br>2) 膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(7)-(3))       |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p173 ～ 176 を読み、要点を確認する。            |                                                                                                |
| 1月10日              | 佐藤 義英                       | 消化と吸収(3)<br>大腸, 消化管ホルモン                | 1) 消化管 (大腸) の基本構造, 消化機能及び調節機構を説明する。<br>(C-3-4)-(7)-(1))<br>2) 消化管ホルモンの機能を説明する。(C-3-4)-(9)-(1)) |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p162 ～ 164, 177 ～ 178 を読み、要点を確認する。 |                                                                                                |
| 1月17日              | 佐藤 義英                       | 体液(1)<br>腎機能の調節と尿の生成                   | 1) 腎臓の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))                                                             |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p51 ～ 52, 61 ～ 64 を読み、要点を確認する。     |                                                                                                |
| 1月24日              | 佐藤 義英                       | 体液(2)<br>体液恒常性の調節                      | 1) 体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明する。(C-3-4)-(10)-(2))<br>2) 水代謝と主な電解質の出納を説明する。(C-2-3)-(9)-(3))          |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p64 ～ 72 を読み、要点を確認する。              |                                                                                                |
| 1月31日              | 佐藤 義英                       | 体液(3)<br>蓄尿・排尿                         | 1) 尿管, 膀胱及び尿道の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(10)-(1))<br>2) 蓄尿・排尿を説明する。(C-2-3)-(9)-(1), (2), (3))         |
|                    | 準備学習                        | 教科書 p59, 72 ～ 74 を読み、要点を確認する。          |                                                                                                |

# 感染微生物学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 葛城 啓彰 | 2  | 後期 | 金曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 感染症に対応できる歯科医師となるために、微生物の種類と特性、感染症の概念とその予防・対処方法を理解する。 |
|------------------------------------------------------|

| 著者・編者             | 書名       | 版 | 出版社 |
|-------------------|----------|---|-----|
| 教科書 東 匡伸, 小熊恵二 編集 | シンプル微生物学 | 6 | 南江堂 |
| 参考書               |          |   |     |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (80%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

## 成績評価方法

|                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般目標で示した全項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。 |
|------------------------------------------------------------------------------------|

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 曜日: 金曜日    時間: 17:00-18:00    場所: 微生物学実習室 (4号館2階) |
|---------------------------------------------------|

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                   | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                         |
|--------|-------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月7日  | 葛城 啓彰 | 細菌性食中毒と原因細菌, ウイルスと下痢症とその予防             | 1) 食中毒の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 食中毒の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 食中毒の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 食中毒の予防法を説明する。(C-4-1)-②)                                               |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p138-152 を読む。                 |                                                                                                                                                                                     |
| 10月14日 | 葛城 啓彰 | 腸管感染症を起こす原因細菌と3類感染症の予防                 | 1) 3類感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 3類感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 3類感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 3類感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦)     |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p140-141 を読む。                 |                                                                                                                                                                                     |
| 10月21日 | 葛城 啓彰 | 胃潰瘍・慢性胃炎と原因細菌, 発癌と予防法                  | 1) 慢性胃炎の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 慢性胃炎の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 慢性胃炎の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 慢性胃炎の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦)         |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p159-162 を読む。                 |                                                                                                                                                                                     |
| 10月28日 | 葛城 啓彰 | 肝炎とウイルス, 発癌とウイルス性肝炎の予防                 | 1) 肝炎の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 肝炎の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 肝炎の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 肝炎の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦)                 |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p343-352 を読む。                 |                                                                                                                                                                                     |
| 11月4日  | 葛城 啓彰 | 呼吸器感染と原因ウイルスとその予防 SARS, MERS 新型コロナウイルス | 1) 呼吸器感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 呼吸器感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 呼吸器感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 呼吸器感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦) |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p296-303 を読む。                 |                                                                                                                                                                                     |



| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                    | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                             |
|--------|-------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月11日 | 葛城 啓彰 | 結核と原因細菌, 予防法と2類感染症 /TBL                 | 1) 呼吸器感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 呼吸器感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 呼吸器感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 呼吸器感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦)     |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p196-201 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 11月18日 | 葛城 啓彰 | 呼吸器感染と原因細菌・真菌・原虫と2類感染症                  | 1) 呼吸器感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 呼吸器感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 呼吸器感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 呼吸器感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦)     |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p131-133, 154-169 を読む。         |                                                                                                                                                                                         |
| 11月25日 | 葛城 啓彰 | 破傷風の原因微生物とその予防                          | 1) 中枢神経感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 中枢神経感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 中枢神経感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 中枢神経感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦) |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p187-191 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 12月2日  | 葛城 啓彰 | 髄膜炎の原因微生物とその予防                          | 1) 中枢神経感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 中枢神経感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 中枢神経感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 中枢神経感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦) |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p170-172 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 12月9日  | 葛城 啓彰 | ウイルス性脳炎, 黄熱病, ポリオとその予防                  | 1) 中枢神経感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 中枢神経感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 中枢神経感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 中枢神経感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦) |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p329-336 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 12月16日 | 葛城 啓彰 | プリオンタンパクの性質と病原性, プリオン病                  | 1) 中枢神経感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 中枢神経感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 中枢神経感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 中枢神経感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦) |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p352-356 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 12月23日 | 葛城 啓彰 | 古典的4大性病の病原体の性状と予防, 新しい性行為感染症            | 1) 性行為感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 性行為感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 性行為感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 性行為感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)                                       |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p204-207 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 1月13日  | 葛城 啓彰 | HIV の性状と AIDS の予防                       | 1) 性行為感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 性行為感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 性行為感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 性行為感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)                                       |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p339-342 を読む。                  |                                                                                                                                                                                         |
| 1月20日  | 葛城 啓彰 | 1類感染症の原因微生物の性状と予防<br>ウイルス性出血熱, 天然痘, ペスト | 1) 1類感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 1類感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 1類感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 1類感染症の予防法を説明する。(C-4-1)-②)<br>5) ワクチンの意義と問題点を説明する。(C-4-2)-⑦)         |
|        | 準備学習  | シンプル微生物学 p148, 281-283, 311-315 を読む。    |                                                                                                                                                                                         |
| 1月27日  | 葛城 啓彰 | 課題1-14の質疑応答と問題演習                        | 1) 感染性微生物の種類を説明する。(C-4-1)-②)<br>2) 感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-②)<br>3) 感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-②)<br>4) 唾液腺感染症の原因微生物がヒトに対して示す病原性を説明する。(C-4-1)-②)                                              |
|        | 準備学習  | 1-14回の講義の復習をする。                         |                                                                                                                                                                                         |

# 病理学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間            | 場所      |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 岡田 康男 | 2  | 後期 | 木曜日 | 10:30 ~ 12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態・病理について、全身と関連づけた知識を習得するために、総論として一般病理学的に理解する。

|     | 著者・編者         | 書名           | 版     | 出版社  |
|-----|---------------|--------------|-------|------|
| 教科書 | 坂本穆彦 監修       | 標準病理学        | 第 6 版 | 医学書院 |
| 参考書 | 槻木恵一, 岡田康男 編著 | 新スタンダード口腔病理学 | 第 1 版 | 学建書院 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☒ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シュミレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (90%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日    時間帯: 17:00 ~ 18:00    場所: 病理学講座 (新潟病院 3 階)  
事前にメールで要予約

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                                                                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月6日  | 岡田 康男 | 先天異常, 奇形, 加齢                                                                                  | 1) 病理学の役割と診断に必要な検査を知り, 先天異常, 奇形, 遺伝性疾患や症候群の概念とその病態・病理について説明する。<br>(C-5-1), E-2-4)-(1)-①, ②, E-2-4)-(7)-②, E-2-4)-(10)-⑤, E-6-①)<br>2) 遺伝性疾患の発生について説明する。<br>(C-2-2)-④, C-5-1), E-2-4)-(1)-①, ②, ④)<br>3) 加齢に伴う全身諸組織の構造・機能変化の病態・病理について説明する。<br>(C-3-3)-①, ②)<br>4) 加齢に伴う口腔諸組織の構造・機能変化の病態・病理について説明する。<br>(E-2-3)-③, ④, E-5-1)-③) |
|        | 準備学習  | 教科書の 1 章「序論: 病理学について」, 8 章「染色体・遺伝子および発生の異常」, 3 章「口腔・唾液腺」の「顔面・口腔の発生と発育異常」および参考書で講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 10月13日 | 束理 頼亮 | 細胞・組織の障害                                                                                      | 1) 病因 (内因や外因) と関連した疾患の発生, 病期, 病型の病態・病理について説明する。(C-5-1) ~ 6), E-1-1)-①, ⑥)<br>2) 細胞傷害と組織傷害について説明する。(C-5-2))<br>3) 壊死の多様性, 原因, 意義および形態的所見の特徴について説明する。<br>(C-2-3)-④, C-5-2)-①)<br>4) アポトーシスと疾患の関連性について説明する。<br>(C-2-3)-④, C-5-2)-③)<br>5) 壊死とアポトーシスの違いについて説明する。<br>(C-2-3)-④, C-5-2)-②, ③)                                       |
|        | 準備学習  | 教科書の 2 章「細胞傷害の機序とその修復」と参考書で講義テーマについて学習する。                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |



| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                                                                                                                                                             | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月20日 | 束理 頼亮 | 反応性増殖, 再生, 修復, 化生, 器質化                                                                                                                                                           | 1) 生物・化学・物理的損傷による創傷の基本的な修復と治癒に影響する因子や治癒過程の病態・病理について説明する。<br>(C-5-3), E-2-4)-(2)-(1))<br>2) 修復と再生について説明する。(C-5-3)-(1, 4, 5))<br>3) 化生について説明する。(C-5-3)-(3))<br>4) 創傷治癒に関与する細胞と治癒過程について説明する。<br>(C-5-3)-(1, 4, 5))<br>5) 器質化について説明する。(C-5-3)-(5))                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|        | 準備学習  | 教科書の2章「細胞傷害の機序とその修復」と参考書で講義テーマについて学習する。                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 10月27日 | 大野 淳也 | 炎症, 感染症(1)                                                                                                                                                                       | 1) 不特定抗原に対する生体防御機構としての炎症性反応の局所的や全身的变化, 病期と出現する滲出細胞や肉芽の役割と病態・病理について説明する。<br>(C-4-1)-(3, C-5-5), E-2-4)-(3)-(2, 4, 6, 7, E-2-4)-(10)-(2, E-6-1))<br>2) 炎症の定義について説明する。(C-5-5)-(1))<br>3) 炎症に関与する細胞の種類と機能について説明する。<br>(C-5-5)-(2, E-2-4)-(3)-(3))<br>4) 滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化について説明する。<br>(C-5-5)-(3, E-2-4)-(3)-(6))<br>5) 肉芽腫性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化について説明する。<br>(C-4-1)-(3, C-5-5)-(4, E-2-4)-(3)-(7))                                                                                                                           |
|        | 準備学習  | 教科書の3章「炎症」, 4章「感染症」および参考書で講義テーマについて学習する。                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11月10日 | 束理 頼亮 | 感染症(2), 免疫とアレルギー                                                                                                                                                                 | 1) 不特定抗原に対する生体防御機構としての炎症性反応の局所的や全身的变化, 病期と出現する滲出細胞や肉芽の役割と病態・病理について説明する。<br>(C-4-2)-(1~7, E-2-4)-(3)-(1~6, E-2-4)-(4)-(2, E-2-4)-(10)-(3, E-6-1))<br>2) 特定抗原に対する生体防御機構におけるアレルギー, 免疫異常等を通して生体防御機構の病態・病理について説明する。<br>(C-4-2)-(1~7, E-2-4)-(10)-(3, E-6-1))<br>3) 自然免疫, 獲得免疫, 細胞性免疫および体液性免疫について説明する。<br>(C-4-2)-(1, 2, 4, E-2-4)-(10)-(3))<br>4) 免疫担当細胞の種類と機能について説明する。(C-4-2)-(3))<br>5) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容について説明する。<br>(C-4-2)-(6, E-2-4)-(10)-(3))<br>6) アレルギーの分類, 免疫・アレルギー疾患の種類と発生機序について説明する。(C-4-2)-(5, E-2-4)-(10)-(3, 10, E-6-1)) |
|        | 準備学習  | 教科書の4章「感染症」, 5章「免疫とその異常」および参考書で講義テーマについて学習する。                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11月17日 | 束理 頼亮 | 代謝障害, 医原性疾患                                                                                                                                                                      | 1) 代謝障害の病態・病理について説明する。(E-2-4)-(10)-(8, 9))<br>2) 医原性疾患の病態・病理について説明する。(C-6-4)-(1, E-6-1))<br>3) 薬物の副作用, 有害作用について説明する。<br>(C-6-4)-(1, E-1-4)-(1)-(5, E-2-4)-(10)-(7))<br>4) 歯科治療に伴う合併症の病態・病理について説明する。<br>(E-1-5)-(2, E-1-6)-(1, E-2-4)-(10)-(7))                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|        | 準備学習  | 教科書の6章「代謝障害」, 4章「感染症」の「薬剤耐性菌」, 7章「循環障害」の「アナフィラキシーショック」, 8章「染色体・遺伝子および発生の異常」の「薬剤などの化学物質」, 10章「血液・造血器・リンパ節」の「再生不良性貧血, 薬剤アレルギーに続発するリンパ節症」, 13章「口腔・唾液腺」の「BRONJ」および参考書で講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11月24日 | 佐藤 浩一 | 特別講義: 循環障害                                                                                                                                                                       | 1) 虚血, 充血, うっ血, 出血, 浮腫の種類, 原因, 徴候および転帰について説明する。(C-5-4)-(1, 2, E-6-1))<br>2) 血栓, 塞栓, 梗塞の種類, 原因, 特徴および転帰について説明する。<br>(C-5-4)-(3, 4, E-6-1))<br>3) ショック, 血圧異常の種類, 原因および特徴について説明する。<br>(C-5-4)-(6, E-6-1))                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|        | 準備学習  | 教科書の7章「循環障害」, 11章「循環器」および参考書で講義テーマについて学習する。                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                                                                | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12月1日  | 岡田 康男 | 腫瘍(1)                                                                               | 1) 腫瘍の病因, 成立機序と分類を理解し, 腫瘍の良性・悪性の病態・病理について総論的に説明する。<br>(C-5-6), E-2-4)-(6)-①～③, E-2-4)-(10)-④)<br>2) 腫瘍の定義と発生について説明する。(C-5-6)-①, ②)<br>3) 異形成について説明する。(C-5-6)-③)                                                                                                                               |
|        | 準備学習  | 教科書の9章「腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 12月8日  | 岡田 康男 | 腫瘍(2)                                                                               | 1) 腫瘍の異型性と組織学的分化度について説明する。<br>(C-5-6)-④, E-2-4)-(6)-⑤, ⑥)<br>2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同について説明する。<br>(C-5-6)-⑤, E-2-4)-(6)-①～③, E-2-4)-(10)-④)<br>3) 局所における腫瘍の増殖, 浸潤および転移について説明する。<br>(C-5-6)-⑥)                                                                                                          |
|        | 準備学習  | 教科書の9章「腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 12月15日 | 大野 淳也 | 血液・造血器, リンパ節, 循環器疾患                                                                 | 1) 血液・造血器, リンパ節, 循環器疾患について説明する。<br>(E-2-4)-(10)-①, E-6-①)<br>2) 浮腫の種類, 原因, 徴候および転帰について説明する。(C-5-4)-④)                                                                                                                                                                                         |
|        | 準備学習  | 教科書の7章「循環障害」, 10章「血液・造血器・リンパ節」, 11章「循環器」および参考書で講義テーマについて学習する。                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 12月22日 | 束理 頼亮 | 呼吸器疾患                                                                               | 1) 口腔領域の疾患と呼吸器疾患との関連を理解し説明する。<br>(E-1-3)-①, ②, ④, ⑤, E-6-①)<br>2) 呼吸器の感染症および炎症性疾患について説明する。<br>(C-4-1)-①, ②, C-5-5))<br>3) 呼吸器の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(C-5-6))<br>4) 呼吸器の発生異常と発育障害について説明する。<br>(C-3-3)-②, C-5-1))                                                                                 |
|        | 準備学習  | 教科書の12章「呼吸器」と参考書で講義テーマについて学習する。                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1月12日  | 岡田 康男 | 消化管, 肝・胆・膵疾患                                                                        | 1) 口腔領域の疾患と消化管, 肝・胆・膵疾患との関連を理解し説明する。<br>(E-1-3)-①, ②, ④, ⑤, E-6-①)<br>2) 消化管, 肝・胆・膵の感染症および炎症性疾患について説明する。<br>(C-4-1)-①, ②, C-5-5))<br>3) 消化管, 肝・胆・膵の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(C-5-6))<br>4) 消化管, 肝・胆・膵の発生異常と発育障害について説明する。<br>(C-3-3)-②, C-5-1))                                                     |
|        | 準備学習  | 教科書の14章「消化管」, 15章「肝・胆・膵」および参考書で講義テーマについて学習する。                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1月19日  | 大野 淳也 | 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科・乳腺疾患                                                              | 1) 口腔領域の疾患と腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科・乳腺疾患との関連を理解し説明する。<br>(E-1-3)-①, ②, ④, ⑤, E-2-4)-(8)-⑥, E-6-①)<br>2) 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科領域・乳腺の感染症および炎症性疾患について説明する。(C-4-1)-①, ②, C-5-5))<br>3) 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科領域・乳腺の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(C-5-6))<br>4) 腎・尿路系, 男性生殖器, 婦人科領域・乳腺の発生異常と発育障害について説明する。(C-3-3)-②, C-5-1)) |
|        | 準備学習  | 教科書の16章「腎」, 17章「尿路(尿管・膀胱・尿道)」, 21章「男性生殖器」, 20章「女性生殖器」, 19章「乳腺」および参考書で講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 授業日               | 担当者   | 授業内容                                                           | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------|-------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>月<br>26<br>日 | 束理 頼亮 | 脳・神経疾患, 内分泌疾患                                                  | 1) 口腔領域の疾患と脳・神経疾患, 内分泌疾患との関連を理解し説明する。<br>(E-1-3)-①, ②, ④, ⑤, E-6-①)<br>2) 下垂体, 甲状腺および副腎の機能異常について説明する。(C-5-2))<br>3) 脳の循環障害と頭部外傷について説明する。<br>(C-5-4), E-2-4)-(2)-①, ④, ⑤)<br>4) 脳・神経の感染症および炎症性疾患について説明する。<br>(C-4-1)-①, ②, C-5-5))<br>5) 脳・神経の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(C-5-6))<br>6) 脳・神経の発生異常と発育障害について説明する。<br>(C-3-3)-②, C-5-1)) |
|                   | 準備学習  | 教科書の 22 章「脳・神経」, 18 章「内分泌」および参考書で講義テーマについて学習する。                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2<br>月<br>2<br>日  | 岡田 康男 | 皮膚, 骨・軟部疾患                                                     | 1) 口腔領域の疾患と皮膚, 骨・軟部疾患との関連を理解し説明する。<br>(E-1-3)-①, ②, ④, ⑤, E-6-①)<br>2) 皮膚と骨の感染症および炎症性疾患について説明する。<br>(C-4-1)-①, ②, C-5-5))<br>3) 皮膚と骨・軟部の腫瘍および腫瘍類似疾患について説明する。(C-5-6))<br>4) 系統的骨疾患について説明する。<br>(E-1-3)-①, ②, ④, ⑤, E-2-4)-(10)-⑥)                                                                                              |
|                   | 準備学習  | 教科書の 25 章「皮膚・感覚器」, 23 章「軟部組織」, 24 章「骨・関節」および参考書で講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

# 歯科薬物療法学

| 授業責任者  | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|--------|----|----|-----|-------------|---------|
| 仲村 健二郎 | 2  | 後期 | 月曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

|                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| 臨床において薬物療法を実践するために、歯科治療で使用する薬物の作用機序、副作用、相互作用などの薬理作用を理解し、歯科薬物療法における適正使用を習得する。 |
|------------------------------------------------------------------------------|

| 著者・編者       | 書名      | 版   | 出版社   |
|-------------|---------|-----|-------|
| 教科書 大谷啓一 ほか | 現代歯科薬理学 | 第6版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 石田 甫 ほか | 歯科薬理学   | 第5版 | 医歯薬出版 |

## 学習方略（重複可）

- ☐ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（70％）    ☐ 論述試験（％）    ☐ 口頭試験（％）    ☒ レポート（20％）  
☐ 実地試験（％）    ☐ ポートフォリオ（％）    ☐ シュミレーションテスト（％）  
☐ 観察記録（％）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10％）

## 成績評価方法

|                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 客観試験（満点 70 点）、レポート（満点 20 点）および態度（満点 10 点）を合計して評価する。 |
|-----------------------------------------------------|

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| 曜日：月曜日    時間：16:00～17:00    場所：薬理学講座教室（8号館3階） |
|-----------------------------------------------|

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                             | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|-------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月3日  | 原 基   | 全身麻酔薬                                            | 1) 全身麻酔薬の種類、適用方法を説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-3)-①, E-1-4)-(2)-①②③, E-1-4)-(4)-①<br>2) 全身麻酔薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-②, E-1-4)-(4)-②<br>3) 麻酔前投薬の種類、使用目的を説明する。(C-3-4)-(3)-②, C-6-2)-①                                                 |
|        | 準備学習  | 教科書第13章のⅠ 全身麻酔薬を読む。                              |                                                                                                                                                                                                                            |
| 10月11日 | 二宮 一智 | 鎮痛薬                                              | 1) 鎮痛薬の分類を列挙する。(C-6-1)-①<br>2) 麻薬性鎮痛薬の作用機序を説明する。(C-3-4)-(6)-④, C-6-2)-②<br>3) 解熱鎮痛薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-②<br>4) 鎮痛薬の副作用を説明する。(C-6-4)-①                                                                                       |
|        | 準備学習  | 教科書第13章のⅢ-1 麻薬性鎮痛薬とⅢ-2 非麻薬性鎮痛薬及び第23章のⅢ 解熱鎮痛薬を読む。 |                                                                                                                                                                                                                            |
| 10月17日 | 原 基   | 催眠薬, 向精神薬, 抗てんかん薬                                | 1) 催眠薬, 向精神薬の種類を列挙する。(C-6-1)-①<br>2) 催眠薬, 向精神薬の作用機序を説明する。(C-6-2)-②④<br>3) 抗てんかん薬の薬理作用, 副作用を説明する。<br>(C-6-2)-②, C-6-4)-①, E-2-4)-(10)-⑦                                                                                     |
|        | 準備学習  | 教科書第13章のⅣ 催眠鎮静薬, 抗不安薬を読む。                        |                                                                                                                                                                                                                            |
| 10月24日 | 原 基   | 高血圧症, 狭心症治療薬                                     | 1) 高血圧症について説明する。(C-3-4)-(4)-③, E-6)-①<br>2) 高血圧治療薬の種類と作用機序, 副作用を説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-②, C-6-4)-①, E-2-4)-(10)-⑦<br>3) 狭心症について説明する。(E-6)-①<br>4) 狭心症治療薬の種類と作用機序, 副作用を説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-②, C-6-4)-①, E-1-6)-③ |
|        | 準備学習  | 教科書第14章（p164-167）と（p173-174）を読む。                 |                                                                                                                                                                                                                            |
| 10月31日 | 原 基   | 不整脈治療薬, 強心薬                                      | 1) 不整脈について説明する。(E-6)-①<br>2) 不整脈治療薬の種類と作用機序を説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-②, E-1-6)-③<br>3) うっ血性心不全について説明する。<br>(C-3-4)-(4)-①, C-5-4)-①②③④, E-6)-①<br>4) 心不全治療薬の種類と作用機序について説明する。(C-6-1)-①, C-6-2)-②                           |
|        | 準備学習  | 教科書第14章抗不整脈薬（p170-173）と強心薬（p168-170）を読む。         |                                                                                                                                                                                                                            |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                            | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------|-------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月7日  | 原 基   | 止血薬, 抗血栓薬                       | 1) 生体における止血機構と抗血栓機構を説明する。(C-3-4)-(4)-(7))<br>2) 止血薬の種類と作用機序を説明する。(C-6-1)-①, C-6-2)-(2))<br>3) 抗血栓薬の種類と作用機序について説明する。(C-6-1)-①, C-6-2)-(2))                                                                                                                                                                                                                                             |
|        | 準備学習  | 教科書第15章 (p175-188) を読む。         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11月14日 | 福井佳代子 | 呼吸器, 消化器系作用薬                    | 1) 喘息について説明する。(C-4-2)-(5), E-6)-(1))<br>2) 喘息治療薬の種類と作用機序, 適用法, 副作用について説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-(1)②, C-6-3)-①, C-6-4)-①, E-1-6)-(3))<br>3) 消化性潰瘍の発症原因 (ピロリ菌を含む) を説明する。(E-6)-(1))<br>4) 消化性潰瘍治療薬の種類, 作用機序, 適用法について説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-(1)②, C-6-3)-①, C-6-4)-①)                                                                                                               |
|        | 準備学習  | 教科書 p194-206 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11月21日 | 福井佳代子 | 滅菌法, 消毒薬                        | 1) 滅菌法と消毒薬の意義, 原理を説明する。(C-4-1)-(4))<br>2) 滅菌法の種類と特徴を類別する。(C-4-1)-(4))<br>3) 消毒薬の種類, 薬理作用と特徴を説明する。(C-4-1)-(5), C-6-2)-(1)②)<br>4) 消毒薬の用法を説明する。(C-4-1)-(5))                                                                                                                                                                                                                             |
|        | 準備学習  | 教科書 p350-367 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11月28日 | 福井佳代子 | 歯科用局所応用薬                        | 1) 歯内療法薬の種類, 特性を説明する。(C-6-3)-①)<br>2) 歯周疾患治療薬の種類, 特性を説明する。(C-6-3)-①)<br>3) う蝕症, う蝕予防薬に使用される歯科用局所応用薬の作用と性質を説明する。<br>(B-3-2)-(2))                                                                                                                                                                                                                                                       |
|        | 準備学習  | 教科書 p368-393 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 12月5日  | 福井佳代子 | 歯科における漢方薬                       | 1) 漢方の基本概念と種類を説明する。(C-6-2)-(2), C-6-3)-①)<br>2) 漢方薬の種類と副作用を説明する。(C-6-4)-①)<br>3) 歯科治療における漢方薬の使い分けを説明する。(C-6-3)-①)                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|        | 準備学習  | 教科書 p394-397 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 12月12日 | 二宮 一智 | 抗感染症薬                           | 1) 抗菌スペクトルとMICを理解する。(C-6-2)-(2)③)<br>2) 抗菌薬投与による血中濃度, 抗菌作用の関係を説明する。(C-6-3)-(2))<br>3) 抗菌薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。<br>(C-4-1)-①⑤, C-6-1)-①, C-6-2)-(2), C-6-4)-①, E-2-4)-(9)-(7))<br>4) ライフステージ毎に抗菌薬投与の注意事項を説明する。(C-6-4)-①)<br>5) 薬剤耐性 AMR に配慮した抗菌薬使用を説明する。(C-6-4)-(2))<br>6) 抗真菌薬の分類, 作用機序について説明する。(C-6-1)-①, C-6-2)-(2))<br>7) 疾患毎の抗ウイルス薬の分類, 作用機序について説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-(2)) |
|        | 準備学習  | 教科書第24章 (p265-293) を読む。         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 12月19日 | 二宮 一智 | 抗腫瘍薬                            | 1) 悪性腫瘍の治療法, 副作用改善法について説明する。(C-6-4)-①)<br>2) 抗腫瘍薬の分類, 特徴, 代表的副作用について説明する。<br>(C-2-3)-(3), C-6-1)-①, C-6-2)-(2), C-6-4)-①)                                                                                                                                                                                                                                                             |
|        | 準備学習  | 教科書第26章 (p306-319) を読む。         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1月16日  | 二宮 一智 | 抗炎症薬                            | 1) ステロイド性抗炎症薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。<br>(C-5-5)-①, C-6-1)-①, C-6-2)-(2), C-6-4)-①)<br>2) 非ステロイド性抗炎症薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-(2)⑤, C-6-4)-①)<br>3) 歯科における使い分けを説明する。(C-6-3)-①)                                                                                                                                                                                     |
|        | 準備学習  | 教科書第23章 (p246-264) を読む。         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1月23日  | 仲村健二郎 | 硬組織に作用する薬物                      | 1) 歯, 骨に影響を与えるホルモン, ビタミン, 薬物の種類を説明する。<br>(C-3-4)-(2)-(4), C-6-1)-①)<br>2) 生理的, 薬理的作用を説明する。(C-6-2)-(2))<br>3) 骨粗鬆症治療薬の種類, 作用機序について説明する。<br>(C-6-1)-①, C-6-2)-(2), E-1-4)-(1)-(5))                                                                                                                                                                                                      |
|        | 準備学習  | 教科書第28章 (p327-338) を読む。         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1月30日  | 仲村健二郎 | 歯科薬物療法学の総括                      | 1) 歯科臨床における使用薬物についての知識をまとめて説明する。(C-6-1)-①)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|        | 準備学習  |                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

# 歯科理工学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間            | 場所      |
|-------|----|----|-----|---------------|---------|
| 大熊 一夫 | 2  | 後期 | 月曜日 | 13:00 ~ 14:30 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、各種歯科材料の種類と用途、基本組成、構造、性質を把握し、適正な材料の選択基準ならびに取扱い方法を理解する。

|     | 著者・編者                             | 書名          | 版   | 出版社   |
|-----|-----------------------------------|-------------|-----|-------|
| 教科書 | 宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著 | 基礎歯科理工学     | 第1版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之, 宮川行男 他編         | スタンダード歯科理工学 | 第7版 | 学建書院  |
|     | 日本歯科理工学会 編                        | 歯科理工学教育用語集  | 第3版 | 医歯薬出版 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (45%)    ☒ 論述試験 (45%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (45%), 論述試験 (45%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 歯科理工学講座教授室 (5号館3階)  
事前にメールで要予約

| 授業日        | 担当者   | 授業内容                                              | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                |
|------------|-------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月3日      | 五十嵐健輔 | 印象材(1)                                            | 1) 印象材の分類方法を説明する。<br>2) ハイドロコロイド印象材の特徴を説明する。(D-2-②)<br>3) 寒天印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)<br>4) アルジネート印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)                                        |
|            | 準備学習  | 基礎歯科理工学の印象材 p30-46 を参考にハイドロコロイド印象材の種類と特徴について学習する。 |                                                                                                                                                                            |
| 10月11日 (火) | 五十嵐健輔 | 印象材(2)                                            | 1) ゴム質印象材の特徴を説明する。(D-2-②)<br>2) シリコーンゴム印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)<br>3) ポリエーテルゴム印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)<br>4) ポリサルファイドゴム印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)             |
|            | 準備学習  | 基礎歯科理工学の印象材 p46-51 を参考にゴム質印象材の種類と特徴について学習する。      |                                                                                                                                                                            |
| 10月17日     | 五十嵐健輔 | 印象材(3)                                            | 1) モデリングコンパウンドの成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)<br>2) 酸化亜鉛ユージンオール印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)<br>3) 印象用ワックスの成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②)<br>4) アクリル系機能印象材の成分と特徴, 取扱い方法を説明する。(D-2-②) |
|            | 準備学習  | 基礎歯科理工学の印象材 p51-54 を参考に非弾性印象材の種類と特徴について学習する。      |                                                                                                                                                                            |
| 10月24日     | 五十嵐健輔 | 模型材(1)                                            | 1) 模型材の種類を列挙する。<br>2) 石膏の硬化反応を説明する。<br>3) 石膏の特性を説明する。(D-2-②)<br>4) 石膏の特性に影響をおよぼす因子を列挙する。(D-2-②)                                                                            |
|            | 準備学習  | 基礎歯科理工学の模型材 p54-60 を参考に模型材の種類と特性を学習する。            |                                                                                                                                                                            |



| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                                    | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                       |
|--------|-------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月31日 | 五十嵐健輔 | 模型材(2)                                                  | 1) 歯科用石膏を列挙する。<br>2) 歯科用焼石膏の特性と用途を説明する。(D-2-②)<br>3) 硬質石膏の特性と用途を説明する。(D-2-②)<br>4) 超硬質石膏の特性と用途を説明する。(D-2-②)<br>5) レジン系模型材の特性と用途を説明する。                                                             |
|        | 準備学習  | 歯科基礎理工学の模型材 p54-60 を参考に模型材の用途を学習する。                     |                                                                                                                                                                                                   |
| 11月7日  | 五十嵐健輔 | 歯科用ワックス(1)                                              | 1) 歯科用ワックスの種類を列挙する。<br>2) インレーワックスの成分と特性, 用途を説明する。(D-2-②)<br>3) インレーワックスの変形の原因と対策を説明する。(D-2-②)<br>4) パターン材料の種類を列挙する。                                                                              |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学のワックス p60-66 を参考にワックスの特徴を学習する。                   |                                                                                                                                                                                                   |
| 11月14日 | 五十嵐健輔 | 歯科用ワックス(2)                                              | 1) パラフィンワックスの成分と特性, 用途を説明する。(D-2-②)<br>2) シートワックスの成分と特性, 用途を説明する。(D-2-②)<br>3) レディキャストワックスの成分と特性, 用途を説明する。(D-2-②)<br>4) スティックワックスの成分と特性, 用途を説明する。(D-2-②)<br>5) ユーティリティワックスの成分と特性, 用途を説明する。(D-2-②) |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学のワックス p66-68 を参考にワックスの用途を学習する。                   |                                                                                                                                                                                                   |
| 11月21日 | 大熊 一夫 | 鑄造用埋没材                                                  | 1) 耐熱材について説明する。(D-2-②)<br>2) 鑄造用埋没材の種類について述べる。(D-2-②)<br>3) 鑄造用埋没材の組成および性質について述べる。(D-2-②)<br>4) 鑄造用埋没材の用途について説明する。(D-2-②)                                                                         |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科技工関連材料 p68-78 を参考に講義テーマについて学習する。              |                                                                                                                                                                                                   |
| 11月28日 | 大熊 一夫 | 成形修復材(1)                                                | 1) 成形修復材の種類, 用途, 組成について述べる。<br>(D-2-①, E-3-3)-(1)-③)<br>2) 成形修復材の硬化機構について述べる。(D-2-①)<br>3) 成形修復材の硬化体の構造について述べる。(D-2-①)<br>4) 成形修復材の使用方法について説明する。(D-2-①)                                           |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p79-80 を参考に講義テーマについて学習する。                |                                                                                                                                                                                                   |
| 12月5日  | 大熊 一夫 | 成形修復材(2)                                                | 1) コンポジットレジンの性質について述べる。<br>(D-2-①, E-3-3)-(1)-③)<br>2) コンポジットレジンの接着技法について述べる。(D-2-③)                                                                                                              |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p80-88 を参考に講義テーマについて学習する。                |                                                                                                                                                                                                   |
| 12月12日 | 大熊 一夫 | 成形修復材(3)                                                | 1) グラスアイオノマーセメントの性質について述べる。(D-2-①)<br>2) コンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメントの使用方法について説明する。(D-2-①)<br>3) フィッシャーシーラントの性質・使用方法について説明する。(D-2-①)                                                                 |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p88-96 を参考に講義テーマについて学習する。                |                                                                                                                                                                                                   |
| 12月19日 | 大熊 一夫 | 歯冠修復用レジン・レジン歯                                           | 1) 歯冠修復用レジンの成分について述べる。(D-2-②)<br>2) 歯冠修復用レジンの使用方法について述べる。(D-2-②)<br>3) レジン歯の成分と特徴について述べる。(D-2-②)<br>4) 歯冠修復用レジンおよびレジン歯の使用方法について説明する。<br>(D-2-②)                                                   |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p98, 119-121, 149-150 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                   |
| 1月16日  | 大熊 一夫 | 合着・接着材(1)                                               | 1) 合着用セメントの所要性質を述べる。(D-2-③)<br>2) 合着用セメントの諸性質の意義について説明する。(D-2-③)<br>3) リン酸亜鉛セメントの基本組成と硬化機構について説明する。(D-2-③)<br>4) リン酸亜鉛セメントの用途, 性質, および取扱い方法について説明する。<br>(D-2-③)                                   |
|        | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p121-124, 128-129 を参考に講義テーマについて学習する。     |                                                                                                                                                                                                   |



| 授業日   | 担当者   | 授業内容                                                | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月23日 | 大熊 一夫 | 合着・接着材 (2)                                          | 1) ポリカルボキシレートセメントの基本組成と硬化機構について説明する。(D-2-③)<br>2) ポリカルボキシレートセメントの用途, 性質, および取扱い方法について説明する。(D-2-③)<br>3) EBAセメントの用途, 基本組成と硬化機構, 特徴について述べる。(D-2-③)<br>4) ケイリン酸塩セメントの基本組成と特徴を述べる。(D-2-③)<br>5) グラスアイオノマーセメントの基本組成と硬化機構について説明する。(D-2-③) |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p125-127, 129-132 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                                                                     |
| 1月30日 | 大熊 一夫 | 合着・接着材 (3)                                          | 1) グラスアイオノマーセメントの用途, 性質, および取扱い方法について説明する。(D-2-③)<br>2) 接着性レジンセメントの用途, 基本組成と硬化機構, および特徴について説明する。(D-2-③)<br>3) 接着性レジンセメントで PMMA 系とコンポジットレジン系の相違点を述べる。(D-2-③)<br>4) レジン添加型グラスアイオノマーセメントの用途, 基本組成と硬化機構, および特徴について説明する。(D-2-③)          |
|       | 準備学習  | 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p124-127 を参考に講義テーマについて学習する。          |                                                                                                                                                                                                                                     |



# 歯科理工学実習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所                  |
|-------|----|----|-----|-------------|---------------------|
| 大熊 一夫 | 2  | 後期 | 水曜日 | 14:00～18:00 | 5号館2階<br>理工学・生化学実習室 |

## 科目の到達目標（GIO）

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、歯科材料の使用工程と基本的な取扱い方法を習得するとともに、各種歯科材料の種類、使用条件による物性の変化を理解する。

|     | 著者・編者                             | 書名           | 版   | 出版社   |
|-----|-----------------------------------|--------------|-----|-------|
| 教科書 | 新谷明一, 大熊一夫 編                      | 新版 歯科理工学実習指針 | 第2版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著 | 基礎歯科理工学      | 第1版 | 医歯薬出版 |
|     | 中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之, 宮川行男 他編         | スタンダード歯科理工学  | 第7版 | 学建書院  |

## 学習方略（重複可）

- ☐ 講義    ☒ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBLを含む）    ☒ 実習  
☒ その他（学生は4グループに分かれ、印象・模型、重合、鋳造、合着・成形充填材の4テーマの実験をローテーションしながら行う。従って次頁の実施月日の学習内容は、1及び15回を除き、所属するグループによって異なることになる。）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☐ 客観試験（％）    ☒ 論述試験（10％）    ☐ 口頭試験（％）    ☒ レポート（80％）  
☐ 実地試験（％）    ☐ ポートフォリオ（％）    ☐ シミュレーションテスト（％）  
☐ 観察記録（％）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10％）

## 成績評価方法

行動目標で示した項目についての毎回の課題（レポート）（80％）、毎回の実習に対する関心・意欲・態度（10％）および論述試験（10％）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：木曜日 時間帯：17:00～18:00 場所：歯科理工学講座教授室（5号館3階）  
事前にメールで要予約

| 授業日    | 担当者                                                                          | 授業内容                                            | 行動目標（SBOs）                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月5日  | 大熊 一夫<br>五十嵐健輔<br>後藤 真一<br>小出 未来<br>三村 博史<br>長谷川有紀<br>高橋 睦<br>片桐 浩樹<br>吉井 大貴 | ガイダンス                                           | 1) 個々の実習日に行う実習テーマと実施テーブル・担当教員を具体的に述べる。<br>2) 実習開始までに行っておくことを説明する。<br>3) 減点対象となる行為について述べる。<br>4) この実習独自の採点法について説明する。         |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針で実習内容について確認する。                 |                                                                                                                             |
| 10月12日 |                                                                              | 印象と模型(1)                                        | 1) アルジネート印象材の適切な練和操作をする。<br>2) シリコーンゴム印象材の適切な練和操作をする。<br>3) 弾性ひずみによって示される印象材の弾性的性質を説明する。<br>4) 永久ひずみによって示される印象材の弾性的性質を説明する。 |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の印象材 p9-12 を参考に実習のテーマについて学習する。 |                                                                                                                             |
| 10月19日 |                                                                              | 印象と模型(2)                                        | 1) アルジネート印象材を適切に操作する。<br>2) シリコーンゴム印象材を適切に操作する。<br>3) 模型用石膏を適切に操作する。<br>4) 模型の精度に影響する印象材の性質を説明する。                           |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の印象材 p9-12 を参考に実習のテーマについて学習する。 |                                                                                                                             |
| 10月26日 |                                                                              | 印象と模型(3)                                        | 1) 模型用石膏を適切に操作する。<br>2) 模型用石膏の硬化時の状態変化と硬化時間との関係を述べる。<br>3) 硬質石膏と超硬質石膏との硬化膨張の違いを説明する。<br>4) 模型用石膏の硬化膨張と模型の寸法精度との関係を説明する。     |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の石膏 p1-2 を参考に実習のテーマについて学習する。   |                                                                                                                             |

| 授業日    | 担当者                                                                          | 授業内容                                                  | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                             |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月2日  | 大熊 一夫<br>五十嵐健輔<br>後藤 真一<br>小出 未来<br>三村 博史<br>長谷川有紀<br>高橋 睦<br>片桐 浩樹<br>吉井 大貴 | 加熱重合レジン(1)                                            | 1) 温度が異なる環境時における加熱重合レジンの粉・液の膨潤状態を調べる。<br>2) 加熱重合レジンの重合機序について説明する。<br>3) 填入に適した膨潤状態について説明する。<br>4) 重合収縮に対する改善方法を説明する。                                                                    |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の歯科用レジン p27-28 を参考に実習のテーマについて学習する。   |                                                                                                                                                                                         |
| 11月9日  |                                                                              | 加熱重合レジン(2)                                            | 1) 加熱重合レジンの湿・乾重合時の温度上昇を測定する。<br>2) 異なる条件で重合したくさび状加熱重合レジンの気泡の発生状態を調べる。<br>3) 重合したくさび状レジンから、気泡の発生理由を説明する。<br>4) キュアリングサイクルについて説明する。                                                       |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の歯科用レジン p27-28 を参考に実習のテーマについて学習する。   |                                                                                                                                                                                         |
| 11月16日 |                                                                              | 常温重合レジン                                               | 1) 常温重合レジンの硬化時間、温度上昇、重合収縮率を測定する。<br>2) 常温重合レジンの重合機序について説明する。<br>3) 硬化時間と重合度について説明する。<br>4) 重合収縮とフィラーの関連について説明する。                                                                        |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の歯科用レジン p27-28 を参考に実習のテーマについて学習する。   |                                                                                                                                                                                         |
| 11月30日 |                                                                              | (解剖学実習)                                               | (理工学実習ではなく、解剖学実習を行う。)                                                                                                                                                                   |
|        |                                                                              | 準備学習：                                                 |                                                                                                                                                                                         |
| 12月7日  |                                                                              | ワックスパターンの変形                                           | 1) ワックスを操作する。<br>2) クラウン型のワックスパターンの作製に熟練する。<br>3) 放置環境によるワックスパターンの変形量の違いを調べる。<br>4) 変形の少ないワックスパターンの取扱い方法を説明する。                                                                          |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針のワックス p44-46 を参考に実習のテーマについて学習する。     |                                                                                                                                                                                         |
| 12月14日 | 大熊 一夫<br>五十嵐健輔<br>後藤 真一<br>小出 未来<br>三村 博史<br>長谷川有紀<br>高橋 睦<br>片桐 浩樹<br>吉井 大貴 | 歯科精密鑄造(1)                                             | 1) クラウン型のワックスパターンを作製する。<br>2) ワックスパターンを植立する。<br>3) ワックスパターンを埋没する。<br>4) 鑄造操作について説明する。                                                                                                   |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の歯科精密鑄造 p64-66 を参考に実習のテーマについて学習する。   |                                                                                                                                                                                         |
| 12月21日 |                                                                              | 歯科精密鑄造(2)                                             | 1) ワックスを焼却して鑄型を作製する。<br>2) ブローパイプ炎で合金を溶解して、鑄造する。<br>3) クラウンの鑄造収縮を測定する。<br>4) 鑄造収縮の補償理論について説明する。                                                                                         |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の歯科精密鑄造 p64-66 を参考に実習のテーマについて学習する。   |                                                                                                                                                                                         |
| 1月11日  | 大熊 一夫<br>五十嵐健輔<br>後藤 真一<br>小出 未来<br>三村 博史<br>長谷川有紀<br>高橋 睦<br>片桐 浩樹<br>吉井 大貴 | 成形充填材(1)                                              | 1) 牛の歯に成形充填用の窩洞を2個形成する。<br>2) 窩洞に2種類の成形充填材を填塞する。<br>3) 過剰充填材を削除し、窩洞辺縁を明示する。<br>4) 成形充填材の取扱い方法を具体的に述べる。                                                                                  |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の成形充填材 p79-81 を参考に実習のテーマについて学習する。    |                                                                                                                                                                                         |
| 1月18日  |                                                                              | 合着用セメント                                               | 1) 異なる粉液比で練和したグラスアイオノマーセメントの稠度を測定する。<br>2) リン酸亜鉛セメントを練和して円柱状試験片を作製し、その圧縮強さを測定する。<br>3) セメントの取扱い方法を述べるとともに、その違いが稠度に及ぼす影響について説明する。<br>4) 合着用セメントの圧縮強さの意義を述べるとともに、圧縮強さに及ぼす各種因子の影響について説明する。 |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の合着材・接着材 p97-102 を参考に実習のテーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                                         |
| 1月25日  | 大熊 一夫<br>五十嵐健輔<br>後藤 真一<br>小出 未来<br>三村 博史<br>長谷川有紀<br>高橋 睦<br>片桐 浩樹<br>吉井 大貴 | 成形充填材(2)                                              | 1) 充填した窩洞の表面から窩底まで2分割する。<br>2) 窩壁を傷つけずに充填材を窩洞から撤去する。<br>3) 窩壁における辺縁漏洩状態をスケッチするとともに、辺縁漏洩の深さを測定する。<br>4) 辺縁封鎖性に影響を及ぼす要因を説明する。                                                             |
|        |                                                                              | 準備学習：新版 歯科理工学実習指針の成形充填材 p79-81 を参考に実習のテーマについて学習する。    |                                                                                                                                                                                         |
| 2月1日   | 大熊 一夫<br>五十嵐健輔<br>後藤 真一<br>小出 未来<br>三村 博史<br>長谷川有紀<br>高橋 睦<br>片桐 浩樹<br>吉井 大貴 | 実習総括試験                                                | 1) 使用した実習器具を整備する。<br>2) 実習室を清掃する。<br>3) 実習を通して学んだことについての質問に回答する。                                                                                                                        |
|        |                                                                              | 準備学習：10月5日～1月25日に行った範囲について学習する。                       |                                                                                                                                                                                         |

# 専門歯科治療概論

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|-------|----|----|-----|------------|---------|
| 水谷 太尊 | 2  | 後期 | 火曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標（GIO）

歯科疾患で悩む患者の様々なニーズに対応するために、日本歯科大学新潟病院の診療科、センター、特殊外来における専門性の高い歯科医療に関する基本的知識を習得する。

| 著者・編者 | 書名         | 版      | 出版社       |
|-------|------------|--------|-----------|
| 教科書   |            |        |           |
| 参考書   | 中原 泉, 藤井一維 | 常用歯科辞典 | 第4版 医歯薬出版 |

## 学習方略（重複可）

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む）    ☐ 実習  
☐ その他（ ）

## 成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（80%）    ☐ 論述試験（ % ）    ☐ 口頭試験（ % ）    ☒ レポート（10%）  
☐ 実地試験（ % ）    ☐ ポートフォリオ（ % ）    ☐ シュミレーションテスト（ % ）  
☐ 観察記録（ % ）    ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10%）

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（80%）、授業の復習を確認する課題（レポート）の評価（10%）、授業態度（欠席、遅刻等）（10%）により評価を行う。

## オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：17:30～18:00 場所：総合診療科医局（水谷 新潟病院3階）  
 事前にメールで連絡すること（ga-soshin3@ngt.ndu.ac.jp）

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                         | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月4日  | 水谷 太尊 | 顎変形症の治療                      | 1) 顎骨の異常が関連する不正咬合を説明する。(E-4-1)-(3)<br>2) 顎変形症の病態を説明できる。(E-2-4)-(1)-(3)<br>3) 顎変形症の治療法を説明できる。(E-2-4)-(1)-(3)                                                                                                      |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。         |                                                                                                                                                                                                                  |
| 10月18日 | 小林英三郎 | MRONJ の原因, 検査, 治療法           | 1) 老化（骨粗鬆症）の特徴及び服用している薬物を説明できる。(E-5-1)-(1)(2)<br>2) 悪性腫瘍の骨転移を説明する。(C-5-6)-(6)<br>3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を説明する。(C-6-3)-(1), (E-2-4)-(10)-(7)<br>4) 主な炎症（顎骨炎, 下顎骨骨髄炎）の検査, 治療法を説明する。(E-1-2)-(9), (E-2-4)-(3)-(6) |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。         |                                                                                                                                                                                                                  |
| 10月25日 | 戸谷 収二 | 口腔乾燥症（ドライマウス）の原因, 検査, 治療法    | 1) 口腔乾燥の原因を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)<br>2) 口腔乾燥の検査を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)<br>3) 口腔乾燥の治療を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)<br>4) Sjögren 症候群を説明する。(E-2-4)-(8)-(7)                                                                  |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。         |                                                                                                                                                                                                                  |
| 11月1日  | 水橋 史  | 顎関節症の原因, 診査, 治療<br>ブラキシズムの特徴 | 1) 顎関節症の原因, 症状を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)<br>2) 顎関節症の診査法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)<br>3) 顎関節症の治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)<br>4) ブラキシズムの特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(1)                                                                 |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。         |                                                                                                                                                                                                                  |
| 11月8日  | 高塩 智子 | 口臭の原因, 口臭症の分類と検査             | 1) 口臭症の分類について記述する。(E-3-3)-(3)-(1)<br>2) 口臭の原因物質について列挙する。(C-4-1)-(3)-(2)<br>3) 口臭の検査方法について列挙する。(E-3-3)-(3)-(2)<br>4) 舌苔の除去方法について説明する。(E-2-2)-(3)                                                                  |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。         |                                                                                                                                                                                                                  |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                      | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                                                    |
|--------|-------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月15日 | 二宮 一智 | 歯科アレルギー治療外来               | 1) アレルギー性疾患の種類, 発症機序及び病態を説明できる。(C-4-2)-(5)<br>2) 菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。(E-2-4)-(3)-(1)<br>3) 口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患, 膠原病, 免疫異常の症状を列挙できる。(E-2-4)-(10)-(3)                                        |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 11月22日 | 高橋 靖之 | 歯科診療時の緊張がもたらす弊害とリラクソスの効果  | 1) バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明する。(E-1-4)-(1)-(1)<br>2) 精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明する。(E-1-4)-(2)-(1)<br>3) 吸入鎮静法に使用する薬剤と適応, 禁忌及び合併症を説明する。(E-1-4)-(2)-(2)<br>4) 局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明する。(E-1-4)-(3)-(1)        |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 11月29日 | 海老原 隆 | 変色歯の基本的対処法                | 1) 歯の変色の原因を外因性と内因性に区別し, 列記する。(E-3-2)-(1), E-3-3)-(2)-(6)<br>2) テトラサイクリン系抗菌薬の副作用による歯の変色原因および分類を説明する。(E-3-2)-(1)<br>3) 漂白法の種類と特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(1)<br>4) 知覚過敏に対する対処法を列記する。(E-3-3)-(1)-(1)     |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 12月6日  | 高橋 睦  | スポーツに関する歯科的問題             | 1) 歯科医師のスポーツへの関わりを説明する。(A-5-1)-(2)<br>2) 歯科領域のスポーツ外傷, 障害を説明する。(E-2-4)-(2)-(1)<br>3) マウスガードの目的, 種類, 製作方法, 取り扱い方法を説明する。(D-1)-(1)(2)<br>4) アンチ・ドーピングの概略と歯科診療で注意すべきことを説明する。(C-6-1)-(1), C-6-4)-(1) |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 12月13日 | 三瓶 伸也 | 障害児・者歯科診療の概要              | 1) 障害者の身体的・精神的・心理的特徴を説明する。(E-5-2)-(1)<br>2) 障害者の行動調整(行動管理)を説明する。(E-5-2)-(2)<br>3) 障害者の歯科治療に必要な注意点を説明する。(E-5-2)-(2)                                                                             |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 12月20日 | 吉岡 裕雄 | 摂食嚥下障害に対する診査診断と対応, 口腔ケア概論 | 1) 栄養管理や食形態の調整を説明できる。(E-5-1)-(10)<br>2) 摂食嚥下障害の診察や検査およびリハビリテーションを説明できる。(E-5-1)-(8)(9)<br>3) 周術期患者の口腔ケアを説明できる。(E-6)-(2)<br>4) 脳卒中患者, 悪性腫瘍患者, 終末期患者の口腔ケアを説明できる。(E-6)-(2)                         |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 1月10日  | 猪子 芳美 | 睡眠医学と睡眠時無呼吸症候群との歯科医療の関わり  | 1) 睡眠の機序, 種類, 機能を述べる。(E-6-1)<br>2) 小児や高齢者の睡眠の特徴を述べる。(E-6-1)<br>3) 睡眠障害の種類や治療法について述べる。(E-6-1)<br>4) 歯科疾患に関連する。睡眠障害について述べる。(E-2-4)-(11)-(6)                                                      |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 1月17日  | 廣安 一彦 | 口腔インプラント治療の概要             | 1) 口腔インプラントの種類, 特徴, 目的及び意義を説明できる。(E-3-4)-(3)-(1)<br>2) 口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。(E-3-4)-(3)-(2)<br>3) 口腔インプラントの治療計画, 治療手順を説明できる。(E-3-4)-(3)-(4)                                                  |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 1月24日  | 白野 美和 | 訪問歯科診療の概要                 | 1) 訪問歯科診療の社会的背景を説明する。(B-2-2)-(4)<br>2) 在宅医療の目的を説明する。(E-5-1)-(7)<br>3) 高齢者における口腔健康管理の目的と意義を説明する。(E-5-1)-(4)<br>4) 訪問歯科診療の進め方を説明する。(E-5-1)-(6)                                                   |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |
| 1月31日  | 小林英三郎 | 歯髄幹細胞の有効性                 | 1) 歯髄の構造と機能を説明できる。(E-3-1)-(5)<br>2) 多能性幹細胞と基本的な発生学的技術を概説できる。(C-3-2)-(2)                                                                                                                        |
|        | 準備学習  | 事前に配布する授業資料を参考に学習する。      |                                                                                                                                                                                                |



# 顎口腔運動制御学

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|-------|----|----|-----|------------|---------|
| 吉村 建  | 2  | 後期 | 水曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科領域で対象となる病態診断の基本事項を理解するために、顎口腔運動に関与する器官の構造とそのメカニズムに関する知識を習得する。

|     | 著者・編者           | 書名                       | 版   | 出版社   |
|-----|-----------------|--------------------------|-----|-------|
| 教科書 | 小出 馨, 井出吉信 編    | チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 | 第7版 | 医歯薬出版 |
|     | 岩田幸一, 井上富雄, 他 編 | 基礎歯科生理学                  | 第7版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 中村嘉男            | 咀嚼運動の生理学                 | 第1版 | 医歯薬出版 |
|     | 脇田稔・井出吉信 監修     | 口腔解剖学                    | 第2版 | 医歯薬出版 |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日    時間: 15:00～17:00    場所: 解剖学第1講座教授室 (吉村 8号館3階)  
 事前に (メール等で) 予約してから訪問すること。  
 講義・学習内容に関する質問は、質問用アドレス (ga-kaibo1@ngt.ndu.ac.jp) でも対応可。

| 授業日           | 担当者                    | 授業内容                                                          | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                               |
|---------------|------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月5日         | 吉村 建                   | 顎運動に関する筋と顎関節の構造                                               | 1) 顎関節の解剖学的構造について説明する。(E-2-1)-⑤)<br>2) 顎機能に関連した咀嚼筋を列挙する。(E-2-1)-②)<br>3) 咀嚼筋の支配神経・脈管系を説明する。(E-2-1)-③・④)<br>4) 咀嚼筋と下顎運動について説明する。(E-2-1)-⑥) |
|               | 準備学習                   | チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 1-9 章, 口腔解剖学第2版 11-14 章を読み, 要点を確認する。 |                                                                                                                                           |
| 10月12日        | 佐藤 義英                  | 咀嚼の役割と制御機構                                                    | 1) 咀嚼の意義と制御機構を説明する。(E-2-1)-⑧)<br>2) 咀嚼筋の機能を説明する。(E-2-1)-③)<br>3) 脳神経の分布および線維構成を説明する。(E-2-1)-⑤)                                            |
|               | 準備学習                   | 基礎歯科生理学第7版 20 章を読み, 要点を確認する。                                  |                                                                                                                                           |
| 10月19日        | 佐藤 義英                  | 嚥下                                                            | 1) 嚥下の意義と制御機構を説明する。(E-2-1)-⑨)<br>2) 脳神経の分布および線維構成を説明する。(E-2-1)-⑤)                                                                         |
|               | 準備学習                   | 基礎歯科生理学第7版 21 章を読み, 要点を確認する。                                  |                                                                                                                                           |
| 10月28日 (金) 1限 | 佐藤 義英<br>(10月26日) 1限入替 | 発音・嘔吐・吸啜・舌運動                                                  | 1) 構音器官としての口腔の機能を説明する。(E-2-2)-⑧)<br>2) 舌の機能を説明する。(E-2-2)-③)<br>3) 嘔吐と吸啜の機序を説明する。                                                          |
|               | 準備学習                   | 基礎歯科生理学第7版 19 章, 22 章, 23 章, 25 章を読み, 要点を確認する。                |                                                                                                                                           |



| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                                 | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                 |
|--------|-------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月2日  | 佐藤 利英 | 咀嚼筋の機能                                               | 1) 咀嚼筋の構成と機能を説明する。(E-2-1)-②)<br>2) 咀嚼の意義と咀嚼能力評価法を説明する。(E-2-2)-⑥)<br>3) 下顎運動と咀嚼筋の関係を説明する。(E-2-1)-⑥)<br>4) 顎口腔機能制御機能の意義について説明する。(E-2-1)-⑥)   |
|        | 準備学習  | チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 CHAPTER1-PART1を読み要点を確認する。   |                                                                                                                                            |
| 11月9日  | 佐藤 利英 | 前頸筋の機能                                               | 1) 前頸筋の構成と機能を説明する。(E-2-1)-②)<br>2) 前頸筋の下顎運動に果たす役割を説明する。(E-2-1)-⑥)<br>3) 咀嚼運動の制御機構を説明する。(E-2-1)-⑥)<br>4) 下顎の随意運動の基本を説明する。(E-2-1)-⑥)         |
|        | 準備学習  | チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 CHAPTER1-PART2・3を読み要点を確認する。 |                                                                                                                                            |
| 11月16日 | 佐藤 利英 | 顎関節の機能                                               | 1) 顎関節の構造と機能を説明する。(E-2-1)-⑤)<br>2) 関節円板組織構造について説明する。(E-2-1)-⑤)<br>3) 顎関節と下顎運動との関係について説明する。(E-2-1)-⑤)<br>4) 顎口腔系に關与する顎機能について説明する。(E-2-1)-⑤) |
|        | 準備学習  | チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 CHAPTER1-PART8を読み要点を確認する。   |                                                                                                                                            |
| 2月1日   | 吉村 建  | 顎口腔運動制御機能                                            | 1) 顎口腔機能制御の意義について説明する。(E-2-1)-⑥)<br>2) 咀嚼筋の構成と機能について説明する。(E-2-1)-②)<br>3) 顎関節の構造と運動について説明する。(E-2-1)-⑤)<br>4) 顎機能に関連した咀嚼筋を列挙する。(E-2-1)-②)   |
|        | 準備学習  | チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 PART1, 2, 3, 8を読み、要点を確認する。  |                                                                                                                                            |

# 唾液と唾液腺

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間         | 場所      |
|-------|----|----|-----|------------|---------|
| 森田 貴雄 | 2  | 後期 | 水曜日 | 8:45～10:15 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

歯科医学と臨床歯科学を深く理解するために、唾液と唾液腺に関する基本的な重要事項を総合的に習得する。

|     | 著者・編者                    | 書名              | 版     | 出版社   |
|-----|--------------------------|-----------------|-------|-------|
| 教科書 | 脇田 稔, 井出吉信 (監修)          | 口腔解剖学           | 第 2 版 | 医歯薬出版 |
|     | 岩田幸一・井上富雄・船橋 誠・加藤隆史 (編集) | 基礎歯科生理学         | 第 7 版 | 医歯薬出版 |
|     | 大谷敬一 (監修)                | 現代歯科薬理学         | 第 6 版 | 医歯薬出版 |
|     | 早川太郎, 須田立雄 (監修)          | 口腔生化学           | 第 6 版 | 医歯薬出版 |
| 参考書 | 牛木辰夫                     | 入門組織学           | 第 2 版 | 南江堂   |
|     | 田畑 純                     | 口腔の発生と組織        | 第 4 版 | 南山堂   |
|     | 斎藤一郎ら (著)                | ドライマウスの臨床       | 第 1 版 | 医歯薬出版 |
|     | 池尾 隆 他 (編)               | スタンダード生化学・口腔生化学 | 第 3 版 | 学建書院  |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (54%)    ☒ 論述試験 (46%)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)
- ☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)
- ☐ 観察記録 ( %)    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (54%) および記述式 (46%) 筆記試験により評価を行う。

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間: 16:30～18:00 (在室時) 場所: 生化学教授室 (8 号館 3 階) または生化学講座 (5 号館 3 階)  
 (事前に連絡があればこの限りではない) 問合せメールアドレス: ga-seika@ml.ngt.ndu.ac.jp

| 授業日            | 担当者   | 授業内容                                        | 行動目標 (SBOs)                                                                                                          |
|----------------|-------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11月30日         | 小林 一広 | 唾液腺の解剖学的位置関係と導管系ならびに支配神経を学習する。              | 1) 唾液腺の種類を説明する。(E-2-2)-⑥)<br>2) 唾液腺の位置を説明する。(E-2-2)-⑥)<br>3) 唾液腺の導管を説明する。(E-2-2)-⑥)<br>4) 唾液腺に分布する神経を説明する。(E-2-2)-⑥) |
|                | 準備学習  | 口腔解剖学 第 2 版 p178-184 (2. 唾液腺) を読み, 要点を確認する。 |                                                                                                                      |
| 12月7日          | 横須賀宏之 | 唾液腺の発生過程と組織構造を学習する。                         | 1) 唾液腺の発生機序を説明する。(E-2-3)-①)<br>2) 唾液腺の種類, 組織学的特徴を説明する。(E-2-2)-⑥)<br>3) 唾液腺細胞の微細構造を説明する。(E-2-2)-⑥)                    |
|                | 準備学習  | 「入門組織学」p154-158 と「口腔の発生と組織」第 9 章を一読する。      |                                                                                                                      |
| 12月16日 (金) 1 限 | 佐藤 義英 | 唾液分泌調節機構                                    | 1) 唾液の分泌調節を説明する。(E-2-2)-⑥)<br>2) 唾液の性状と役割を説明する。(E-2-2)-⑤)                                                            |
|                | 準備学習  | 基礎歯科生理学第 7 版 24 章を読み, 要点を確認する。              |                                                                                                                      |

| 授業日    | 担当者   | 授業内容                                                      | 行動目標 (SBOs)                                                                                                                                                            |
|--------|-------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12月21日 | 仲村健二郎 | 唾液腺に作用する薬物の種類、特徴、薬理作用を習得し、唾液腺疾患の薬物療法が適切に行える。              | 1) 唾液腺に作用する薬物の特徴を列挙する。C-6-2) ①<br>2) 唾液腺に作用する薬物の種類を列挙する。C-6-2) ①<br>3) 唾液腺への自律神経支配を理解し、自律神経系に作用する薬物の唾液腺への作用機序を説明する。C-6-2) ②<br>4) 唾液腺に作用する薬物の副作用と有害作用を説明する。C-6-4) ①    |
|        | 準備学習  | 現代歯科薬理学第6版の該当箇所 (p339-346) を読む。                           |                                                                                                                                                                        |
| 1月11日  | 森田 貴雄 | 唾液成分とその機能                                                 | 1) 唾液の役割を説明する。(E-2-2)-(5)<br>2) 唾液の無機成分と有機成分 (タンパク質) の構造と機能を説明する。(C-2-1)-(1)<br>3) 唾液酵素の種類と働きを説明する。(C-2-1)-(5)                                                         |
|        | 準備学習  | 事前講義資料をダウンロードし、口腔生化学 p231-247 を読んで要点を確認する。                |                                                                                                                                                                        |
| 1月18日  | 戸谷 収二 | 口腔乾燥症                                                     | 1) 口腔乾燥症の原因を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)<br>2) 口腔乾燥症の症状を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)<br>3) 口腔乾燥症の診断法を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)<br>4) 口腔乾燥症の治療法を説明する。(E-2-4)-(11)-(5)                     |
|        | 準備学習  | ドライマウスの臨床 p62-68, 84-127, 102, 104-121 を参考に講義テーマについて学習する。 |                                                                                                                                                                        |
| 1月25日  | 戸谷 収二 | シェーグレン症候群                                                 | 1) Sjögren 症候群の特徴を説明する。(E-2-4)-(8)-(7)<br>2) Sjögren 症候群の症状を説明する。(E-2-4)-(8)-(7)<br>3) Sjögren 症候群の診断法を説明する。(E-2-4)-(8)-(7)<br>4) Sjögren 症候群の治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(7) |
|        | 準備学習  | ドライマウスの臨床 p9-18, 122-127 を参考に講義テーマについて学習する。               |                                                                                                                                                                        |

# 基礎医学演習

| 授業責任者 | 学年 | 学期 | 曜日  | 時間          | 場所      |
|-------|----|----|-----|-------------|---------|
| 佐藤 聡  | 1  | 後期 | 水曜日 | 10:30～12:00 | 512 番教室 |

## 科目の到達目標 (GIO)

モデルコアカリキュラムに則った基礎系科目を中心に、1 年次～2 年次の内容を総合的に理解する。

| 著者・編者 | 書名           | 版 | 出版社 |
|-------|--------------|---|-----|
| 教科書   | 各分野で指定された教科書 |   |     |
| 参考書   |              |   |     |

## 学習方略 (重複可)

- ☒ 講義    ☐ 示説    ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む)    ☐ 実習  
☐ その他 ( )

## 成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (100%)    ☐ 論述試験 ( %)    ☐ 口頭試験 ( %)    ☐ レポート ( %)  
☐ 実地試験 ( %)    ☐ ポートフォリオ ( %)    ☐ シミュレーションテスト ( %)  
☐ 観察記録 ( %)    ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) ( %)

## 成績評価方法

年度末に第2 学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、66 点以上で単位を認定する。  
(なお、当該科目は、前期日程にも記載してある。)

## オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日    時間：17:00～18:00    場所：各科目講座研究室

| 授業日                | 担当者  | 授業内容 | 行動目標 (SBOs) |
|--------------------|------|------|-------------|
| 11<br>月<br>30<br>日 | 調整中  |      |             |
|                    | 準備学習 |      |             |
| 12<br>月<br>7<br>日  | 調整中  |      |             |
|                    | 準備学習 |      |             |
| 12<br>月<br>14<br>日 | 調整中  |      |             |
|                    | 準備学習 |      |             |
| 12<br>月<br>21<br>日 | 調整中  |      |             |
|                    | 準備学習 |      |             |
| 1<br>月<br>11<br>日  | 調整中  |      |             |
|                    | 準備学習 |      |             |

| 授業日               | 担当者  | 授業内容 | 行動目標（SBOs） |
|-------------------|------|------|------------|
| 1<br>月<br>18<br>日 | 調整中  |      |            |
|                   | 準備学習 |      |            |
| 1<br>月<br>25<br>日 | 調整中  |      |            |
|                   | 準備学習 |      |            |
| 2<br>月<br>1<br>日  | 調整中  |      |            |
|                   | 準備学習 |      |            |

